はじめに

このたびは、「SoftBank 810P」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 810Pをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank 810Pは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の構成と検索方法

したいこと検索

新しいケータイを友達に知らせたい

自分の電話番号を確認したい
自分の電話番号はあらかじめ本機に登録されています。確認も簡単です。

自分の電話番号を確認する☞P.2-16

メールアドレスを変更したい
お好きなメールアドレスに変更できます。

メールアドレスの変更☞P.15-6

自分だけのケータイにカスタマイズしたい

お気に入りの着うた®を入手したい
簡単なメニュー操作で着うた®サイトからダウンロードできます。

音楽のダウンロード☞P.9-3

着うた®などを着信音に設定したい
着信音設定で着うた®を選ぶだけでOKです。着信音Flash®も利用できます。

着信音の設定☞P.7-8

とにかく早く基本操作を覚えたい

操作の基本を覚えたい
メニューからの機能選択が操作の基本です。ボタンの使い方なども覚えておきましょう。

機能の呼び出しかた☞P.1-20
各部の名称と機能☞P.1-5

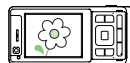
電話としてすぐに使いたい
音声電話はもちろんテレビ電話も利用できます。

音声電話☞P.2-2
TVコール☞P.5-2

電話以外でも楽しく便利に使いたい

音楽プレイヤーとして使いたい
音楽のダウンロードも簡単にできます。

メディアプレイヤー ☞P.9-2

カメラ／ビデオとして使いたい
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。

静止画の撮影☞P.6-6
動画の撮影☞P.6-8

アドレス帳に自分のアドレスや住所などを登録したい

自分のメールアドレスや住所などを本機に登録しておくと、友達に情報を伝えるときなどに便利です。

オーナー情報☞P.4-16

友達に一斉にアドレスを伝えたい

メールを送るだけで伝えられます。複数の人にも、同じメールを同時に送信できます。

メール送信☞P.15-6
宛先リストを編集する☞P.15-8

近くの友達にアドレスを伝えたい

赤外線通信が便利です。本機に自分のメールアドレスを登録してから操作しましょう。

赤外線通信☞P.11-2

待受画面をアレンジしたい

壁紙を利用しましょう。選んだ壁紙の上に時計やカレンダーを表示できます。

壁紙設定☞P.7-2
待受表示設定☞P.7-7

以前のケータイと同じ感覚で使いたい

おなじみ操作を試してみましょう。以前のケータイに近いメニュー操作に変更できます。

おなじみ操作☞P.7-4

英語表示にしたい

ディスプレイの表示を英語に設定できます。

英語表示に切り替える☞P.7-7

文字入力のしくみを覚えたい

メールやアドレス帳では文字入力が必要です。便利な入力機能も活用しましょう。

文字入力☞P.3-1

メールを使ってみたい

メールを目的に応じて使い分けましょう。表現力豊かなメールも利用できます。

メール☞P.15-2
アレンジメール☞P.15-8
フィーリングメール☞P.15-10

インターネットを利用したい

ソフトバンクならではのYahoo!連動サービスが利用できます。友達に差をつけましょう。

Yahoo!ケータイ☞P.16-1

ゲーム機として使いたい

S!アプリを使ってみましょう。Yahoo!ケータイからダウンロードもできます。

S!アプリ☞P.17-1

最新ニュースが知りたい

ライブモニターを使ってみましょう。待受画面にテロップ表示されます。

ライブモニター☞P.16-17

できること検索

810Pだから できること

スライド開閉
本機を開くだけで電話に応答したり、閉じるだけで通話を終了したり誤操作防止を設定できます。
☞P.8-4

バーコードリーダー
バーコードやQRコードを本機で読み取れば、いろいろな情報にすぐにアクセスできます。
☞P.9-11

ソフトバンク ケータイだから できること

Yahoo!ケータイサイト
ソフトバンクケータイ専用のIDを提供。インターネットをより便利に利用できます。
☞P.16-2

アレンジメール
メール本文の文字色や背景などをアレンジしたり、画像などを挿入して表現豊かなHTMLメールを作成できます。
☞P.15-8

おなじみの機能も さらに使いやすく

アドレス帳／S!アドレスブック
基本機能の充実に加えサーバーリンクを実現。アドレス帳をネット上に保管して管理できます。
☞P.4-13

アドレス帳／メール使用禁止
アドレス帳やメールを使用できないように設定できます。
☞P.12-5

パソコンとも 親密な関係に

PCサイトブラウザ
本機でパソコン用サイトをフル表示。パソコン並みの情報表示を可能にします。
☞P.16-5

ハンドセットマネージャ
本機とパソコンの間で本機内のデータをやりとり。バックアップや編集に利用できます。
☞P.11-11

ケータイ書籍

電子書籍用の便利なビューア。市販の電子書籍などが閲覧できます。

☞P.9-14

Bluetooth®／ちかチャット

ワイヤレス接続方式Bluetooth®に対応。ちかチャットを利用したメッセージ交換もできます。

☞P.11-4、P.18-4

microSDカード

小型で大容量データの保存が可能なmicroSDカードに対応。パソコンとのやりとりも手軽に行えます。

☞P.10-19

フィーリングメール

メールに現在の感情をプラスして、着信音やイルミネーションなどで表現。より深いコミュニケーションが実現できます。

☞P.15-10

S!タウン／S!ループ

ソフトバンク独自のコミュニケーションサービス。目的に応じた情報のやりとりができます。

☞P.18-2、P.18-3

おなじみ操作

以前のケータイに近いメニュー操作に変更できます。

☞P.7-4

カレンダー／アラーム

予定を本機に登録して管理できます。朝の目覚めはアラームで。

☞P.13-2、P.13-8

メディアプレイヤー

本機が携帯音楽／動画プレイヤーに変身。音楽／動画のダウンロードなどが簡単にできます。

☞P.9-2

オプションサービス

転送電話、留守番電話をはじめとする充実のサポート。電話の利用を強力にサポートします。

☞P.14-2

目次

12. セキュリティ

13. 便利な機能

14. オプションサービス

15. メール

16. Yahoo!ケータイ

17. S!アプリ

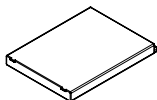
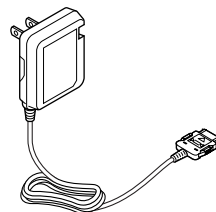
18. コミュニケーション

19. Abridged English Manual

20. 付録

お買い上げ品の確認

□810P本体

□電池パック（PMBAC1）

□急速充電器（PMCAA1）

□取扱説明書（1部）
□ファーストステップガイド（1部）
□ユーティリティーソフトウェア
（CD-ROM）※

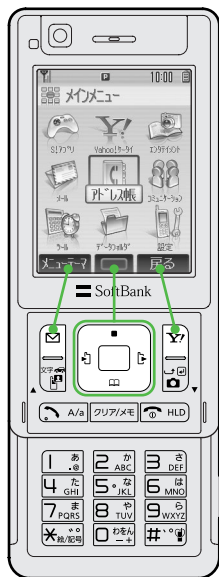
※ ユーティリティーソフトウェアは、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ユーティリティーソフトウェアの最新版は、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」よりダウンロードいただけます。

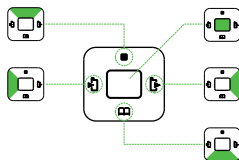
- その他付属品・オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- 電池パック、急速充電器は、オプション品としても取り扱っています。
- 本機は、microSDカード（以降「メモリカード」と記載します）を利用できますが、本製品にはメモリカードは同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをご利用ください。本機は記憶容量が2Gバイト（※2007年6月現在）までのメモリカードに対応していますが、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

本書の見かた

本書では、「SoftBank 810P」を「本機」と表記しています。

ナビゲーションボタン／ソフトボタンについて

画面下部に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。

ナビゲーションボタンの表記について

本書では、ナビゲーションボタンを押す操作を次のように表記しています。

1箇所以上を押す可能性のある場合は、次のように表記しています。

- または を押す…
- または を押す…
- 、、 または を押す…

ソフトボタンの表記について

本書では、ソフトボタンを押す操作を次のように表記しています。

左ソフトボタン：**[メニューテーマ]**

右ソフトボタン：**[戻る]**

- **[メニューテーマ]**、**[戻る]**の表示は左記画面の例です。表示は画面表示によって変わります。

画面表示について

本書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状および表示などが異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。

操作手順の表記について

本書では、本機を開いた状態での操作を中心に説明しています。

安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

危険

指示

本機に使用する電池パックおよび充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
電池パック PMBAC1、卓上ホルダー PMEAC1、急速充電器 PMCAA1、シガーライター充電器 PMJAA1

水ぬれ禁止

ぬらさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱や感電、故障などの原因となります。風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、本機や充電器を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、本機、充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させたりする原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にソフトバンク携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。

注意

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

ほこりの多い所では使用しないでください。
放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
感電、けがの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを注意してください。
けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認してください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックを本機に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本機から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからソフトバンクショップにお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

本機の取り扱いについて

警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※注意していただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響について確認してください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

注意

指示

本機を長時間使用すると、本機が熱くなることがあります。また、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。

禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

本人や他の人などに当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどはスピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

ヘッドホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

磁気カードやフロッピーディスクなどを本機に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

カメラのレンズに太陽光などの強い光を長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

禁止

万一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどに触れないでください。

ディスプレイ部やカメラのレンズはガラスが飛び散りにくい構造となっていますが、誤って割れた切断面などに触れるとけがの原因となります。

指示

本機をスライド開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

USIM ホルダーは金属製のため、取り扱いにはご注意ください。

指を傷つける可能性があります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

本機で使用している各部品の材質は次のとおりです。

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	操作ボタン面	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	外側カメラ面	ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	背面	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	電池カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ネジカバー		ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
赤外線ポート		アクリル樹脂	—
内側カメラ部プレート		ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ディスプレイ窓/内側カメラ透明窓		アクリル樹脂	—
外側カメラ透明窓		アクリル樹脂	—
操作ボタン部		アクリル樹脂	—
マクロスイッチ		POM樹脂	—
イヤホンマイク端子キャップ		PC樹脂／エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ		PC樹脂／エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
メモリカードスロットキャップ		PC樹脂／ABS樹脂／エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
サイドボタン		ABS樹脂	クロムメッキ（下地ニッケルメッキ）
充電端子		りん青銅	金メッキ（下地ニッケルメッキ）
ネジ（背面中央）		SWCH16A	ニッケルメッキ
ネジ（背面下部）		SWCH16A	黒ニッケルメッキ
電池収納面		ステンレス	—
電池端子	電池端子コネクター本体	PPS樹脂	—
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ（下地ニッケルメッキ）
電池パック	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂、ラベル：PET樹脂	—
	端子部	ガラスエポキシ基板	金メッキ（下地ニッケルメッキ）

充電器の取り扱いについて

警告

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダー（オプション品）をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、充電器および卓上ホルダーを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となったりします。

ぬれ手禁止

ぬれた手で充電器を抜き差ししないでください。
感電・故障の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
急速充電器：AC100V～240V
シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

雷が鳴り出したら、本機、充電器には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

充電端子をショートさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

シガーライター充電器（オプション品）はマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災の原因となります。

指示

充電器をコンセントに差し込むときは、針金などの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

指示

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書で確認してください。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。
感電や発煙、火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、ふき取ってください。
火災の原因となります。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

指示

充電器をコンセントやソケットから抜く場合は、充電器コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

指示

ぬれた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年 3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
- 病棟内では、携帯電話の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機やメモリカードに登録したデータ（アドレス帳・画像・音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。従って、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 傍受にご注意ください。

  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときは第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

  傍受（ぼうじゅ）とは

  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。

  極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- ステレオヘッドホンは音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
- 本機は防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめると、洗面所に落としたり、水でぬらしたりする原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因になることがあります。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - 荷物のつまった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。

● 銘板をはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。
● 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。急速充電器を接続して充電しているときは、必ず急速充電器を取り外したあと、本機の電源を切ってから取り外してください。またデータの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
● 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
● 本機のイヤホンマイク端子に指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損することがあります。
● USIMカードを乳幼児の手の届く所に置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
● 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、ヘッドホンの音量を上げないでください。周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
● 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

機能制限について

本機を機種変更、解約したときは、下記の機能が利用できなくなります。また、本機を長時間使用しなかった場合も利用できなくなる可能性があります。

・ カメラ
・ メディアプレイヤー
・ S!アプリ

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 ビデオを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

アプリックス、microJBlend 及びJBlend、並びに、アプリックスまたはJBlendに関連する商標並びにロゴは、米国、日本国及びその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

「BookSurfing®」は、株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

---

microSDロゴは商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

下記の一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
5,710,784 5,778,338

Bluetooth

Bluetooth® is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Panasonic Mobile Communications Co., Ltd. is under license.
Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth QD ID B012255

Powered by MascotCapsule®
MascotCapsule® is a registered trademark of HI CORPORATION
©2007 HI CORPORATION. All Rights Reserved.

NetFront Mobile Client Suite

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。
ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
NetFront Browser v3.4 Copyright© 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
NetFront Messaging Client v3.4 Copyright© 2000-2007 ACCESS CO., LTD.

本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash®Lite™テクノロジーを搭載しています。
Copyright© 1996-2006 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

TVコール、S!アプリ、ムービー写メール、デルモジ、ちかチャット、S!メール、アレンジメール、フィーリングメール、S!タウン、S!ループ、PCサイトブラウザ、ライブモニター、S!アドレスブック、おなじみ操作はソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

C€0168

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

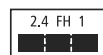
1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクお客さまセンター

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

※　一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」（☞P.20-34）を参照してください。

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないで下さい。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

携帯電話機の電波比吸収率（SAR）について

この機種810Pの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機810PのSARは、1.36W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

当社では、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行なった結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.369W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機810Pでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話810Pは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.552W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行なうように設計されているためです。

世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

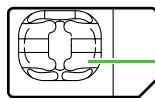
※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

ご利用になる前に

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下「USIMカード」）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、電話の発着信、メール、インターネットなどの機能が利用できません。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードはソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

- 本機を落としたり、強い衝撃を与えると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。その場合、「USIMをリセットします　お待ちください」と表示され、リセット終了後に待受画面に戻りますが、故障ではありません。また、「USIM未挿入です」と表示された場合は、電源を切り、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

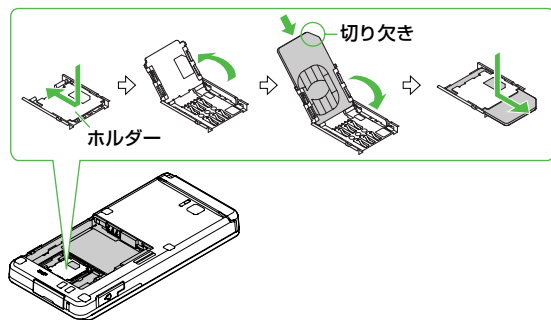
その他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- USIMカードや、ソフトバンク携帯電話（USIMカード装着済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- 別のUSIMカードを挿入すると、お買い上げ時に登録されているS!アプリ／ブックサーフィン®／ちかチャットが利用できなくなる場合があります。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。

解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、本機を修理したときは、本機やメモリカードに保存した着うた®／着うたフル®／音楽／静止画／動画／S!アプリ／ブックなどのファイルが利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

● 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから（☞P.1-13）、行ってください。

取り付ける

1 ホルダーを指先で下に押しながら矢印方向にスライドさせる

2 ホルダーをおこす

3 USIMカードをホルダーの奥まで確実に差し込む

4 ホルダーを倒し、指先で下に押しながら矢印方向にスライドさせる

● ホルダーがロックされます。

取り外す

1 取り付けの手順（☞左記）に従ってホルダーをおこし、USIMカードをホルダーから抜きとる

● 無理な取り付け／取り外しを行うと、USIMカードや本機が破損することがありますので、ご注意ください。
● 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。
● USIMカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。
● USIMホルダーは金属製のため、取り扱いにはご注意ください。指を傷つける可能性があります。
● ホルダーに貼り付けてあるシートは、はがさないでください。

PINコード

USIMカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。

PIN1コード

【お買い上げ時】9999

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- PIN1コードは変更できます。（☞P.12-3）
- PIN1のON／OFF設定（☞P.12-2）を**ON**にすると、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと本機を使用することができなくなります。

PIN1のON／OFF設定（☞P.12-2）を**ON**にして電源を入れた場合、次のことにご注意ください。

- PIN1コード入力後、待受画面から圏内表示になるまでに30秒程度時間がかかる場合があります。
- PINコード入力画面では、緊急電話番号（110／119／118）への発信はできません。

PIN2コード

【お買い上げ時】9999

通話料金の各設定（☞P.2-15）に使用する暗証番号です。

- PIN2コードは変更できます。（☞P.12-3）

PINロック解除コード（PUKコード）

PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回間違えると、PINコードがロックされます。「PINロック解除コード（PUKコード）」は、このPINロックを解除（☞P.12-3）するための暗証番号です。

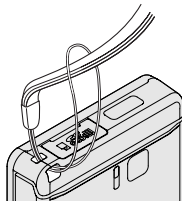
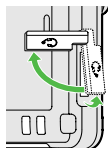
- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

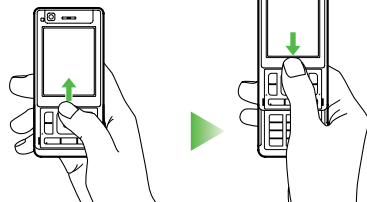
- PINロック解除コードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

各部の名称と機能

本体

正面図
内側カメラ
撮影された画像がTVコールをしている相手に送られます。
イルミネーション／充電ランプ
電話着信やメール受信を点滅してお知らせします。充電中は点灯します。
ディスプレイ
左ソフトボタン
画面左下に表示された操作を行います。
TVコール／文字／運転中モードボタン
番号を入力したあと、TVコール発信を行います。文字入力画面では、文字入力モードを切り替えます。また、運転中モードを設定／解除します。
クリアボタン
入力した文字などを消したり、各種メニューをキャンセルします。
クリア/メモ
開始ボタン
電話をかける／受けるときに押します。
A/a
ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。
0 わをん ～ 9 WXYZ
＊／記号ボタン
「＊」を入力します。文字入力画面では、絵文字／記号一覧を表示します。
受話口
送話口
ナビゲーションボタン
で上下左右にカーソルを移動したり、待受画面からショートカット機能を呼び出します。
センターボタン で項目の選択や決定を行います。カメラ使用時は、シャッターや録画スタートボタンとして使用します。
右ソフトボタン
画面右下に表示された操作を行います。
カメラ／改行ボタン
カメラを起動します。文字入力画面では、改行します。
電源／終了ボタン
HLD
電源を入れる／切るときや通話を終了するとき、待受画面に戻るときに押します。
サイドボタン
着信音やアラーム音などを消すときに使用します。また、カメラ使用時はシャッターや録画スタートボタンとして使用します。
#／マナーモードボタン
「#」を入力します。また、マナーモードを設定／解除します。
SoftBank

背面図

本機を開く／閉じる

ディスプレイ下の突起に指をあて、上下にスライドさせます。

- 本機をいったん開いてから待受画面の状態で閉じると、自動的に誤操作防止が設定されます。（クローズ自動設定☞P.1-18）開くと解除されますが、閉じたまま使用する場合は [●] を押し、確認画面で [✉][YES] を押して解除してください。
- 本機を開く／閉じるだけで、電話の応答や通話の終了、不在時の着信履歴の表示などを行うように設定できます。（☞P.8-4）

簡単ボタン操作一覧

待受画面からの操作

	ボタン	操作
1回押し（1秒以下）		メインメニューを開く／誤操作防止解除
		ライブモニターを選択する
		アドレス帳を開く
		着信履歴を開く
		発信履歴を開く
		メールメニューを開く
		インターネット上のYahoo!ケータイメインメニューに接続する
		全通話履歴を開く
		簡易留守録リストを開く
		カレンダーを開く※
		カメラを起動する

※ を押して開くメニューは変更できます。（ショートカットボタンの設定☞P.8-3）

待受画面からの操作（つづき）

	ボタン	操作
長押し（1秒以上）		誤操作防止設定
	／	受話音量調節画面を開く
		電源を切る（2秒以上）
		S!メール新規作成画面を開く
		Yahoo!ケータイメニュー一覧を開く
	1 - 9	それぞれのボタンに登録された電話番号に発信する（スピードダイヤル）
	0	＋（国際コード）を入力
	＊	P（ポーズ）を入力
	#／(右側面)	マナーモードの設定／解除
		簡易留守録の設定／解除
		運転中モードの設定／解除
		ビデオカメラを起動する

音声通話中の操作

	ボタン	操作
1回押し（1秒以下）	／	受話音量を上げる
	／	受話音量を下げる
		オプションメニューを開く
	／	通話を終了する
	(右側面)	相手の声を録音する

ディスプレイ

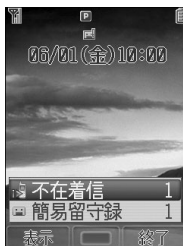
ディスプレイ表示

ディスプレイアイコン

PCブラウザ起動中
USBケーブル接続中
赤外線通信がON
ソフトウェア更新中／開始通知／結果通知
Bluetooth® 通信がON
Bluetooth® 機器接続中
公開中
メモリカード装着中
使用できないメモリカード（☞P.10-20）
非対応のメモリカード
ライトプロテクトのかかったメモリカード
音声通話中
TVコール中
未読メールあり
シークレットモードがON
ローミング中
S!メールがいっぱいのため、サーバーに未受信メールあり
SMSがいっぱいです
メール機能使用禁止
アドレス帳使用禁止
メール&アドレス帳使用禁止
音量設定がサイレント
バイブレーションがON
音量設定がサイレントでバイブレーションがON
ライブモニター未読情報あり
転送電話または留守番電話サービスがON
留守番電話サービスのメッセージあり
セキュリティで保護されている情報画面に接続中
S!アドレスブック同期中
自動同期設定がON
S!アプリ実行中／一時停止中
ストリーミング中／一時停止中
BGM再生中／一時停止中
マナーモード
ユーザーモード
運転中モード
スケジュールアイコン（☞P.13-5）
アラームがON
簡易留守録設定がON
留守メッセージがいっぱいです
未確認留守メッセージあり
未確認留守メッセージあり＆留守メッセージがいっぱいです

インフォメーション表示について

待受画面にインフォメーションを表示して、いろいろな情報をお知らせします。

1 内容を確認するには、[キー]でインフォメーションの項目を選択→[キー]または[キー]**[表示]**

■ インフォメーションで表示されるお知らせ内容

不在着信	応答しなかった電話があります。(☞P.2-12)
メール	メールを受信しました。(☞P.15-13) フィーリングメールを受信すると、さらに感情アイコンと送信元が表示されます。
簡易留守録	簡易留守録にメッセージがあります。(☞P.2-9)
留守電メッセージ	留守番電話センターに新しい伝言メッセージがあります。(☞P.14-5)
着信のお知らせ	留守番電話サービスの着信お知らせ機能を**ON**にすると、圏外や電源OFF時、通話中に受けられなかった着信をお知らせします。(☞P.14-5)
ソフトウェア更新結果	ソフトウェア更新の結果をお知らせします。(☞P.20-13)

- インフォメーション表示を消すには：
  [Y!]**[終了]**、[HLD]または[クリア/メモ]

補足　インフォメーション表示中でも発信などの通常の操作はできます。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

充電時間と利用可能時間の目安

項目		3Gモード	GSMモード
充電時間		約160分	
連続待受時間		約350時間	約270時間
連続通話時間	**音声通話**	約180分	
	TVコール	約90分	―

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波を正常に受信できる状態で算出した、時間の目安です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、ご利用可能時間が変動します。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃～35℃
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。また、完全に充電できない、電源が入らない等の原因になることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 電池パック単体で充電することはできません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れた待受状態でも充電できますが、充電時間は長くなります。
- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電中に充電器や電池パック、本機が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

使用時のご注意

- 電池パックや本機、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

電池パックの持ちについて

- 次のような場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。
  - ・ 極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき
  - ・ 本機や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
  - ・ 電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき
  - ・ 音楽などを再生したり、S!アプリを起動しているときなど
- 次のような機能を設定することによって、電池パックの消耗を軽減できます。
  - ・ 本機を閉じると画面が暗くなるようにする（クローズパワーセーブ設定☞P.8-6）
  - ・ ディスプレイのバックライト点灯時間を短くする（☞P.7-6）
  - ・ ボタンの確認音量を**サイレント**にする（☞P.8-2）／バックライトを**OFF**にする／点灯時間を短くする（☞P.8-3）

  など

電池が切れたら

● **通話中以外のとき**

電池残量が不足している旨のメッセージが表示され、電池アラーム音が「プープー…」と鳴り、約2分後に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴っているときに HLD、Y! または クリア/メモ を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。

- ・ マナーモード設定中やエラー音設定が**OFF**の場合は、電池アラーム音は鳴りません。
- ・ 本機を閉じているときは、(右側面）を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。

● **通話中のとき（音声電話／TVコール共通）**

電池残量が不足している旨のメッセージが表示され、受話口またはスピーカーから電池アラーム音が「プープー…」と鳴り、約1分30秒後に通話が終了したあと、電源が切れます。電池パックを充電してください。

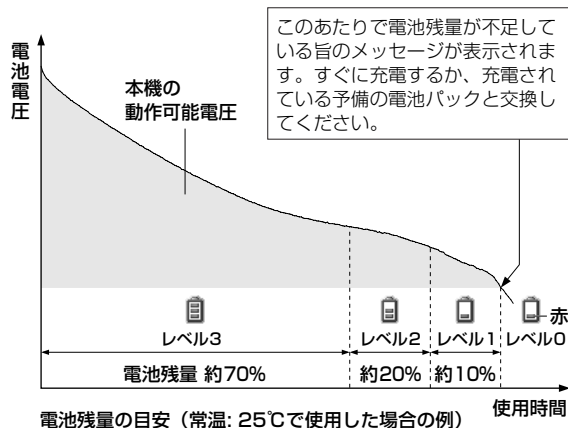
不要になった電池パックは

● 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

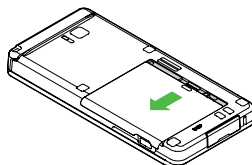
電池レベル表示について

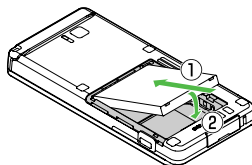
● 電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに変化します。
ディスプレイの電池レベル表示（☞P.1-8）とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

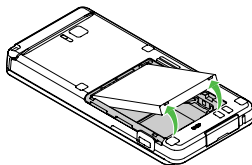
電池残量の目安（常温: 25℃で使用した場合の例）

電池パックを取り付ける／取り外す

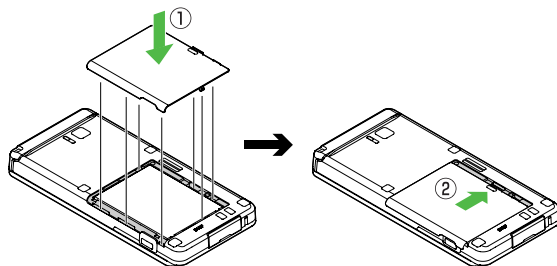
- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから行ってください。

1 電池カバーを外す

電池カバーのくぼみに指をかけ、矢印方向にスライドさせます。

2 電池パックを取り付ける

印刷面を上にして、本体と電池パックの端子を合わせてはめ込みます。

電池パックを取り外す

電池パックの左右いずれかの引っかけ部を利用して、持ち上げます。

3 電池カバーを取り付ける

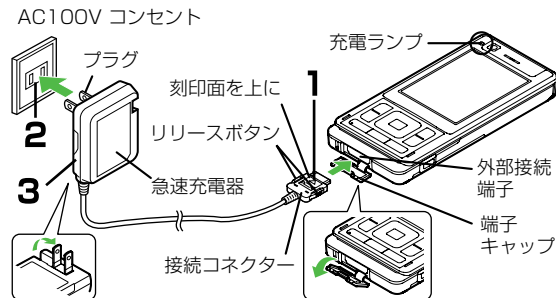
本体の溝に電池カバーのツメを合わせて置き、カチッと音がするまでスライドさせます。

電池パックを取り外すと、まれに直前に行った設定変更の内容が反映されない場合があります。

この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、分解したり、ショートさせないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。

急速充電器を利用して充電する

必ず付属の急速充電器を使用してください。

充電時間：約160分

1 急速充電器の接続コネクターを本機の外部接続端子に差し込む

コネクターの刻印がある面を上にして、外部接続端子に差し込みます。

2 急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

プラグを起こしてからACコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯し、充電を開始します。

充電ランプが消灯すれば、充電は完了です。

3 充電が完了したら、急速充電器を外す

プラグをACコンセントから抜き、接続コネクターを本機から抜きます。

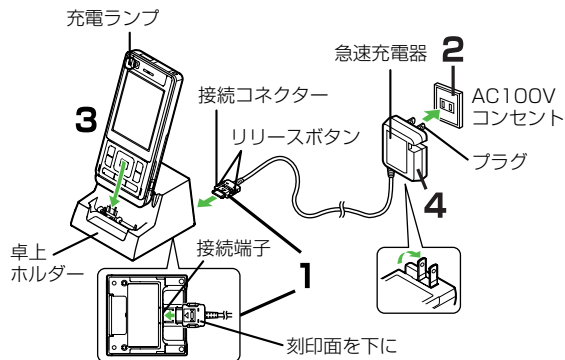
接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。（ご使用後はプラグを倒して保管してください。）

抜いたあとは、本機の外部接続端子のキャップを元に戻してください。

- 急速充電器のコードを強く引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因になります。
- 急速充電器はAC100～240Vの家庭用電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

卓上ホルダーを利用して充電する

卓上ホルダーはオプション品です。
急速充電器は必ず付属のものを使用してください。

充電時間：約160分

1 急速充電器の接続コネクターを卓上ホルダー背面の接続端子に差し込む

コネクターの刻印がある面を下にして、接続端子に差し込みます。

2 急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

プラグを起こしてからACコンセントに差し込みます。

3 本機を卓上ホルダーに置く

本機の下部を差し込みます。

充電ランプが点灯し、充電を開始します。

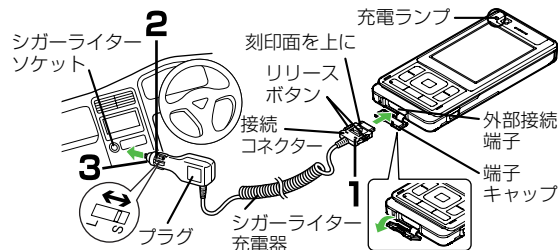
充電ランプが消灯すれば、充電は完了です。

4 充電が完了したら、本機を卓上ホルダーから取り外し、急速充電器のプラグをACコンセントから抜く

卓上ホルダーから接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。（ご使用後はプラグを倒して保管してください。）

シガーライター充電器を利用して充電する

シガーライター充電器はオプション品です。

充電時間：約160分

1 シガーライター充電器の接続コネクターを本機の外部接続端子に差し込む

コネクターの刻印がある面を上にして、外部接続端子に差し込みます。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

プラグのサイズが合わない場合は、一度取り外し、差し込み口付近にあるスイッチ（L[固い]⇔S[ゆるい]）で調節してください。

車のエンジンをかけてください。

充電ランプが点灯し、充電を開始します。

充電ランプが消灯すれば、充電は完了です。

3 充電が完了したら、シガーライター充電器を外す

プラグをシガーライターソケットから抜き、接続コネクターを本機から抜きます。

接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

抜いたあとは、本機の外部接続端子のキャップを元に戻してください。

- シガーライター充電器はマイナスアース車専用です（12V、24V両用）。プラスアース車では使用しないでください。
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。また、自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

詳しくは、シガーライター充電器の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

待受画面

1 HLD を長く押す（3秒以上）

ディスプレイが点灯し、待受画面が表示されます。

2 電源を切るには HLD を長く押す（2秒以上）

ディスプレイが消灯します。

電源を入れてから待受画面になるまでに30秒程度時間がかかる場合があります。

初めて電源を入れたとき

日付と時刻の確認画面が表示されます。日付と時刻を入力して を押してください。

- 日付と時刻を入力しなかった場合は、自動的に「2007年1月1日 00:00」に設定されます。

本機を閉じたまま電源を入れたとき

誤操作防止が設定されています。詳しくは、P.1-18を参照してください。

本機を閉じたまま電源を切るとき

誤操作防止設定中は電源を切ることができません。本機を開くか誤操作防止を解除して（☞P.1-18）から、操作を行ってください。

- USIMカードを装着していても「USIM未挿入です」と表示されるときは、電源を切ったあとUSIMカードが正しく装着されているか、IC部分が汚れていないか確認したうえで、電源を入れ直してください。
- 第三者による無断使用を防ぐために、電源を入れたときに必ずPIN1コードを入力するよう設定できます。（☞P.12-2）
- 本機を開いたまま操作しない状態が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面が暗くなります。
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間、通話履歴や保存されているメールの宛先などは、アドレス帳に名前を登録していても、電話番号やメールアドレスで表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。

ネットワーク自動調整について

お買い上げ後、初めて 、、、 を押すと、確認画面が表示されます。 を押してネットワーク自動調整を行ってください。

- ネットワーク自動調整をすると、メールやインターネットなどのネットワーク接続を伴うサービスが利用できます。
- ネットワーク情報は、手動で取得することもできます。
  メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク自動調整

誤操作防止について

本機を閉じたまま電源を入れた直後や待受画面の状態で本機を閉じると、誤操作防止が設定されてボタン操作が無効になります。本機を開くと誤操作防止は解除されます。

- 誤操作防止状態のときは、「 」が表示されます。
- 本機を閉じても誤操作防止設定にならないようにするには、クローズ自動設定を**OFF**にしてください。

誤操作防止を解除する

1 「 」が表示されている画面で →確認画面で **[YES]**

クローズ自動設定

【お買い上げ時】ON

本機を閉じたまま電源を入れた直後や待受画面の状態で本機を閉じると、常に誤操作防止が設定されます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 誤操作防止 ▶ クローズ自動設定

1 **ON**または**OFF**を選択→

誤操作防止を一時的に設定するには

クローズ自動設定が**OFF**の状態や開いた状態でも一時的に誤操作防止を設定できます。

待受画面で [ボタン]（1秒以上）→確認画面で [ボタン] または

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 誤操作防止 ▶ 誤操作防止ON

誤操作防止設定中も緊急電話番号（110／119／118）への発信はできます。ただし、番号を入力しても表示されません。番号を間違えた場合、[HLD] を押して最初から入力し直してください。

誤操作防止中は電源を切ることができません。解除してから操作を行ってください。

日付／時刻の設定

画面に表示される日付／時刻を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ ホーム時計 ▶ 日時設定

1 日付を入力→ [ボタン]

2 時刻（24時間制）を入力→ [ボタン]

曜日は自動的に設定されます。

入力を間違えたとき

変更したい場所にカーソルを移動して、正しい数字を入力してください。

- 時計表示は次のような設定／変更が可能です。
  - ・ 時刻補正の設定（☞P.7-2）
  - ・ 世界各国の都市の時計表示（海外時計）（☞P.7-3）
  - ・ サマータイムの設定（☞P.7-3）
  - ・ 時刻の時間制（24時間／12時間）や日付の表示形式（年／月／日の順番）の変更（☞P.7-4）
- 本機能で設定できるのは、2007年1月1日00時00分から2099年12月31日23時59分までです。

機能の呼び出しかた

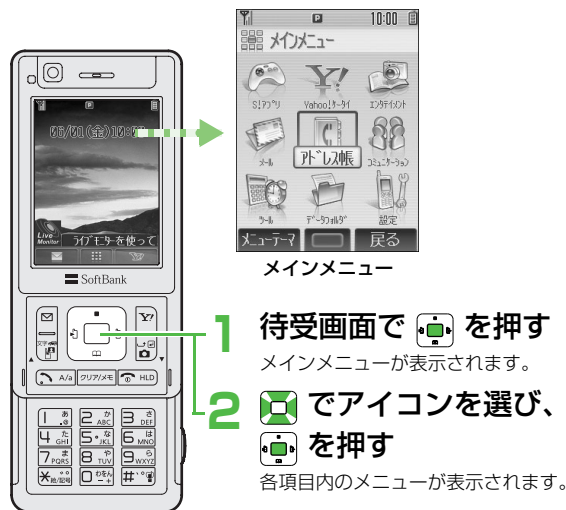
メインメニューから機能を呼び出す

メインメニュー

1 待受画面で ● を押す

メインメニューが表示されます。

2 ◎ でアイコンを選び、● を押す

各項目内のメニューが表示されます。

待受画面に戻るには

各画面で HLD →待受画面に戻ります。

メインメニューの項目について

S!アプリ S!アプリの起動、設定を行います。	**Yahoo!ケータイ** インターネットに接続します。	**エンタテイメント** カメラ、メディアプレイヤー、ブックサーフィン®などが利用できます。
メール メールの作成や送受信を行います。	**アドレス帳** 電話をかけたりメールを送る相手の情報を登録し、利用できます。	**コミュニケーション** S!タウン、S!ループ、ちかチャットが利用できます。
ツール アラームやカレンダーなど便利な機能が利用できます。	**データフォルダ** 画像や音楽ファイルなどのデータの保存、管理を行います。	**設定** 各種設定を行います。

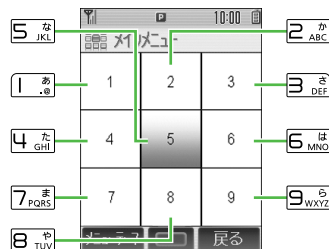
- メインメニューの各アイコンや背景をお好みの画像に変更できます。(☞P.7-5)
- メインメニューをおなじみ操作または本機のオリジナルメニューに変更できます。(☞P.7-4)

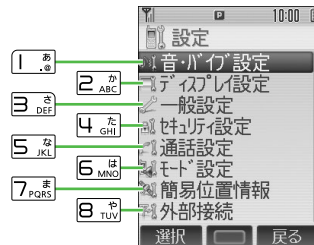
メニュー番号で機能を呼び出す

メインメニュー画面から、ダイヤルボタンを使ってすばやく機能や項目を選択できます。

各項目に番号がない場合

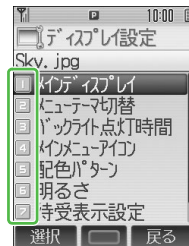
各項目に番号がない画面（メインメニューやメインメニューで選んだ項目の最初の画面）でも、その順番でダイヤルボタンが割り当てられています。

例1）メインメニューで**設定**を選ぶには、9 を押す

メインメニューの割り当て数字

例2）例1で表示された設定画面で**ディスプレイ設定**を選ぶには、2 を押す

設定画面（例）の割り当て数字

各項目に番号がある場合

項目に番号が付いている画面（設定画面や ✉[**メニュー**]を押したあとのサブメニュー画面）では、番号のダイヤルボタンを押すとその項目が選択されます。

例1）ディスプレイ設定画面で**明るさ**を選ぶには、6 を押す

暗証番号

本機のご使用にあたっては「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

【お買い上げ時】9999

4桁の暗証番号で、本機の各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「＊」で表示されます。
- 操作用暗証番号は本機の操作で変更できます。（☞P.12-2）
- 入力を3回間違えると、警告画面が表示されます。いったん電源を切ると、再び入力できるようになります。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作するときや、インターネットの有料情報の申し込みの際に使用します。

- 交換機用暗証番号は本機の操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、本機で発着信規制サービス（☞P.14-8）の設定を行うときに使用します。

- 入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- 発着信規制用暗証番号は本機の操作で変更できます。（☞P.14-10）

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。また、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 暗証番号について詳しくは、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

- 日本国内から国際電話をかける（☞P.2-4）
- 海外で電話をかける（☞P.2-20）
- TVコールをかける（☞P.5-3）

日本国内で音声電話をかける

まず確認！

待受画面で

- 電波状態を確認する。（☞P.1-8）
- 表示を確認する。
  「圏外」「」「（赤で表示）」「」
  →ご利用になれません。
  （☞P.1-8、P.20-11）
- 「」が表示されている場合
  →誤操作防止設定中です。本機を開くと設定は解除されます。すでに開いている場合または閉じたままかける場合は →確認画面で [YES] で解除してください。

1 市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内でも必ず市外局番からダイヤルしてください。

2 電話番号を確認し、 A/a を押す

電話がかかります。

3 通話が終わったら、 HLD を押す

通話時間の目安が表示されます。

電話番号通知/非通知の設定

- ダイヤルしたあとに[メール][**メニュー**]→**発信者番号設定**を選択→[決定]→**通知**または**非通知**を選択→[決定]
- 常に通知／非通知にするときは（発信者番号通知サービス☞P.14-10）

電話番号を間違えたとき

- [左右] でカーソルを消したい数字の後ろに移動して [クリア/メモ] を押し、正しい数字を入力します。[クリア/メモ] を長押し（1秒以上）すると、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-6）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
- 体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。

- 本機は、閉じた状態でも開いた状態でも電話をかけられます。
- 本機を閉じると通話が切れるように設定できます。（クローズ通話終了設定☞P.8-5）
- 通話中と通話終了後に通話料金を表示できます。（☞P.2-15）
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に電話をかけると、アドレス帳に相手の名前を登録していても電話番号で表示されます。この場合は、通話中も電話番号が継続して表示されます。

以前かけた電話番号にもう一度かける（発信履歴）

以前かけた電話の日時や電話番号を最新の50件まで記憶しています。発信履歴を使って電話をかけられます。

- 発信の状態を表すアイコンについて（☞P.2-12）

1 待受画面で [左キー]

新しい履歴から順に一覧表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

10:00
通話履歴
発信履歴
鈴木さん
07/06/01 09:30
0903368XXXX
07/06/01 09:00
メニュー 表示 戻る

2 電話番号を選択→ [通話キー]

音声電話がかかります。

- TVコールや国際電話をかける、または電話番号の通知／非通知を選択してかけるには（☞P.2-13手順2以降）

- 同じ番号に2回以上電話をかけたときは、最後にかけた日時のデータだけが記憶されます。
- 電源を切っても発信履歴の記憶は消えません。
- 50件を超えたときは、古いものから削除されます。

日本国内から国際電話をかける

- 国際電話の利用には、別途お申し込みが必要です。詳しくは、「サービスガイド（3G）」を参照してください。
- ソフトバンク携帯電話にかけるときは、相手のいる国にかかわらず、ソフトバンク携帯電話番号だけでかけられます。
- 海外で電話をかけるには（☞P.2-20）

1 電話番号を入力

2 [メールキー]**[メニュー]**→**国際発信**を選択→ [決定キー]

国名リストが表示されます。

3 相手の国を選択→ [決定キー] → [通話キー]

国番号などを直接ダイヤルする場合

[0キー]（1秒以上）で「＋（国際コード）」を表示させる→国番号を入力→電話番号を入力（先頭の「0」を除く）→ [通話キー]

- 国際コードは、お買い上げ時は「0046010」に設定されていますが、変更することもできます。（☞P.2-18）
- イタリア（国番号39）にかける場合は、電話番号の先頭の「0」は省かずに入力してください。

国名リストにない国にかける場合

利用したい国番号がリストにない場合は、その場で追加できます。

手順3で [メールキー]**[メニュー]**→**追加**を選択→ [決定キー] →国名を入力→ [決定キー] →国番号を入力→ [決定キー]

緊急電話（110／119／118）発信について

本機の各機能を利用して発信を制限しているときでも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安庁）へは発信できます。

次の場合は発信できませんので、ご注意ください
- オフラインモードが**ON**のとき（☞P.2-22）
- PINコード入力画面が表示されているとき（PIN1設定が**ON**で電源を入れたとき）（☞P.12-2）
- USIMカードが挿入されていないとき（発信してもつながりません）

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。
本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。
- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「119」、「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命等に差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 海外ローミングを使用している場合は対象外となります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIMの状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

電話を受ける

電話がかかってくると

着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

相手が電話番号を通知してきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 A/a を押し、相手と話す

2 通話が終わったら、HLD を押す

通話時間の目安が表示されます。

着信音を消すには
着信中に、(右側面)を押します。

相手の声の大きさを調節するには
通話中に または で調節します。

補足

- 本機は、閉じた状態でも開いた状態でも電話を受けられます。
- 本機を開くだけで電話を受けられるように設定できます。(オープン着信応答設定☞P.8-5)
- 0〜9、*、#、文字、カメラ、 でも電話を受けられるように設定できます。(エニーキーアンサー ☞P.8-3)
- 相手の電話番号が通知されてこなかったときは、「非通知」と表示されます。
- 迷惑電話などを防止するために、非通知などの着信や特定の電話番号からの着信を拒否できます。(着信拒否☞P.12-6)
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に電話がかかってくると、アドレス帳に相手の名前、着信音、イルミネーション、画像を登録していても、電話番号で表示され、着信音とイルミネーションは通常設定連動となり、画像は表示されません。この場合は、通話中も電話番号が継続して表示されます。

かけてきた相手にかけ直す（着信履歴）

以前かかってきた電話の日時や電話番号を最新の50件まで記憶しています。着信履歴を使って電話をかけられます。

- 着信の状態を表すアイコンについて（☞P.2-12）

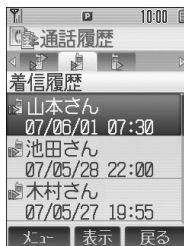
1 待受画面で [決定キー]

新しい履歴から順に一覧表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選択

→

音声電話がかかります。

- TVコールや国際電話をかける、または電話番号の通知／非通知を選択してかけるには（☞P.2-13手順２以降）

- 電源を切っても着信履歴の記憶は消えません。
- 50件を超えたときは、古いものから削除されます。

電話に出られないとき

着信を保留にする（応答保留）

すぐに電話に出られないときなどに着信を保留にできます。

1 電話がかかってきたら、[HLD]

相手には電話に出られない旨のガイダンスが流れます。

- 応答保留中でも通話料金がかかります。

2 電話に出るには、[A/a]

着信を拒否する

かかってきた電話を拒否できます。

1 電話がかかってきたら、[Y!]**[拒否]**

着信を転送する

あらかじめ転送電話サービスを開始しておけば、かかってきた電話を登録した電話番号に転送できます。

- 転送電話サービスについて（☞P.14-2）

1 電話がかかってきたら、[✉]**[転送]**

- 転送電話サービスを開始していない場合は、[✉]**[転送]**を押すと着信は拒否されます。

メッセージを録音する（簡易留守録）

あらかじめ設定しておくと、かけてきた相手のメッセージを最大8件まで本機に録音できます。

- 簡易留守録を設定すると、待受画面に「 」が表示されます。
- 簡易留守録は、電源が切れているとき、オフラインモード設定中や「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.14-4）

簡易留守録を設定／解除する

【お買い上げ時】OFF

1 待受画面で クリア/メモ（1秒以上）

- 解除するときは、もう一度 クリア/メモ（1秒以上）

電話がかかってきたときに設定するには

簡易留守録が**OFF**の状態で電話がかかってきたときに クリア/メモ を押すと、簡易留守録が**ON**になり、録音を開始します。その後も設定は保持されます。

- **メインメニューから ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 設定 ▶ ON/OFF** でも設定／解除できます。
- 録音件数がいっぱいの状態で簡易留守録を**ON**にしても、簡易留守録は動作しません。不要なメッセージは削除してください。
- TVコール着信は簡易留守録を利用できません。

応答時間を設定する

【お買い上げ時】18秒

電話がかかってきてからガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

メインメニューから ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 設定 ▶ 応答時間

1 応答時間（1～30秒）を入力→

応答時間とサービスの優先順位

- 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、応答時間の設定により、優先順位が変わります。
  例）簡易留守録の応答時間…18秒／
  　　各サービスの応答時間…20秒
  と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
- 簡易留守録を優先していても、録音件数がいっぱいになると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

録音されたメッセージを聞く

新しいメッセージが録音されると、待受画面にインフォメーションと「 」が表示されます。

● インフォメーション表示について（☞P.1-10）

1 インフォメーションの**簡易留守録**を選択→

簡易留守録リストが表示されます。

2 メッセージを選択→

メッセージが再生されます。

再生が終わると、インフォメーションと「 」は消えます。

録音した相手に電話をかけるには

メッセージを選択→ **[メニュー]→発信**を選択→

メッセージを消去するには

メッセージを選択→ **[メニュー]→削除**または**全件削除**を選択→ →確認画面で **[YES]→全件削除**を選択した場合は、操作用暗証番号（4桁）（☞P.1-22）を入力→

録音した相手をアドレス帳に登録するには

メッセージを選択→ **[メニュー]→アドレス帳へ登録**を選択→

待受画面で クリア/メモ を押す、または **メインメニューから ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 簡易留守録リスト** からでも再生できます。

通話中の操作

音声通話中の操作を説明します。

● TVコール通話中の操作（☞P.5-5）

通話中は消費電力を抑えるために、約1分で通話画面を消灯します。（通話は継続されます。）消灯中でも HLD で通話を終了できますが、その他のボタンは画面を再度点灯させるだけの動作となります。通話中の操作は、画面を点灯させてから行ってください。

相手の声の大きさを調節する（受話音量）

【お買い上げ時】レベル4

1 通話中に または で音量を調節

● 通話終了後や電源を切っても、変更した音量は保持されます。

通話中でなくても、待受画面で または を長押し（1秒以上）すると受話音量調節画面が表示され、音量を変更できます。

ハンズフリー通話に切り替える

スピーカーから相手の声が聞こえるように切り替えることによって、ハンズフリーで通話ができます。

1 通話中に、[メール]**[メニュー]→スピーカーオン**を選択→[決定]

ハンズフリー通話ができます。

- 元に戻すには：[メール]**[メニュー]→スピーカーオフ**を選択→[決定]

補足
Bluetooth®対応機器でハンズフリー通話中は、次の操作で切り替えられます。
[メール]**[メニュー]→Bluetoothへ切替**、**本体（スピーカーオン）へ切替**または**本体（スピーカーオフ）へ切替**を選択→[決定]

通話を録音する（ボイスレコーダー）

通話内容を録音できます。（1件あたり最大60秒）

1 通話中に、[ ]（右側面）

「ピー」と鳴って、録音が始まります。

2 録音を終了するときは、[決定]

録音した音声は着うた・メロディフォルダに保存されます。

補足
通話中に[メール]**[メニュー]→録音**を選択→[決定]でも録音できます。

SMSを作成／送信する

通話中にSMSを作成して送信できます。

1 通話中に、[メール]**[メニュー]→SMS新規作成**を選択→[決定]

2 宛先と本文を入力して送信する（☞P.15-11手順1～4）

その他通話中にできること

プッシュトーンを送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュトーンが送信されます。自動音声応答サービスなどの各種プッシュホンサービスがご利用になれます。

1 通話中に 0～9、* または #

アドレス帳を確認する

通話中にアドレス帳を確認できます。

1 通話中に、✉**[メニュー]→アドレス帳**を選択→●

アドレス帳が開きます。

通話を保留にする

通話を保留にすると、相手には保留音が流れます。

- 保留の利用には、割込通話サービス（☞P.14-6）または多者通話サービス（☞P.14-7）のお申し込みが必要です。

1 通話中に、A/a

通話が保留され、相手に保留音が流れます。

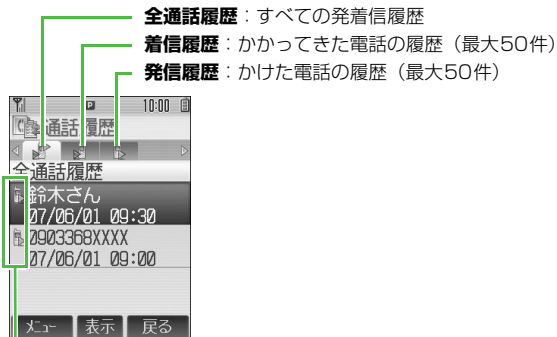
- 保留を解除するには：もう一度 A/a

✉**[メニュー]→保留**または**保留解除**を選択→● でも保留／解除できます。

通話履歴の確認

以前かけた電話、かかってきた電話、応答しなかった電話などの日時や電話番号を記憶しています。

着信／発信の状態を表すアイコン

- 応答した音声電話着信
- 応答したTVコール着信
- 応答しなかった音声電話着信
- 応答しなかったTVコール着信
- 拒否した音声電話着信
- 拒否したTVコール着信
- 発信した音声電話
- 発信したTVコール

通話履歴を確認する

1 待受画面で [A/a] → で履歴の種類を選択

2 個々の履歴の詳細を確認するには、[◀▶] で履歴を選択→ [●]

補足

- 同じ番号に2回以上電話をかけたときは、最後にかけた日時のデータだけが全通話履歴と発信履歴に記憶されます。
- 電源を切っても通話履歴の記憶は消えません。
- 最大件数を超えたときは、古いものから削除されます。
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間通話履歴は、アドレス帳に名前を登録していても電話番号で表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。
- 通話履歴は **メインメニューから** **アドレス帳** ▶ **通話履歴** でも表示できます。
- 待受画面で [◀] を押すと発信履歴、[▶] を押すと着信履歴を直接表示できます。

通話履歴を利用する

履歴を利用して電話をかける

1 → で履歴の種類を選択

2 で利用する履歴を選択→**[メニュー]**→**発信**を選択→

3 **音声**、**TVコール**または**国際発信**を選択→

4 手順3で**国際発信**を選択した場合は、相手の国を選択→ →

電話番号の通知／非通知を選択してから電話をかけるときは

手順3で**番号通知**または**番号非通知**を選択→ → **[メニュー]**→**発信**を選択→ →**音声**または**TVコール**を選択→

履歴を利用してメールを作成する

1 → で履歴の種類を選択

2 で利用する履歴を選択→**[メニュー]**→**メール新規作成**を選択→

3 **S!メール**または**SMS**を選択→ →メール作成の操作を行う（S!メール☞P.15-7 手順3以降／SMS☞P.15-11 手順3以降）

履歴を利用してアドレス帳に登録する

1 → で履歴の種類を選択

2 で利用する履歴を選択→**[メニュー]**→**アドレス帳へ登録**を選択→

3 **新規登録**または追加登録する相手を選択→ →登録の操作を行う（☞P.4-4 手順1以降）

通話履歴を消去する

1 →で履歴の種類を選択

2 消去したい履歴を選択→[メニュー]→**削除**を選択→

3 **1件消去する場合**

1件を選択→ →確認画面で

すべて消去する場合

全件を選択→ →確認画面で [YES]→操作用暗証番号（4桁）を入力→

● 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

通話時間／通話料金表示

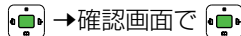
注意　通話料金表示機能は、ご契約の内容により利用できない場合があります。

通話時間を確認する

本機から発信した累積通話時間の目安を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金 ▶ 累積発信通話時間

1 **累積通話時間をリセットするには**

→確認画面で

補足
- 電源を切っても通話時間の記憶は消えません。
- 多者通話サービスを利用した場合、本機から発信したすべての通話の通話時間が累積されます。

通話料金を確認する

通話料金表示機能は、ご契約の内容により利用できない場合があります。また、その場合は累積料金表示と通話料金上限設定もご利用いただけません。

累積料金を確認する

本機から発信した通話の累積料金の目安を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金 ▶ 累積料金

1 **累積料金をリセットするには**

→確認画面で →PIN2コードを入力→

電源を切っても累積料金の記憶は消えません。

通話料金を表示する

【お買い上げ時】OFF

通話中と通話終了後に通話料金を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金 ▶ 料金表示ON/OFF

1 **ON**（表示する）または**OFF**（表示しない）を選択→

通話料金の表示通貨／換算単位を設定する

通話料金に表示される通貨単位と換算単位を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金 ▶ 通話料金表示単位

1 →PIN2コードを入力→

2 通貨単位（3文字）を入力→

3 表示単位を入力→

通話料金の上限を設定する

設定した通話料金の上限（限度額）を超えると、発信できなくなります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金 ▶ 通話料金上限設定

1 [メニュー]→**編集**を選択→

- 上限を設定しない場合は、**OFF**を選択します。

2 PIN2コードを入力→

3 限度額を入力→

限度額を超えて発信ができなくなったら
累積料金をリセットすると（☞P.2-15）、発信できるようになります。

- 通話料金の上限を累積料金以下の値に設定すると、設定直後から発信ができなくなります。その場合、累積料金をリセットする（☞P.2-15）か、通話料金の上限を累積料金より高い値に再設定してください。
- 限度額を超えたときでも緊急電話番号（110／119／118）への発信はできます。

残課金を確認する

設定した通話料金の上限（☞左記）の残課金を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金 ▶ 残課金

自分の電話番号を確認する

オーナー情報（☞P.4-16）を呼び出し、自分の電話番号を確認できます。名前やメールアドレスなど、登録している情報も同時に確認できます。

1 待受画面で

オーナー情報が表示されます。

海外での利用（国際ローミング）

本機では、日本以外の国や地域に行っても、音声通話などが利用できます。

- 国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金などの詳細については、「国際ローミングガイド」を参照してください。また、使用できる機能や制限などについては、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- 国際ローミングのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- 海外にお出かけになるときは、「国際ローミングガイド」を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

【お買い上げ時】自動

国や地域によっては、ネットワークモードを切り替える必要があります。

3G/GSM	日本国内と海外の3G／GSMサービスエリアで使用できます。3GとGSMの両方を検索します。
3G	日本国内と海外の3Gサービスエリアで使用できます。
GSM	海外のGSMサービスエリアで使用できます。日本国内では使用できません。
自動	日本国内と海外の3G／GSMサービスエリアで使用できます。日本国内では3Gのみ、海外では3GとGSMの両方を検索します。

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **通話サービス** ▶ **国際設定** ▶ **3G/GSM選択**

1 **3G/GSM**、**3G**、**GSM**または**自動**を選択→ [センターキー]

国際コードの設定

【お買い上げ時】0046010

よく利用する国際コードを設定します。

- 待受画面で 0 を長押し（1秒以上）すると、設定した国際コードが自動的に入力され、「+」が表示されます。（「+」は国際コードを表す記号です。）

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 国際設定 ▶ 国際コード

1 操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

2 国際コードを入力→

国番号リストの設定

あらかじめ登録されている国番号を編集したり、追加登録ができます。

- 国番号について詳しくは、「国際ローミングガイド」を参照してください。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 国際設定 ▶ 国番号リスト

1 **国番号を編集する**

国を選択→ →国名を編集→ →国番号を編集→

国番号を追加する

[メニュー]→**追加**を選択→ →国名を入力→ →国番号を入力→

国番号を削除する

国を選択→**[メニュー]**→**削除**を選択→ →確認画面で **[YES]**

使用する通信事業者の設定

通信事業者を選択する

【お買い上げ時】自動

使用する通信事業者は、自動または手動で選択できます。

メインメニューから 設定 ▶ 通信設定 ▶ 通話サービス ▶ 国際設定 ▶ 事業者設定 ▶ 自動・手動選択

1 **自動で選択する場合**
自動を選択→

手動で選択する場合
手動を選択→ →通信事業者を選択→

通信事業者の優先度を設定する

通信事業者を自動で選択する場合の優先度を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 国際設定 ▶ 事業者設定 ▶ 優先度リスト

1 **[メニュー]→追加**、**挿入**、**編集**または**削除**を選択→

- **追加**を選択すると、優先順リストの最後に追加されます。（追加を選択するときは、優先順リストの一番下の通信事業者にカーソルを当てた状態で行ってください。）
- **挿入**を選択すると、カーソルのある通信事業者の上に挿入されます。

ここで設定した通信事業者は常に最優先では使用されません。使用される通信事業者はネットワークの状態に依存します。

海外で電話をかける

滞在国内から日本や他国に電話をかける

1 待受画面で 0わをん－＋（1秒以上）

「＋（国際コード）」が表示されます。

2 国番号と電話番号（市外局番の「0」を除く）を入力→ [通話キー]

- イタリア（国番号39）にかける場合は、電話番号の先頭の「0」は省かずに入力してください。

補足

- 国際コードは、お買い上げ時は「0046010」に設定されていますが、変更することもできます。（☞P.2-18）
- よく利用する国番号がリストにない場合は、追加できます。（☞P.2-18）

滞在国内の一般電話／携帯電話に電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力→ [通話キー]

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

マナーモード (☞右記)	着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。また、簡易留守録を同時に設定します。電話がかかってくると、振動でお知らせします。
バイブレーションの設定 (☞P.7-10)	電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、振動でお知らせします。
音量の設定	着信音を**サイレント**に設定すると、電話がかかってきたときやメールを受信したときの音を鳴らさないようにできます。(☞P.7-9) S!アプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。(☞P.17-5)
オフラインモード (☞P.2-22)	電源を入れたままで、電波の送受信を停止します。この場合、電話の発着信、メールやデータの送受信、インターネットなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。
簡易留守録 (☞P.2-8)	電話に出られないときに、相手の用件を本機に録音できます。
運転中モード (☞P.2-22)	運転中に着信音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。電話がかかってくると、着信画面でお知らせします。

マナーモードを設定／解除する

着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。また、簡易留守録を同時に設定します。電話がかかってくると、振動でお知らせします。

● マナーモード設定中の動作は変更できます。(☞P.7-11)

● マナーモードを設定すると、「」が表示されます。

1 待受画面で # または右側面の ▯(1秒以上)

● 解除する場合：もう一度 # または右側面の ▯(1秒以上)

補足

● **メインメニューから** **設定** ▶ **モード設定** ▶ **マナーモード** でも設定できます。

● マナーモードを設定しても、次の音は鳴ります。
静止画撮影時のシャッター音、動画撮影時の開始／停止音、自動応答での応答音、イヤホンからの着信音(**レベル1**で鳴ります)

● マナーモード設定中は、着信音を着信音Flash®に設定していても、動画アニメーションではなく通常の着信画面が表示されます。

● マナーモード設定中にメディアプレイヤーを起動すると音は鳴りませんが、再生中に音量を変更できます。

● アラーム登録の優先設定で**アラーム優先**を選択すると(☞P.13-8)、マナーモード設定中でもアラーム音は鳴ります。

オフラインモードを設定／解除する

【お買い上げ時】OFF

電源を入れたままで、電波の送受信を停止します。この場合、電話の発着信、メールやデータの送受信、インターネットなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。

- オフラインモードを**ON**にすると、電波状態表示が「」に変わります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ オフラインモード

1 **ON**または**OFF**を選択→

- オフラインモードを**ON**にすると、自動的にBluetooth®と赤外線通信が無効になります。
- オフラインモード設定中は、ヘッドセットなどのBluetooth®通信を使用するハンズフリー機器は利用できません。
- オフラインモード設定中は緊急電話番号（110／119／118）への発信はできません。

運転中モードを設定／解除する

運転中に着信音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。電話がかかってくると、着信画面でお知らせします。

- 運転中モード設定中の動作は変更できます。（☞P.7-11）
- 運転中モードを設定すると、「」が表示されます。

1 待受画面で （1秒以上）

- 解除する場合：もう一度 （1秒以上）

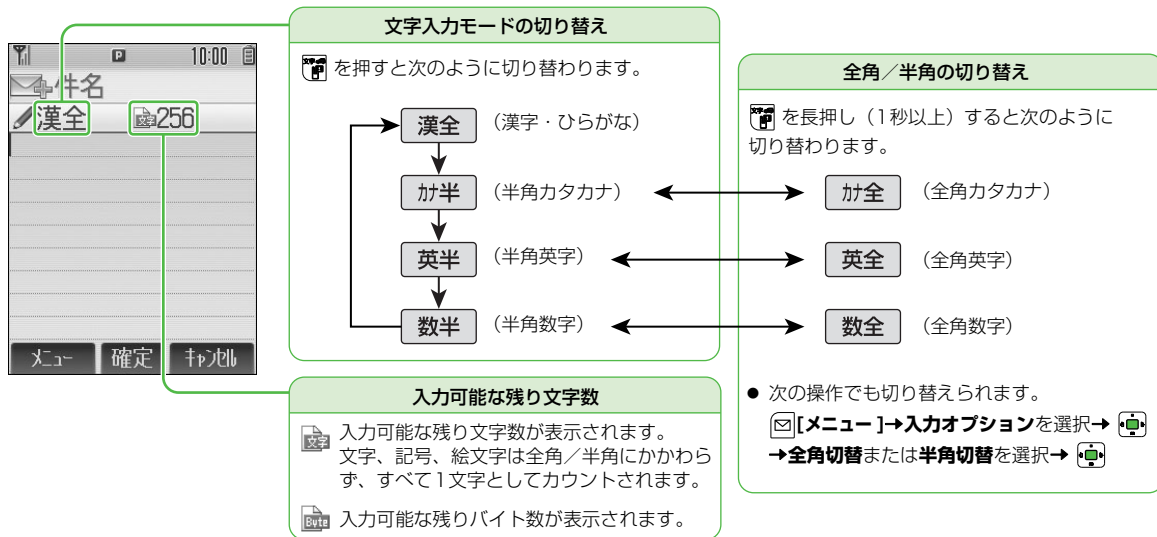
- **メインメニューから 設定 ▶ モード設定 ▶ 運転中モード** でも設定できます。
- 運転中モード設定中は、着信音を着信音Flash®に設定していても、動画アニメーションではなく通常の着信画面が表示されます。

文字の入力方法

文字入力について

本機では、ひらがな、漢字、カタカナ、英数字、記号、絵文字などが入力できます。

ヘルプ機能を利用するには
文字の入力方法の詳細を項目ごとに文章で説明しています。文字の入力画面上で参照できます。
文字の入力画面で **[メニュー]→ヘルプ**を選択→ →項目を選択→

文字入力画面と文字入力モード

ダイヤルボタンの割り当て

文字入力中のダイヤルボタンには次の文字や記号などが割り当てられています。

- 文字入力モードまたは全角／半角の切り替えについて（☞P.3-2）
- 0～9 を長押し（1秒以上）すると、文字入力モードにかかわらず、そのボタンの数字が半角で入力されます。（漢字・ひらがなモードでは確定していない文字がない状態で行ってください。）ただし、半角数字モードで 0 を長押し（1秒以上）すると「＋」が入力されます。

ボタン	文字入力モード			
	漢字・ひらがな［全角］	カタカナ［全角／半角］	英字［全角／半角］	数字［全角／半角］
1	あいうえおぁぃぅぇぉ1	アイウエオァィゥェォ1	. - @ _ / : ~ 1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー（半角スペース）0	ワヲンヮ※1ー（半角スペース）0	（半角スペース）0	0 【長押し】＋※2

※1「ヮ」は全角カタカナモードでのみ入力できます。
※2「＋」は半角数字モードでのみ入力できます。

3 文字の入力方法

ボタン	文字入力モード			
	漢字・ひらがな［全角］	カタカナ［全角／半角］	英字［全角／半角］	数字［全角／半角］
＊゛゜絵/記号	゛　゜ 絵文字一覧／記号一覧	゛　゜	絵文字一覧／記号一覧※3	＊
	【長押し】テキストメモ一覧		【長押し】メールアドレス／URL一覧※4	
#、。	、。・！？		，！？￥＆（）＊＃”’＝＾＋；	＃-，！？￥＆（）”’＝＾＋；
文字	文字入力モード切替			
		【長押し】全角／半角切替		
	改行／逆順表示※5			改行
A/a	大文字／小文字切替※6			
クリア/メモ	カーソルが文中の場合、カーソル後1文字消去／カーソルが文末の場合、カーソル前1文字消去			
	【長押し】カーソルが文頭・文中の場合、カーソル後全消去／カーソルが文末の場合、全消去			

※3 半角英字モードでは半角の記号一覧（半角1、半角2）から先に表示されます。
※4 メールアドレスやURLの一部が表示されます。
※5 カーソルが当たっている文字を逆順に表示します。（例：「え」にカーソルが当たっている場合、「え」→「う」→「い」→「あ」…）
※6 カーソルが当たっている文字を大文字／小文字に切り替えます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

例：「鈴木」と入力する

1 文字の入力画面で「すずき」と入力

● 次のように入力します。

「す」：[3](3回)

「ず」：[カーソル]※→[3](3回)→[＊](1回)

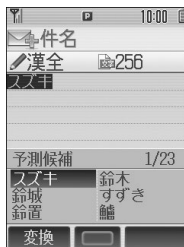
「き」：[2](2回)

※ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、[カーソル]でカーソルを移動させます。

2 [決定]

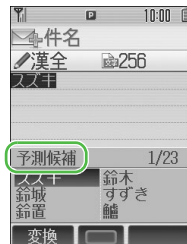
予測候補リストに入ります。

● 変換する前に文字を追加したり修正したい場合は、[クリア/メモ]を押して予測候補リストから出ます。

3 [上下左右]で「鈴木」を選択→[決定]

4 [決定][確定]

「鈴木」が確定されます。

漢字・ひらがな変換候補について

漢字・ひらがな変換時に表示される候補には、**予測候補**、**変換候補**、**関係予測候補**があります。詳しくはP.3-10を参照してください。

文字を逆順で表示するには

カーソルの当たっている文字を、割り当て表（☞P.3-3）とは逆順に表示できます。

例）「え」にカーソルが当たっているときに[カメラ]を押すと、「え」→「う」→「い」→「あ」…

カタカナを入力するには

● 半角カタカナモード切替：漢字・ひらがなモードで[文字]

● 全角カタカナモード切替：半角カタカナモードで[文字](1秒以上)

● 漢字・ひらがなモードのままカタカナに変換するには（☞P.3-7）

小文字（っ、ッなど）を入力する

例）「っ」を入力する

手順	1	2
ボタン	4 た GHI（3回）	A/a
表示	つ	っ

- 入力を確認したら で確定してください。
- 小文字のある行のボタンを押し続けると大文字に続いて小文字も表示されます。

濁点（゛）／半濁点（゜）を入力する

例）「ば」または「ぱ」を入力する

手順	1	2	3	4
ボタン	6 は MNO	＊ ゛゜ 絵/記号	＊ ゛゜ 絵/記号	＊ ゛゜ 絵/記号
表示	は	ば	ぱ	は

- 入力を確認したら で確定してください。
- 半角カタカナモードのときは濁点／半濁点が半角で入力されます。

改行を入力する

1 改行したい位置で

スペースを入力する

文末に半角スペースを入れる	
文中に半角スペースを入れる	半角スペースが表示されるまで 0 わをん を押す※→ で確定

※ 0 わをん を押す回数は入力モードによって違います。

- 記号一覧を利用して、全角スペース（全角1）または半角スペース（半角1）を入れることもできます。（☞P.3-8）
- 数字モードでは文中にはスペースを入力できません。

英字／数字／カタカナに変換する（英数カナ候補）

漢字・ひらがなモードのまま、カタカナやそのボタンに割り当てられている英数字に変換できます。日付や時刻を簡単に入力することもできます。

例1）「OK」を入力する

手順	1	2	3	4
ボタン	6（3回）	5（2回）	[英数カナ]	
表示	ふ	ふに	英数カナ候補リスト	OK

- 英数カナ候補リストでの選択を確認したら で確定してください。

例2）「10:30」または「10/30」を入力する

- 「：」や「／」に変換するためには、# で「、」を入力します。

手順	1	2	3	4	5
ボタン	1 0	#	3 0	[英数カナ]	
表示	あわ	あわ、	あわ、さわ	英数カナ候補リスト	10:30 または 10/30

- 英数カナ候補リストでの選択を確認したら で確定してください。

英数字を入力する

英字モードまたは数字モードで、全角または半角での入力ができます。

- 文字入力モードまたは全角／半角の切り替えについて（☞P.3-2）

例）英字モードで「Call」を入力する

手順	1	2	3	4	5	6
ボタン	2（3回）	A/a	2	5（3回）	※	5（3回）
表示	c	C	Ca	Cal	Cal	Call

※ 英字モードで同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、 で前の一文字を確定してから次の文字を入力します。

絵文字／記号を入力する

- 絵文字を入力したメールなどを送信した場合、絵文字非対応のソフトバンク携帯電話やEメールでは表示されません。

1 漢字・ひらがなモードまたは英字モードで [*絵/記号]

ソフトバンク対応の絵文字一覧が表示されます。

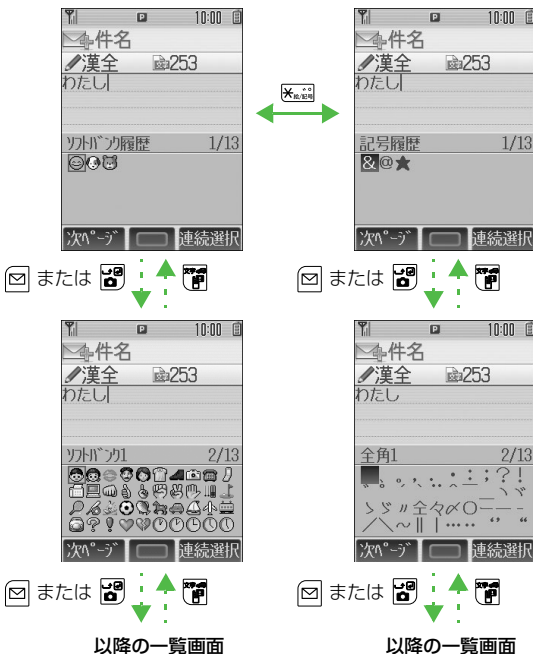
[*絵/記号] を押すたびに絵文字一覧と記号一覧が切り替わります。

これまでに入力した絵文字／記号がある場合はそれぞれの履歴一覧がまず表示されます。

2 [メール] で一覧を選択→ [十字キー] で絵文字／記号を選択→ [センターキー]

- 絵文字一覧：ソフトバンク履歴、ソフトバンク1～12（☞P.20-22）
- 記号一覧：記号履歴、全角1～10、半角1、2（☞P.20-23）
- [文字] ／ [カメラ] で一覧を前後に切り替えることもできます。
- 同じ絵文字／記号を連続して入力するには：絵文字／記号を選択→ [Y!] **[連続選択]**→一覧を閉じるには [クリア/メモ]

3 [センターキー] **[確定]**

補足：絵文字／記号一覧は、[メール] **[メニュー]**→**絵文字**または**記号**を選択→ [センターキー] でも表示できます。

他社携帯電話に送るメールに絵文字を入力するには

[メール] **[メニュー]**→**絵文字**を選択→ [センターキー] →**携帯3社共通**、**ドコモ対応**または**au対応**を選択→ [センターキー]

顔文字を入力する

1 文字の入力画面で [✉]**[メニュー]→顔文字**を選択→[●]

2 顔文字を選択→[●]

メールアドレス／URLの一部を簡単に入力する

メールアドレス／URL一覧から選ぶだけで、下記のメールアドレスやURLの一部を簡単に入力できます。

.ne.jp .or.jp http://www.
.co.jp .com https://www.

1 英字モードで [✱](1秒以上)

メールアドレス／URL一覧が表示されます。

2 メールアドレス／URLの一部を選択→[●]

全角／半角モードにかかわらず、半角で入力されます。

テキストメモを利用する

あらかじめ自分で登録したテキストメモを利用できます。

1 漢字・ひらがなモードまたは全角／半角カタカナモードで [✱](1秒以上)

テキストメモ一覧が表示されます。

2 利用したいテキストメモを選択→[●]

- テキストメモ一覧は、[✉]**[メニュー]→挿入**を選択→[●]**→テキストメモ**を選択→[●]でも表示できます。
- よく使用する文章はテキストメモに登録できます。(☞P.13-11)

区点コードで入力する

4桁の区点コードで漢字を入力できます。

1 文字の入力画面で [✉]**[メニュー]→入力オプション**を選択→[●]

2 **区点入力**を選択→[●]→区点コード(4桁☞P.20-14)を入力→[●]

アドレス帳／オーナー情報の内容を利用して入力する

アドレス帳やオーナー情報に登録している電話番号などを、作成中の文章に挿入できます。

- 利用できる項目は「名前（姓／名）」、「電話番号1〜3」、「Eメールアドレス1〜3」、「住所」、「メモ」です。

1 文字の入力画面で ✉**[メニュー]**→**挿入**を選択→ ◉ →**アドレス帳データ**または**オーナー情報**を選択→ ◉

- **オーナー情報**を選択した場合は手順3へ。

2 利用したいアドレス帳の登録を選択→ ◉

3 利用したい項目を選択→ ◉

文字の変換機能

変換機能を利用する

下記の候補リストが、文字の変換中または確定後に表示されます。

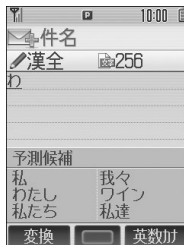
変換中に表示	予測候補	入力した文字で始まると予測される候補（予測候補）と完全一致した候補（変換候補）の混在リスト 予測候補の例）「わ」→「私」「わたし」等 変換候補の例）「わ」→「和」「輪」等
	変換候補	入力した文字と完全一致した候補リスト 例）「わ」→「和」「輪」等
確定後に表示	関係予測候補	文字確定後に予測される候補リスト 例）「私」で確定した場合、それに続くと予測される「です」「の」「は」等

- 単語入力を繰返すことにより、候補リストの順番は変化します。
- 予測候補リストと変換候補リストは ✉**[予測]**／**[変換]**で切り替えられます。
- 変換機能で学習した履歴の内容はリセットできます。（☞P.3-12）
- 関係予測候補リストを表示しないように設定できます。（☞P.3-12）

変換機能を利用して入力する

例）「私の鼻」と入力する

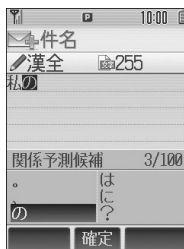
1 漢字・ひらがなモードで 0

「わ」が入力され、予測候補リストが表示されます。

2 で予測候補リストの「私」を選択→

「私」が入力され、関係予測候補リストが表示されます。

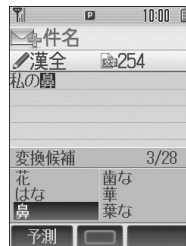
3 で関係予測候補リストの「の」を選択→

「の」が入力され、関係予測候補リストが表示されます。

4 6 → 5

「はな」が入力され、予測候補リストが表示されます。

5 **[変換]**

変換候補リストが表示されます。

6 で変換候補リストの「鼻」を選択→

7 **[確定]**

「私の鼻」が確定されます。

目的の漢字に変換されないときは

クリア/メモ でひらがなに戻り、文字の区切りを変更して変換し直します。

例）「はるか」を「はる」と「か」で区切って「春香」に変換する場合

① 「る」にカーソルを移動して「はる」を「春」に変換→

② 「か」を「香」に変換→

一度入力した文字を利用するには

一度入力した文字は、最初の1～2文字を入力すると候補リストに表示されます。

漢字・ひらがなモードのままで英数字に変換するには

ひらがなを入力して を押すと予測候補リストが最後から表示されます。

例）「a」を入力する場合、2 → で予測候補リストを表示→ で「a」を選択→

学習履歴をリセットする

変換機能で学習した内容をすべて消去します。

1 文字の入力画面で [メニュー]→ **入力オプション**を選択→ → **学習履歴リセット**を選択→

2 確認画面で [YES]→操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

関係予測候補リストの表示設定

【お買い上げ時】ON

1 文字の入力画面で [メニュー]→ **入力オプション**を選択→ → **関係候補表示**を選択→

2 **ON**または**OFF**を選択→

よく使う言葉を登録する（ユーザー辞書）

ユーザー辞書には、特殊な読みかたの漢字やよく使う略語などを最大100語登録できます。登録した語句を呼び出すには、文字の入力画面でユーザー辞書に登録した読みを入力し、変換します。

ユーザー辞書に登録する

1 文字の入力画面で [メニュー]→ **入力オプション**を選択→ → **ユーザー辞書**を選択→

2 [新規登録]

- すでに登録した語句がある場合： [メニュー]→ **新規登録**を選択→

3 単語を入力→

- 最大20文字まで、記号や絵文字も入力できます。

4 読みを入力→

- 全角ひらがなで最大10文字まで入力できます。

登録した語句を編集する

1 文字の入力画面で [メール]**[メニュー]**→
入力オプションを選択→ [決定] →
ユーザー辞書を選択→ [決定]

2 編集したい語句を選択→ [メール]**[メニュー]**→
編集を選択→ [決定]

3 単語を編集→ [決定] →読みを編集→ [決定]

登録した語句を削除するには

手順2で [メール]**[メニュー]**→**削除**を選択→ [決定]

- 1件また全件削除する場合は、**1件**または**全件**を選択→ [決定] →確認画面で [メール]**[YES]**→**全件**を選択した場合は、操作用暗証番号（4桁）（☞P.1-22）を入力→ [決定]
- 複数選択して削除する場合は、**複数選択**を選択→ [決定] →（語句を選択→ [決定]）※→ [メール]**[OK]**→確認画面で [決定]

※ 選択された語句の左端のマークが「☑」に変わります。
この手順を繰返して複数選択してください。
（もう一度 [決定] を押すと選択が解除されます。）

補足 **メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ ユーザー辞書** でも登録／編集できます。

文字の編集

入力した文字を消去／修正する

1 **文中の文字を消去する場合**
消去したい文字の前にカーソルを移動→ [クリア/メモ]

カーソルの後ろの1文字を消去します。

- [クリア/メモ] を長押し（1秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。

文末から文字を消去する場合
カーソルが文末にある状態で [クリア/メモ]

カーソルの前の1文字を消去します。

- [クリア/メモ] を長押し（1秒以上）すると、カーソルから前の文字をすべて消去します。

2 正しい文字を入力

コピー／切り取り／貼り付けをする

範囲を指定した文字列を、コピーまたは切り取って、他の場所へ貼り付けることができます。

1 文字の入力画面で ✉**[メニュー]**→**コピー**または**切り取り**を選択→ ●

2 **部分的に範囲を選択する場合**
コピー／切り取りを行いたい文字列の先頭（最後）へカーソルを移動→ ● →コピー／切り取りを行いたい文字列の最後（先頭）へカーソルを移動→ ●

すべてを選択する場合
Y!**[全選択]**→ ●

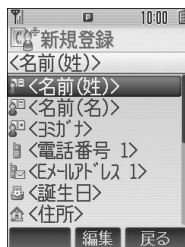
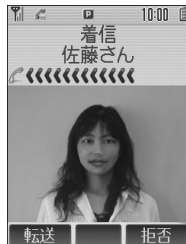
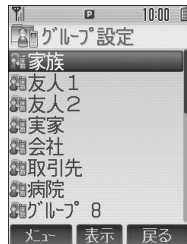
3 貼り付ける位置へカーソルを移動して、✉**[メニュー]**→**貼り付け**を選択→ ●

アドレス帳

アドレス帳の便利な機能

よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、メールアドレスなどをアドレス帳に登録しておくと、簡単な操作で発信や送信ができます。

電話番号やメールアドレスの他にも、誕生日や住所など、たくさんの情報が登録できます。

- 赤外線通信（☞P.11-2）やBluetooth®通信（☞P.11-4）を利用して、他の機器との間で、アドレス帳のやりとりができます。

登録した相手の着信音や画像表示を個別に設定でき、だれからの着信かすぐにわかります。

アドレス帳をグループごとに管理できます。

メモリカードにバックアップを作成する

本体からメモリカードへアドレス帳ファイルをバックアップできます。バックアップしたファイルは、メモリカードから本体に読み込むこともできます。（☞P.10-23）

アドレス帳の使用を禁止する

他人がアドレス帳を使用できないように設定できます。アドレス帳の表示、新規登録、設定変更などができません。（☞P.12-5）

大切なデータを失わないために

アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化することがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アドレス帳の登録

アドレス帳に登録できる項目

本機には、本体のメモリに登録する本体アドレス帳と、USIMカードのメモリに登録するUSIMアドレス帳があります。

- 本体アドレス帳には最大1000件の登録ができます。USIMアドレス帳に登録できる件数はUSIMカードによって異なります。
- アドレス帳1件に登録できる項目は、登録先（本体／USIMカード）によって異なります。

項目	内容	本体	USIMカード
名前（姓）／（名）	姓・名を登録します。（各最大25文字）USIMアドレス帳には**姓名**に姓と名の両方を入力します。	○	○
ヨミガナ	名前を入力すると自動的にヨミガナが登録されます。（最大25文字）編集もできます。登録されたヨミガナをヨミガナ検索に使用します。	○	○
電話番号	電話番号を登録します。（1件あたり最大40桁、「+（国際コード）」を含めた場合は最大41桁）。緊急電話番号（110／119／118）は登録できません。	○（最大3件）	○（最大2件）
Eメールアドレス	Eメールアドレスを登録します。（1件あたり最大60桁）	○（最大3件）	○（1件）
誕生日	生年月日を登録します。	○	－
住所	郵便番号、国名、都道府県、市区町村、番地、付加情報を登録します。	○	－
メモ	個人情報などのメモを登録します。（最大32文字）	○	－
音声着信音	登録した相手からの音声電話の着信音を設定します。	○	－
TVコール着信音	登録した相手からのTVコールの着信音を設定します。	○	－
メール着信音	登録した相手からのメールの着信音を設定します。	○	－
イルミネーション	登録した相手からの電話やメールをお知らせするイルミネーションを設定します。	○	－
画像	静止画を登録します。静止画を撮影して登録することもできます。登録した相手から電話がかかると、着信画面に静止画が表示されます。（他の機能を操作しているときなどには、表示されない場合があります。）	○	－
グループ	グループに登録します。アドレス帳から相手を呼び出すときに、グループ単位で検索できます。グループごとに着信音やイルミネーションを設定できます。（☞P.4-7）	○	○
シークレット	登録した相手をアドレス帳に表示するかどうかを設定します。**表示しない**に設定している場合は、シークレットモード設定を**ON**にしたときだけアドレス帳に表示されます。（☞P.12-7）	○	－

アドレス帳に登録する

本体アドレス帳に登録する

メインメニューから アドレス帳 ▶ 新規登録

1 項目を選択→

2 次の各項目の操作を行う

	名前(姓)※1	姓を入力→
	名前(名)※1	名を入力→
	ヨミガナ	変更する場合は、修正→
	電話番号1〜3※1	電話番号を入力→ →アイコンを選択→
	Eメールアドレス1〜3※1	Eメールアドレスを入力→ →アイコンを選択→
	誕生日	生年月日を入力→
	住所	**郵便番号**、**国名**、**都道府県**、**市区町村**、**番地**または**付加情報**を選択→ →それぞれの必要事項を入力→ →住所以外の登録に移る場合は **[確定]**
	メモ	メモを入力→
	音声着信音	**通常設定連動**※2を選択→ または **着うた・メロディ**、**ミュージック**または**着信音Flash(R)**※3を選択→ →ファイルを選択→ **[決定]**
	TVコール着信音	
	メール着信音	
	イルミネーション	**通常設定連動**※4または色を選択→
	画像	**ピクチャー**を選択→ →ファイルを選択→ **[決定]** または **カメラ撮影**を選択→ → で撮影する→ (削除するには**画像なし**を選択→)
	グループ	グループを選択→
	シークレット	**表示する**または**表示しない**を選択→

※1 いずれかを入力しないとアドレス帳に保存できません。
※2 通常の着信音の設定（☞P.7-8）に従います。
※3 メール着信音では選択できません。
※4 通常のイルミネーション設定（☞P.8-2）に従います。

3 必要事項の入力が終了したら、✉**[保存]**

補足 画像をカメラで撮影する場合、撮影方法などを変更できます。（☞P.6-12）

USIMアドレス帳に登録する

● まず保存先を**USIM**または**毎回確認**に設定してから行ってください。（☞P.4-10）

メインメニューから アドレス帳 ▶ 新規登録（▶ USIM）

1 項目を選択→●

2 次の各項目の操作を行う

	項目	操作
	名前（姓名）※1	名前を入力→●
	ヨミガナ	変更する場合は、修正→●
	電話番号1※1**～2**	電話番号を入力※2→●
	Eメールアドレス※1	Eメールアドレスを入力→●
	グループ	グループを選択→●

※1 いずれかを入力しないとアドレス帳に保存できません。
※2 ご利用のUSIMカードによっては最大20桁、「+（国際コード）」を含めた場合は最大21桁となることがあります。

3 必要事項の入力が終了したら、✉**[保存]**

通話履歴の電話番号を登録する

全通話履歴や着信履歴、発信履歴の電話番号をアドレス帳に登録できます。

1 待受画面で A/a → ● で履歴の種類を選択

2 履歴を選択→✉**[メニュー]**→**アドレス帳へ登録**を選択→●

3 **新規登録する場合**
新規登録を選択→● →他の必要項目を入力
登録済みのアドレス帳に追加登録する場合
相手のアドレス帳を選択→●
● すでに電話番号が最大件数まで登録されている場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは ● →上書きする番号を選択→●

4 ✉**[保存]**

受信メールの電話番号／メールアドレスを登録する

メールを受信した相手の電話番号やメールアドレスをアドレス帳に登録できます。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→

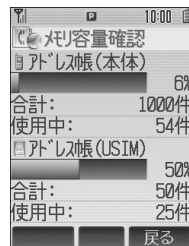
2 メールを選択→ **[メニュー]**→ **送信元をアドレス帳へ登録**を選択→

3 **新規登録する場合**

新規登録を選択→ →他の必要項目を入力

登録済みのアドレス帳に追加登録する場合

相手のアドレス帳を選択→

- 登録項目がいっぱいの場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは →複数の項目がある場合は、上書きする項目を選択→

4 **[保存]**

アドレス帳の登録状況を確認する

本体とUSIMカードのアドレス帳に登録できる件数（合計）と登録されている件数（使用中）を表示します。

メインメニューから アドレス帳 ▶ メモリ管理 ▶ メモリ容量確認

例）

グループ設定

アドレス帳のグループ名を変更したり、グループごとに着信音やイルミネーションを設定します。

- 表示切替（☞P.4-10）で設定されているメモリのグループが表示されます。
- アドレス帳の登録時にグループを選択すると、グループに登録されます。（☞P.4-4）
  グループを選択しなかった場合は、自動的に**グループ未設定**に登録されます。

本体とUSIMカードのグループ表示を切り替える
表示切替設定が**本体とUSIM**の場合（☞P.4-10）、次の操作で表示を切り替えられます。
✉**[メニュー]→グループ（本体）へ切替**または
グループ（USIM）へ切替を選択→●

グループ名を変更する

- **グループ未設定**の名称は変更できません。

メインメニューから アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループを選択→✉**[メニュー]**→
名称変更を選択→●

- 表示切替設定が**USIM**の場合（☞P.4-10）：
  グループを選択→✉**[名称変更]**

2 グループ名を入力→●

グループごとに着信音／イルミネーションを設定する

- USIMカードのグループには設定できません。
- 個別の相手に着信音やイルミネーションを設定している場合は、個別の設定が優先されます。

メインメニューから アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループを選択→✉**[メニュー]**→
着信音／イルミネーション設定を選択→●

2 **着信音の設定**
音声着信音、**TVコール着信音**または
メール着信音を選択→●→**通常設定連動**、
着うた・メロディ、**ミュージック**または
着信音 Flash(R)を選択→●→
ファイルを選択→✉**[決定]**

- **通常設定連動**は通常の着信音の設定（☞P.7-8）に従います。
- メール着信音では**着信音 Flash(R)**を選択できません。

イルミネーションの設定

イルミネーションを選択→ [●] →**通常設定連動**
または色を選択→ [●]

- **通常設定連動**は通常のイルミネーション設定（☞P.8-2）に従います。

グループごとに設定をリセットするには
グループを選択→ [✉]**[メニュー]**→**設定リセット**を選択→ [●] →確認画面で [●]

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

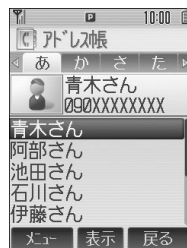
お買い上げ時の設定でアドレス帳を呼び出すと、本体アドレス帳があかさたな検索の画面で表示されます。

- アドレス帳表示を切り替えるには（☞P.4-10）
- 検索方法を変更するには（☞P.4-9）

1 待受画面で [●]

2 [●] で相手のヨミガナの行を選択

3 相手を選択→ [●]

4 電話番号を選択→ [●]

TVコールまたは国際電話をかけるには
手順4で電話番号を選択後、[✉]**[メニュー]**→**発信**を選択→ [●] →**TVコール**または**国際発信**を選択→ [●]（→国際電話の場合は国を選択→ [●] → [A/a]）

電話番号の通知／非通知を選択してから電話をかけるには
手順4で電話番号を選択後、[✉]**[メニュー]**→**発信**を選択→ [●] →**番号通知**または**番号非通知**を選択→ [●] →[✉]**[メニュー]**→**発信**を選択→ [●] →**音声**または**TVコール**を選択→ [●]

アドレス帳の検索方法

【お買い上げ時】あかさたな

アドレス帳は3つの方法（あかさたな別、ヨミガナ入力、グループ別）で検索できます。

メインメニューから アドレス帳 ▶ 設定 ▶ 検索方法

1 **あかさたな**、**ヨミガナ**または**グループ**を選択→

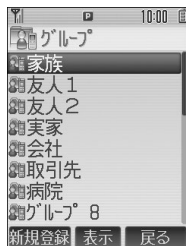
ヨミガナ検索でアドレス帳を呼び出す

待受画面で →登録されているヨミガナを入力→相手を選択

- 入力した文字で始まるアドレス帳が選択されます。

グループ検索でアドレス帳を呼び出す

待受画面で →グループを選択→ →相手を選択

- グループの名前は変更できます。（☞P.4-7）

アドレス帳データを送信する

アドレス帳のデータを、赤外線通信やBluetooth®通信を利用して、各通信の対応機器（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

- 赤外線通信について（☞P.11-2）
- Bluetooth®通信について（☞P.11-4）

1 →送信したいアドレス帳の登録を選択

2 **[メニュー]**→**外部機器送信**を選択→

3 **赤外線通信**または**Bluetooth**を選択→

着信音やイルミネーション、画像、グループ、シークレットなどの設定内容は送信できません。

スピードダイヤルを利用して電話をかける

ダイヤルボタン（1～9）にアドレス帳の電話番号を割り当てると、すばやく電話がかけられます。

- 直接番号を入力して登録することもできます。

スピードダイヤルに登録する

メインメニューから アドレス帳 ▶ スピードダイヤル設定

1 ボタン（[1]～[9]）を選択→ ● →アドレス帳の登録を選択→ ● →電話番号を選択→ ●

- 直接番号を入力する場合：ボタンを選択→ ✉ **[編集]** →番号を入力→ ●

スピードダイヤルで電話をかける

1 待受画面で 1 ～ 9（1秒以上）

登録されていないボタンを押した場合は、登録画面が表示されます。

シークレットデータはシークレットモードが**ON**の場合にのみスピードダイヤルに登録できます。その後シークレットモードを**OFF**にすると、登録していても「未登録」と表示されます。上書きしようとした場合、シークレットデータが登録されていることを通知せずに上書きされますのでご注意ください。

アドレス帳の設定

アドレス帳の保存先を設定する

【お買い上げ時】本体

アドレス帳を新規登録するときの保存先を設定します。

メインメニューから アドレス帳 ▶ 設定 ▶ 保存先

1 **本体**、**USIM**または**毎回確認**を選択→ ●

- **毎回確認**を選択すると、登録するたびに登録先を指定できます。

アドレス帳の表示を切り替える

【お買い上げ時】本体

本体とUSIMのどちらのアドレス帳を呼び出すかを設定します。

メインメニューから アドレス帳 ▶ 設定 ▶ 表示切替

1 **本体**、**USIM**または**本体とUSIM**を選択→ ●

- **本体とUSIM**を選択すると、両方のアドレス帳が同時に表示されます。
- **本体**または**USIM**を選択すると、保存先の設定（☞上記）によっては、保存先も同様に変更するかどうかの確認画面が表示されます。

アドレス帳の編集

アドレス帳を修正する

1 待受画面で [キー] →修正したいアドレス帳の登録を選択

2 [メール][メニュー]→**編集**を選択→ [決定]

3 項目を選択→ [決定] →修正する→ [決定]

- 続けて他の項目を修正するときは、この手順を繰返します。

4 [メール]**[保存]**

上書き保存されます。

誕生日を削除するときは

手順3で誕生日の項目を選択後、[メール]**[メニュー]→削除**を選択→ [決定]

住所の全項目を削除するときは

手順3で住所の項目を選択後、[メール]**[メニュー]→全項目をクリア**を選択→ [決定]

画像を削除するときは

手順3で画像の項目を選択後、[決定] →**画像なし**を選択→ [決定]

アドレス帳を削除する

1件ずつ削除する

1 待受画面で [キー] →削除したいアドレス帳の登録を選択

2 [メール][メニュー]→**削除**を選択→ [決定] →確認画面で [決定]

全件削除する

メインメニューから アドレス帳 ▶ メモリ管理 ▶ 本体全件削除またはUSIM全件削除

1 確認画面で [メール]**[YES]**→操作用暗証番号（4桁）を入力→ [決定]

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

4 アドレス帳

アドレス帳の内容をコピーする

本体とUSIMカードの間でアドレス帳を1件ずつまたは全件コピーできます。

- 本体とUSIMカードではアドレス帳に登録できる内容が異なるため、本体からUSIMカードにコピーできない項目は削除されます。

1件ずつコピーする

1 待受画面で [中央キー] →コピーしたいアドレス帳の登録を選択→[メールキー]**[メニュー]**

2 **USIMカードから本体にコピーする場合**

本体へのコピーを選択→[中央キー]

本体からUSIMカードにコピーする場合

USIMへのコピーを選択→[中央キー]

全件コピーする

メインメニューから **アドレス帳** ▶ **メモリ管理**

1 **USIMカードから本体にコピーする場合**

USIM→本体へ全件コピーを選択→[中央キー]→確認画面で[中央キー]

本体からUSIMカードにコピーする場合

本体→USIMへ全件コピーを選択→[中央キー]→確認画面で[中央キー]

S!アドレスブック

S!アドレスブックとは、本機のアドレス帳をサーバーで管理できるサービスです。本機の破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。

- S!アドレスブックのご利用には、別途お申し込みが必要です。(有料)

S!アドレスブックでできること

機能	同期タイプ	内容	補足
同期	通常同期	本機とサーバーのアドレス帳を比較し、最新の状態で同じ内容にします。	本機とサーバーのアドレス帳で同じ項目をお互いに更新していた場合は、サーバー内のアドレス帳を優先します。
	本体変更データ送信	本機のアドレス帳更新情報をバックアップ(サーバーへ反映)します。	サーバーのアドレス帳更新情報は本機へは反映されません。
	サーバー変更データ受信	サーバーのアドレス帳更新情報を読み込み(本機へ反映)ます。	本機のアドレス帳更新情報はサーバーへは反映されません。
バックアップ／読み込み	サーバーへバックアップ	本機のアドレス帳をサーバーにバックアップします。	上書き保存されるため、サーバーのアドレス帳はすべて消去されます。
	サーバーから読込	サーバーのアドレス帳を本機に読み込みます。	上書き保存されるため、本機のアドレス帳はすべて消去されます。
編集		サーバーのアドレス帳を、パソコンからインターネット経由で編集できます。	パソコンからの操作が必要です。詳しくは下記のURLを参照してください。 http://www.softbank.jp/SAB
インポート／エクスポート		パソコンで編集したアドレス帳をサーバーに送信できます(インポート)。また、サーバーのアドレス帳をパソコンに保存できます(エクスポート)。	
バースデー通知		サーバーのアドレス帳に誕生日の登録があると、メールでお知らせします。	
Eメールアドレスお知らせ機能		最新のEメールアドレスを、指定したお知らせ先に一斉にお知らせします。	

S!アドレスブック利用時のご注意

- S!アドレスブックは、電池がフル充電の状態（「」表示）でご利用ください。
- 同期やバックアップ／読み込みを行うと、パケット通信料がかかります。
- アドレス帳の次の項目は同期できません。**サーバーから読込**を行うと、本機のアドレス帳の設定がすべて消去されますのでご注意ください。
  着信音／イルミネーション／画像／シークレット
- **S!アドレスブックを解約すると、サーバー内のアドレス帳は削除されます。**

■ バックアップ／読み込みのタイミングや同期の方向にご注意ください

- 本機のアドレス帳をすべて消去したあとに**通常同期**、**本体変更データ送信**、**サーバーへバックアップ**を行うと、サーバーのアドレス帳もすべて消去されます。
- サーバーのアドレス帳をすべて消去したあとに**通常同期**、**サーバー変更データ受信**、**サーバーから読込**を行うと、本機のアドレス帳もすべて消去されます。

■ 複数登録できる項目は少ない方の件数に統一されます

- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が本機（または機種変更後の機種）とサーバーとで異なる場合に同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。

■ 機種変更時のサービスの継続について

- 3Gシリーズ（S!アドレスブック対応）：サーバーのアドレス帳は保持され、そのままお使いいただけます。
- 3Gシリーズ（S!アドレスブック非対応）：S!アドレスブックの契約は継続され、サーバーのアドレス帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません。（パソコンからの操作だけになります。）
- V3、V4、V5、V6、V8シリーズ：S!アドレスブックは自動的に解約され、サーバーのアドレス帳は消去されます。

アドレス帳を手動で同期させる

メインメニューから アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 同期開始

1 確認画面で ➜操作用暗証番号（4桁）を入力➜

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

2 同期タイプを選択➜

- 同期タイプについて（☞P.4-13）

3 確認画面で

サーバーに接続され、同期を開始します。

完了すると、同期結果の詳細が表示されます。

4 アドレス帳

アドレス帳を自動で同期させる

【お買い上げ時】ON/OFF：OFF

メインメニューから アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 自動同期設定

1 操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

2 自動同期を有効／無効にするには

ON/OFFを選択→ →**ON**または**OFF**を選択→

3 開始時刻を設定するには

開始時刻を選択→ →開始時刻を入力→

4 繰返しタイプを設定するには

繰返し設定を選択→ →次の繰返しタイプから選択→

1回のみ	1回のみ自動同期させます。
毎日	毎日自動同期させます。
曜日設定	設定した曜日に自動同期させます。 曜日を選択→
日付指定	毎月指定した日に自動同期させます。 日付を入力→
アドレス帳編集後	アドレス帳を編集してから10分後に毎回自動同期させます。

5 同期タイプを設定するには

同期タイプを選択→ →同期タイプを選択→ →確認画面で

- 同期タイプについて（☞P.4-13）

6 **[保存]**

同期の履歴を確認する

同期やバックアップ、読み込みの履歴を確認できます。

メインメニューから アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 同期ログ

1 同期ログを選択→

オーナー情報

自分の電話番号、メールアドレス、住所などの情報をオーナー情報に登録できます。オーナー情報は、赤外線通信やBluetooth®通信を利用して、各通信の対応機器（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

オーナー情報を編集する

- 電話番号1は編集／削除できません。

メインメニューから アドレス帳 ▶ オーナー情報

1 **[メニュー]**→**編集**を選択→

2 編集する→**[保存]**

電話番号1以外の項目を消去するには

手順1で**[メニュー]**→**リセット**を選択→ →確認画面で

オーナー情報を送信する

- 赤外線通信について（☞P.11-2）
- Bluetooth®通信について（☞P.11-4）

メインメニューから アドレス帳 ▶ オーナー情報

1 **[メニュー]**→**外部機器送信**を選択→

2 **赤外線通信**または**Bluetooth**を選択→

画像は送信できません。

TVコール

TVコールをご利用になる前に

TVコール対応機どうしで、お互いの画像を見ながら通話できます。

- 外側カメラを使って、風景などの画像を送信することもできます。

TVコールご利用時の注意

- TVコールは3Gサービスエリア内でのみ使用できます。
- 本機は国際標準の3G-324M規格に準拠しています。異なる方式の携帯電話と接続したときは、TVコール通話が切れることがあります。このときは、通話が切れるまでの通話料金が課金されます。
- スピーカーホンをご利用のときは、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、ステレオイヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- TVコール通話中は本機の温度が上がりますが、故障ではありません。

TVコールのディスプレイ表示

設定／通話状態を表すアイコン

- 音声送受信中
- 音声送信成功／受信失敗
- 音声送信失敗／受信成功
- 音声送受信失敗
- 画像送受信中
- 画像送信成功／受信失敗
- 画像送信失敗／受信成功
- 画像送受信失敗
- 送話マイクがON
- 送話マイクがOFF
- カメラ画像送信中
- 代替画像送信中
- - 送信画像のズームレベル（1～25）

※ ハンズフリー（Bluetooth®）通話中の場合は「」が表示されます。

TVコールをかける

まず確認！

待受画面で

- 電波状態を確認する。(☞P.1-8)
- 他の表示を確認する。
  「圏外」「 」「 (赤で表示)」「 」
  →ご利用になれません。
  (☞P.1-8、P.20-11)
- 「 」が表示されている場合
  →誤操作防止設定中です。本機を開くと設定は解除されます。すでに開いている場合または閉じたままかける場合は →確認画面で [YES] で解除してください。

内側カメラ

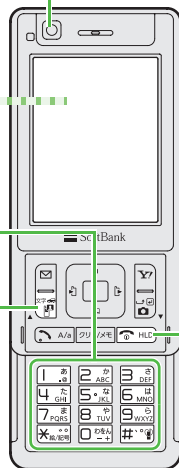
1 電話番号を入力する

2 電話番号を確認し、 を押す

相手が電話に出ると、内側カメラからの画像と相手の画像が表示されます。相手の声はスピーカー(本体裏側)から聞こえます。

- TVコールのディスプレイ表示について(☞P.5-2)
- TVコール通話中の操作について(☞P.5-5)

3 通話が終わったら、 HLD を押す

補足

- 本機は、閉じた状態でも開いた状態でもTVコールをかけられます。
- アドレス帳(☞P.4-8)や通話履歴(☞P.2-13)を利用してかけることもできます。
- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーをオンにしてください。(☞P.5-5)
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間にTVコールをかけると、アドレス帳に相手の名前を登録していても電話番号で表示されます。この場合は、通話中も電話番号が継続して表示されます。

TVコールを受ける

TVコールがかかってくると

相手が電話番号を通知してきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 [A/a] または [文字]

2 **相手に画像を送信する場合**

[✉] **[YES]**

内側カメラからの画像が相手に送信されます。

相手に画像を送信しない場合

[Y!] **[NO]**

代替画像が相手に送信されます。

3 通話が終わったら、[HLD]

すぐに電話に出られないときなどに、着信を保留にするには（応答保留）

TVコール着信中に [HLD] を押すと、保留状態になります。その間、相手の画像は表示されていますが、相手には保留を示す代替画像が送信されます。電話に出るには、[✉] **[応答]** を押してください。

着信を拒否するには

TVコール着信中に [Y!] **[拒否]** を押します。

- 本機は、閉じた状態でも開いた状態でもTVコールを受けられます。
- 手順2で相手に送信する画像を選択しなかった場合は、代替画像が送信されます。
- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーをオンにしてください。（☞P.5-5）
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間にTVコールを受けると、アドレス帳に相手の名前、着信音、イルミネーション、画像を登録していても、電話番号で表示され、着信音とイルミネーションは通常設定連動となり、画像は表示されません。この場合、通話中も電話番号が継続して表示されます。

TVコール通話中の操作

受話音量調節

【お買い上げ時】音量4

相手の声の大きさを6段階（1～6）で調節します。

1 通話中に (大きくする）または (小さくする）

画面左下に設定音量が表示されます。

スピーカーの設定

スピーカーのオン／オフを切り替えます。

● スピーカーオフ時は、相手の声は受話口から聞こえます。

1 通話中に **[メニュー]→スピーカーオン**または**スピーカーオフ**を選択→

Bluetooth®対応機器でハンズフリー通話中は、次の操作で切り替えられます。
[メニュー]→Bluetoothへ切替、**本体（スピーカーオン）へ切替**または**本体（スピーカーオフ）へ切替**を選択→

マイクの設定（送話ミュート）

相手に音声がすべて聞こえないようにします。

1 通話中に **[ミュート]**

送話音声の状態を示すアイコンが （送話ミュート）になります。

● 元に戻すには： **[アンミュート]**

カメラズーム

相手に送信する画像を拡大／縮小することができます。

● ズームレベル：内側カメラ（1～3）／外側カメラ（1～25）

1 通話中に (拡大）または (縮小）

送信画像／音声設定

【お買い上げ時】カメラ画像

相手に送信する画像と音声の設定を変更します。

1 通話中に →**カメラ画像**、**代替画像**、**送話ミュート**または**代替画像&送話ミュート**を選択→

● 各項目について（☞P.5-7）

カメラ切替

【お買い上げ時】内側カメラ

送信画像を撮影するカメラを切り替えます。

1 通話中に

内側カメラ使用中　外側カメラ使用中

画面切替

【お買い上げ時】相手画像大

TVコール中の画面表示を切り替えます。

1 通話中に [**メニュー**]→**画面切替**を選択→

2 **相手画像大**または**自画像大**を選択→

相手画像大

自画像大

アドレス帳の確認

TVコール中にアドレス帳を呼び出せます。

- アドレス帳からの発信、アドレス帳の登録／編集はできません。

1 通話中に [**メニュー**]→**アドレス帳**を選択→

ホワイトバランスの設定

【お買い上げ時】自動

相手に送信する画像の色合いを調節します。

1 通話中に [✉] **[メニュー]→設定**を選択→ [●]

2 **ホワイトバランス**を選択→ [●] →**自動**、**晴天**、**曇天**または**電球(白熱灯)**を選択→ [●]

その他の設定

1 通話中に [✉] **[メニュー]→設定**を選択→ [●]

2 **バックライト**または**受信画質**を選択→ [●]

3 それぞれの操作を行う(バックライト設定/受信画質☞P.5-8手順1)

TVコールの設定

送信画像/音声設定

【お買い上げ時】カメラ画像

相手に送信する画像と音声の設定を行います。

- 通話中に設定を変更するには(☞P.5-5)

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール ▶ 画像/音声設定

1 項目を選択→ [●]

カメラ画像	カメラからの画像を送信します。
代替画像	代替画像を送信します。 ● 代替画像は変更できます。(☞下記)
送話ミュート	カメラからの画像だけを送信し、音声は送信しません。
代替画像&送話ミュート	代替画像を送信し、音声は送信しません。

代替画像設定

相手に送信する代替画像を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール ▶ 代替画像

1 ファイルを選択→ [✉] **[決定]**

バックライト設定

【お買い上げ時】明るさ：レベル3
／バックライト点灯時間：常時点灯

TVコール中の画面の明るさと画面照明の点灯時間を設定します。

- 通話中に設定を変更するには（☞P.5-7）

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール ▶ バックライト

1 **明るさの設定**

明るさを選択→ → でレベル1～3から選択→

バックライト点灯時間の設定

バックライト点灯時間を選択→ →

常時点灯、**通常設定連動**または**常時消灯**を選択→

- **通常設定連動**は、通常のバックライト点灯時間の設定（☞P.7-6）に従います。

受信画質

【お買い上げ時】標準

通話中に受信する画像の画質を設定します。

- 通話中に設定を変更するには（☞P.5-7）

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール ▶ 受信画質

1 **標準**、**動き優先**または**画質優先**を選択→

スピーカーの設定

【お買い上げ時】ON

スピーカーのオン／オフを切り替えます。

- スピーカーオフ時は、相手の声は受話口から聞こえます。
- 通話中に設定を変更するには（☞P.5-5）

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール ▶ スピーカーホン

1 **ON**または**OFF**を選択→

ここでの設定に関わらず、マナーモード設定中にTVコールを開始すると、相手の声は受話口から聞こえます。通話中にオン／オフを切り替えられます。（☞P.5-5）

カメラ

カメラをご利用になる前に

本機は2メガピクセルCMOSカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。撮影した画像はS!メールに添付したり壁紙などに使用できます。

画像データの保存形式／保存場所

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG（.jpg）	データフォルダのピクチャーフォルダ
動画	MPEG-4（.3gp）	データフォルダのムービーフォルダ

補足
- メモリカードに直接保存することもできます。（保存先☞P.6-12）
- データフォルダのメモリの使用状況を確認するときは、P.10-5を参照してください。

カメラご利用時の注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れたら柔らかい布できれいにふいてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音について

- マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、撮影時は音（シャッター音やセルフタイマー音）が鳴ります。音量は変更できません。
- 静止画撮影時のシャッター音のパターンは変更できます。（☞P.6-12）

カメラ利用時の着信／アラーム動作／電池残量不足について

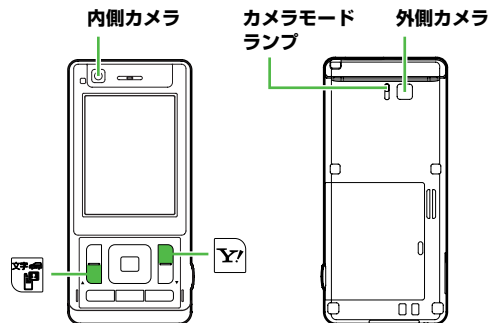
- 電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- カメラ起動時に着信やアラーム動作があった場合、または電池残量が不足すると、カメラは終了します。撮影後（保存前）に終了した場合、撮影した静止画／動画データは保存されます。動画撮影中に終了した場合、カメラ終了までの動画データは保存されます。

カメラの自動終了について

- 静止画撮影画面または動画撮影画面で、撮影／録画前に約3分間何も操作しないと、自動的に終了し、カメラを起動する前の画面へ戻ります。

カメラについて

待受画面で を押すとカメラが起動します。待受画面で を1秒以上押すとビデオカメラが起動します。

- 撮影画面で Y! を押すとカメラとビデオカメラを切り替えて使用できます。
- を押すと内側カメラと外側カメラを切り替えて使用できます。
- 本機は、閉じた状態でも開いた状態でもカメラを使用できます。
- カメラ起動中はカメラモードランプが点滅します。点滅は消せません。

- 内側カメラと外側カメラを同時に使用することはできません。
- 内側／外側カメラは、 **[メニュー]→内側／外側カメラ切替**を選択→ で切り替えることもできます。

機能の簡単切替

撮影画面では、ボタン操作で簡単に機能の切り替えができます。

- 0 を押すと、ボタン操作のヘルプ画面が表示されます。

ボタン	静止画モード	動画モード
(上)	明るく	
(下)	暗く	
(右)	ズームイン	
(左)	ズームアウト	
文字	内側／外側カメラ切替	
(中央)／(右側面)	シャッター	録画開始
1	保存先設定	
2	撮影サイズ	録画時間設定
3	画質設定	
4	連写モード	—
5	セルフタイマー	
6	ナイトモード	—
7	効果	
8	ホワイトバランス	
0	ヘルプ	
Y!	ビデオカメラに切替	カメラに切替

ディスプレイ

静止画撮影画面とボタン操作

メインメニューから エンタテイメント ▶ カメラ

- 内側カメラ使用中または撮影サイズが**壁紙**の場合は、縦画面になります。

連写モード（☞P.6-10）
ON
4 ON/OFF切替

ズームレベル（☞P.6-6）
レベル 1-25
拡大　縮小

保存先
本体　メモリカード
1 保存先切替

撮影サイズ（☞P.6-6）
UXGA　SXGA　VGA　CIF※
QVGA　QQVGA　壁紙　QCIF※
※内側カメラ使用中のみ
2 撮影サイズ切替

画質
スーパーファイン
ファイン　ノーマル
3 画質切替

ホワイトバランス（☞P.6-12）
自動　晴天　曇天　電球（白熱灯）
8 モード切替

明るさ
レベル -2 - +2
明るく　暗く

保存方向
横画面撮影　縦画面撮影

効果（☞P.6-12）
7 設定切替

ナイトモード（☞P.6-12）
ON
6 ON/OFF切替

セルフタイマー（☞P.6-11）
5秒後に撮影
10秒後に撮影
5 設定切替

動画撮影画面とボタン操作

メインメニューから エンタテイメント ▶ ビデオカメラ

● 設定の変更は撮影前に行ってください。撮影中はズームレベルのみ変更できます。

6 カメラ

静止画の撮影

静止画撮影モード

各種撮影方法や画像の設定など目的に応じた設定を選んで撮影できます。

	撮影サイズ（ドット数）	ズーム		画質	S!メール添付	ファイル形式	保存可能数
		レベル	最大倍率				
外側カメラ	UXGA (1600x1200)	1～2	約2.0倍	スーパーファイン／ファイン／ノーマル	可能（290KBまで）	JPEG形式(.jpg)※1	約1000ファイル※2
	SXGA (1280x960)	1～3	約2.0倍				
	VGA (640x480)	1～25	約5.0倍				
	QVGA (320x240)	1～25	約5.0倍				
	QQVGA (160x120)	1～25	約10.0倍				
	壁紙 (240x320)	1～25	約5.0倍				
内側カメラ	CIF (352x288)	1～2	約2.0倍				
	QCIF (176x144)	1～3	約4.0倍				

※1 本体への保存時は「yy-mm-dd_001.jpg」、「yy-mm-dd_002.jpg」・・・と順にファイル名が付きます。（yy：年の下2桁、mm：月、dd：日）

※2 お買い上げ時の状態（撮影サイズ：QVGA／画質：ファイン）で撮影して、本体のピクチャーフォルダに保存できる最大の画像数です。

- 暗い場所で撮影するときは、ナイトモードを使用してください。（☞P.6-12）
- 撮影した静止画が保存されるピクチャーフォルダは、ムービー、着うた・メロディ、S!アプリなどの他のフォルダとメモリを共用しているため、他のデータの登録状況によっては保存できる画像数が少なくなります。
- メモリカードに保存できる画像数は、メモリカードの容量によって変動します。

静止画を撮影する

メインメニューから エンタテイメント ▶ カメラ

まず確認！

- 画面にどちらのカメラからの画像が表示されているか確認する。
（内側カメラ／外側カメラの切り替え：[文字] ）
- 撮影方法の内容を確認／設定する。
（☞P.6-4）
- 内側カメラ使用中または撮影サイズが**壁紙**の場合：本機を縦にして撮影する。

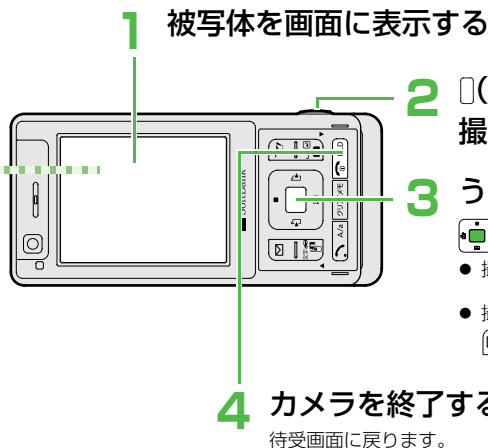
1 被写体を画面に表示する

2 □（右側面）を押し、撮影する

3 うまく撮影できたら、[●]**[保存]**を押す

- 撮影をやり直すには：[Y!]**[削除]**
- 撮影した画像をメールに添付するには：[✉]**[S!メール]**

4 カメラを終了するときは、[HLD] を押す

待受画面に戻ります。

補足

- [●] を押して撮影することもできます。
- 撮影後、静止画を自動的に保存するように設定できます。（自動保存☞P.6-12）
- 保存先をメモリカードに設定している場合は、メモリがいっぱいになると自動的に本体に保存されます。保存先を本体に設定している場合は、メモリがいっぱいになると保存時にデータフォルダが開きます。本体メモリの不要なファイルを削除すると自動的に新しいファイルが保存されます。（保存先の設定☞P.6-12）

動画の撮影

動画撮影モード

長時間の動画やS!メール添付用の短い動画を、用途に応じて撮影できます。

	録画時間			画質（ドット数）	ズーム		ファイル形式	保存可能数
		本体	メモリカード		レベル	最大倍率		
外側カメラ	S!メール添付用	約30秒	約30秒	ノーマル（176x144）	1～25	約6.8倍	MPEG-4 (.3gp)※1	約140ファイル※2
	長時間撮影	約160秒	約60分	ノーマル（176x144）	1～25	約6.8倍		
		約85秒	約60分	ファイン（176x144）	1～25	約6.8倍		
		約30秒	約45分	スーパーファイン（352x288）	1～25	約3.4倍		
内側カメラ	S!メール添付用	約30秒	約30秒	ノーマル（176x144）	1～3	約4.0倍		
	長時間撮影	約160秒	約60分	ノーマル（176x144）	1～3	約4.0倍		
		約85秒	約60分	ファイン（176x144）	1～3	約4.0倍		
		約30秒	約45分	スーパーファイン（352x288）	1～2	約2.0倍		

※1 本体への保存時は「yy-mm-dd_001.3gp」、「yy-mm-dd_002.3gp」・・・と順にファイル名が付きます。（yy：年の下2桁、mm：月、dd：日）ただし、ムービーフォルダで動画ファイルを選択したときの表示は「yyyy/mm/dd hh:mm」となり、ファイルの名称を変更しても表示は変わりません。（yy：年、mm：月、dd：日、hh：時、mm：分）
※2 お買い上げ時の状態（外側カメラ／S!メール添付用）で撮影して、本体のムービーフォルダに保存できる最大の画像数です。

- 動画を撮影するときは、なるべく明るい状態で撮影することをおすすめします。
- 撮影した動画が保存されるムービーフォルダは、ピクチャー、着うた・メロディ、S!アプリなどの他のフォルダとメモリを共用しているため、他のデータの登録状況によっては保存できる画像数が少なくなります。
- メモリカードに保存できる長時間撮影の録画時間は、メモリカードの容量によって変動します。

動画を撮影する

● ご利用前に電池残量（☞P.1-8）とメモリ容量（☞P.10-5）をご確認ください。電池残量が不足しているときは撮影できません。

メインメニューから エンタテイメント ▶ ビデオカメラ

まず確認！

● 画面にどちらのカメラからの画像が表示されているか確認する。（内側カメラ／外側カメラの切り替え：文字）
● 撮影方法の内容を確認／設定する。（☞P.6-5）

1 被写体を画面に表示する

2 を押し、撮影を開始する

3 撮影を終了するときは、を押す

● 記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。

4 データフォルダへ保存を選択して を押す

● 撮影をやり直すには：Y![戻る]
● 撮影した動画を再生するには：**再生**を選択→
● 撮影した動画をメールに添付するには：**S!メールに添付**を選択→

5 ビデオカメラを終了するときは、HLD を押す

待受画面に戻ります。

補足

● (右側面）を押して撮影を開始／終了することもできます。
● 撮影中はズームレベルのみ変更できます。
● 保存先を本体に設定している場合は、撮影後に動画を自動的に保存するように設定できます。（自動保存☞P.6-12）
● 保存先をメモリカードに設定（☞P.6-12）している場合は、撮影後に動画を自動的に保存します。保存した動画は**削除**を選択→ で削除できます。
● 保存先を本体に設定している場合は、メモリがいっぱいになると保存時にデータフォルダが開きます。本体メモリの不要なファイルを削除すると自動的に新しいファイルが保存されます。（保存先の設定☞P.6-12）

便利な撮影方法

連写で撮影する（静止画）

15枚の静止画を連続して撮影できます。

- 画像サイズは、外側カメラの場合**QVGA (320x240)**、内側カメラの場合**QCIF (176x144)**に固定されます。
- 連写モードでシャッター（ または ）を押すと、一定間隔で15枚撮影されます。
- 連写モードに設定するとナイトモードは**OFF**になります。

メインメニューから エンタテイメント ▶ カメラ

1 [**メニュー**]→**連写モード**を選択→

2 **ON**を選択→

3 被写体を画面に表示→ または (右側面)

撮影した画像がサムネイルで表示されます。

- 撮影をやり直すには：[**削除**]→手順1へ

4 撮影した画像を確認するには、 で確認したい画像を選択→

選択した画像が拡大表示されます。

- で拡大表示のまま、残りの画像が確認できます。

5 **画像を拡大表示中に保存する場合**

[**全保存**]または [**保存**]

- [**保存**]を押すと、表示されている画像のみが保存されます。

サムネイル画面表示中に保存する場合

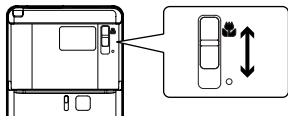
[**メニュー**]→**全画像保存**または**この画像だけ保存**を選択→

6 カメラを終了するときは、

接写モードを使って撮影する（静止画／動画）

外側カメラでの撮影時、被写体まで約8cmの距離で撮影します。

1 本機を開き、背面の接写スイッチを「🌷」の方向に動かす

- 接写終了後は、接写スイッチを「◦」の方向に戻してください。

セルフタイマーで撮影する（静止画／動画）

メインメニューから エンタテイメント ▶ カメラまたはビデオカメラ

1 ✉**[メニュー]→セルフタイマー**を選択→ ●

2 **5秒**または**10秒**を選択→ ●

3 被写体を画面に表示する→ ● または ▯（右側面）

5秒または10秒後、静止画撮影モードでは撮影され、動画撮影モードでは録画が始まります。

- 動画の撮影を終了するには： ● または ▯（右側面）

4 **静止画を保存する場合**

●**[保存]**

動画を保存する場合

データフォルダへ保存を選択→

5 カメラを終了するときは、 HLD

- タイマー動作中に Y!**[キャンセル]**を押すと撮影画面に戻ります。タイマーは解除されません。
- タイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。（タイマーは解除され、カメラを起動する前の画面に戻ります。）

画像／撮影に関する設定

静止画と動画の撮影方法や画像の設定など、目的に応じて変更できます。

● 設定の変更は撮影前に行ってください。簡単なボタン操作で切り替えられる機能もあります。（☞P.6-3）

項目	機能	お買い上げ時	
		静止画	動画
内側／外側カメラ切替	内側カメラ／外側カメラを切り替えます。（☞P.6-3）	**外側カメラ**	**外側カメラ**
撮影サイズ	撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-6）	**QVGA (320x240)**	※
画質	画質を設定します。動画の場合は、録画時間の設定が**長時間撮影**の場合のみ変更できます。（☞P.6-8）	**ファイン**	**ノーマル (176x144)**
録画時間	動画の録画時間を設定します。（☞P.6-8）	※	**S!メール添付用**
ナイトモード	露光時間を長くして、夜間などの周囲が暗い状態でも撮影できます。	**OFF**	※
連写モード	15枚の写真を連続して撮影できます。（☞P.6-10）	**OFF**	※
効果	画質の色調効果を選択します。	**ノーマル**	**ノーマル**
ホワイトバランス	天候や場所によって画像の発色を調整し、自然な色合いにします。	**自動**	**自動**
セルフタイマー	設定時間後に自動的に撮影できます。（☞P.6-11）	**OFF**	**OFF**
シャッター音	撮影時のシャッター音を選択できます。 ● 音量を変更したり、音が鳴らないようにすることはできません。	**パターン1**	※
保存先	保存先（本体またはメモリカード）を選択します。	**本体**	**本体**
自動保存	撮影後、静止画や動画を自動的に保存するかどうかを設定します。	**OFF**	**OFF**
保存容量確認	現在の保存先（本体またはメモリカード）にあとどれくらい保存できるかの目安を確認できます。 静止画の場合は、指定した撮影サイズと画質で保存できるファイル数を表示します。動画の場合は、指定した録画時間（**長時間撮影**または**S!メール添付用**）と画質で保存できる時間の合計と、1ファイルあたりの最大録画時間を表示します。	－	－
設定リセット	カメラとビデオの設定をお買い上げ時の状態にします。	－	－
ヘルプ	撮影時に利用できるボタン操作を表示します。（機能の簡単切替☞P.6-3）	－	－

※ 設定できません。

メインメニューから エンタテイメント ▶ カメラまたはビデオカメラ

1 [メニュー]→項目を選択→

2 次のそれぞれの操作を行う

内側／外側カメラ切替	**外側カメラ**または**内側カメラ**を選択→
撮影サイズ	サイズを選択→
画質	**スーパーファイン**、**ファイン**または**ノーマル**を選択→
録画時間	**長時間撮影**または**S!メール添付用**を選択→
ナイトモード	**ON**または**OFF**を選択→
連写モード	☞P.6-10手順2へ
効果	**ノーマル**、**セピア**、**白黒**または**ネガポジ**（外側カメラのみ）を選択→
ホワイトバランス	**自動**、**晴天**、**曇天**または**電球（白熱灯）**を選択→
セルフタイマー	☞P.6-11手順2へ
シャッター音	**パターン1～5**から選択→
保存先	**本体**または**メモリカード**を選択→
自動保存	**ON**または**OFF**を選択→
保存容量確認	で項目を選択 ● **[画質変更]**を押すと、**ノーマル**、**スーパーファイン**、**ファイン**の順に保存画質設定が変わります。（動画で**S!メール添付用**を選択した場合は変更できません。）
設定リセット	確認画面で
ヘルプ	ボタン操作が表示されます。

撮影した画像の確認

撮影した静止画／動画を確認します。

メインメニューから データフォルダ

1 **静止画の場合**
ピクチャーを選択→

動画の場合
ムービーを選択→

2 画像を選択→

選択した画像が表示されます。

例）ピクチャーフォルダ

メモリカードに保存されている静止画を確認するには
手順１のあとで、デジタルカメラフォルダ（ ）を選択→ →フォルダを選択→

メモリカードに保存されている動画を確認するには
手順１のあとで、ビデオカメラフォルダ（ ）を選択→ →PRLフォルダを選択→

撮影後、保存された静止画は編集できます。編集方法はデータフォルダの静止画の編集（☞P.10-13）を参照してください。

静止画／動画をメールで送る

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接S!メールに添付して送信できます。

- 撮影した静止画を保存したあとは、データフォルダからの操作でも送信できます。（☞P.10-13）

1 被写体を画面に表示→ または （右側面）で撮影→ **[S!メール]**

S!メール作成画面が表示されます。

2 宛先など他の項目を入力し、S!メールを送信する（☞P.15-6手順1以降）

静止画のデータサイズが290KB以上の場合、S!メールに添付できません。添付できなかった場合はデータフォルダに保存されます。290KB以下にリサイズすると（☞P.10-14）添付できます。

撮影した動画を添付する

撮影した動画を、撮影直後の画面から直接S!メールに添付して送信できます。

● 録画時間が**S!メール添付用**に設定されていることを確認してください。(☞P.6-5)

1 被写体を画面に表示→ または (右側面)

2 撮影を終了するときはもう一度 または (右側面)

3 **S!メールに添付**を選択→

4 宛先など他の項目を入力し、S!メールを送信する（☞P.15-6手順1以降）

ディスプレイ／音の設定

ディスプレイの設定

壁紙設定

【お買い上げ時】Sky.jpg

待受画面に表示する壁紙として、あらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画などを設定できます。

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定**
▶ **メインディスプレイ** ▶ **ピクチャーまたはFlash(R)**

1 データフォルダ内の画像を選択→ ✉ **[決定]**

- 画像を拡大して見たい場合：画像を選択→ ◉

著作権保護ファイルについて

- 著作権保護ファイルを壁紙に設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別のUSIMカードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
- 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、壁紙に設定できません。

画像によっては、うまく表示されなかったり、設定できないこともあります。

時計表示設定

時刻補正の設定やふだんお使いの都市のホーム時計と世界各国の都市用の世界時計の設定ができます。また、日付／時刻の表示形式の設定もできます。

- 日付／時刻の設定について（☞P.1-19）

時刻補正の設定

【お買い上げ時】自動補正：ON

Yahoo!ケータイにアクセスすると、自動的に時刻の補正を行います。手動で補正することもできます。

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **日時設定**
▶ **時刻補正**

1 **自動補正の設定**

自動補正を選択→ →**ON**または**OFF**を選択→ ◉

手動で補正する場合

手動補正を選択→ ◉ →確認画面で ◉

時刻補正が行われた結果、アラームやスケジュール通知が過去の時刻になってしまうことがあります。その場合、そのアラームやスケジュール通知は無効になります。

ホーム時計の設定

【お買い上げ時】ホームエリア：東京
／サマータイム：OFF

ふだんお使いの都市（ホームエリア）を設定します。サマータイムを**ON**にすると、設定したホームエリアの時刻が１時間進んだ状態で表示されます。

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **日時設定** ▶ **ホーム時計**

1 ホームエリア設定

ホームエリアを選択→ [決定] →都市を選択→ [決定]

サマータイム設定

サマータイムを選択→ [決定] →**ON**または**OFF**を選択→ [決定]

海外時計の設定

【お買い上げ時】タイムゾーン：東京
／サマータイム：OFF

ふだんお使いの都市以外の世界各国の都市（タイムゾーン）の時計を設定します。サマータイムを**ON**にすると、設定したタイムゾーンの時刻が１時間進んだ状態で表示されます。

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **日時設定** ▶ **海外時計**

1 タイムゾーン設定

タイムゾーンを選択→ [決定] →都市を選択→ [決定]

サマータイム設定

サマータイムを選択→ [決定] →**ON**または**OFF**を選択→ [決定]

表示する時計の選択

【お買い上げ時】ホーム時計

待受画面に表示する時計（ホーム時計／海外時計）を設定します。

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **日時設定** ▶ **表示時計選択**

1 **ホーム時計**または**海外時計**を選択→ [決定]

日付／時刻の表示形式の設定

【お買い上げ時】時刻：24時間表示／日付：年／月／日

時刻の時間制（24時間／12時間）や日付の表示形式を設定します。

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **日時設定** ▶ **表示形式**

1 **時刻の表示形式設定**

時刻を選択→ →**24時間表示**または**12時間表示**を選択→

日付の表示形式設定

日付を選択→ →**年／月／日**、**月／日／年**または**日／月／年**を選択→

メニューテーマを切り替える

【お買い上げ時】通常メニュー

メニュー画面を、おなじみ操作または本機のオリジナルメニューに変更できます。
おなじみ操作では、既に発売済のソフトバンク携帯電話またはその他の携帯電話の操作イメージに変更できるため、以前お使いの機種と近い操作感覚で本機を利用できます。

注意 おなじみ操作は、既存機種と完全に同様の操作、画面表示に変更するわけではありません。

おなじみ操作をダウンロードする

利用する機種のコンテンツを、おなじみ操作提供サイトからダウンロードします。

メインメニューから **データフォルダ** ▶ **おなじみ操作**

1 **おなじみ操作ダウンロード**を選択→

インターネットに接続され、おなじみ操作提供サイトの画面が表示されます。

以降は、画面の指示に従って操作してください。

- データフォルダのおなじみ操作フォルダ内の操作について（☞P.10-9）

メニューテーマを切り替える

- おなじみ操作を利用する場合は、あらかじめ利用する機種のコンテンツをダウンロードしてください。

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メニューテーマ切替

1 **おなじみ操作に切り替える場合**

おなじみ操作を選択→ [決定キー] →コンテンツを選択→ [メールキー]**[決定]**

オリジナルメニューに切り替える場合

オリジナルメニューを選択→ [決定キー] →メニューを選択→ [決定キー]

2 確認画面で [決定キー]

登録中は電話やメールなどの発着信はできません。

メインメニュー表示中にメニューテーマを切り替えるには

メインメニュー表示中に [メールキー]**[メニューテーマ]**→メニューテーマを選択（手順1～2）

通常メニュー以外のメニューテーマの言語は固定です。本体の言語設定を変えてもメニューテーマの言語は変わりません。

メインメニューアイコン設定

メインメニュー画面の背景や各アイコンに、あらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画などを使用できます。

メインメニューの背景を変更する

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインメニューアイコン ▶ 一括変更

1 データフォルダ内の画像を選択→ [メールキー]**[決定]**

- 画像を拡大して見たい場合：画像を選択→ [決定キー]

メインメニューのアイコンを個別に変更する

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインメニューアイコン ▶ 個別変更

1 アイコンを選択→ [●]

2 データフォルダ内の画像を選択→ [✉]**[決定]**

- 画像を拡大して見たい場合：画像を選択→ [●]
- 他のアイコンの設定をする場合は、手順2を繰返してください。

初期設定に戻す

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインメニューアイコン ▶ 設定リセット

1 確認画面で [●]

バックライト点灯時間の設定

【お買い上げ時】15秒

ディスプレイのバックライトの点灯時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ バックライト点灯時間

1 **15秒**、**30秒**または**60秒**を選択→ [●]

配色パターンの設定

【お買い上げ時】Brown

ディスプレイの配色パターンを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 配色パターン

1 **Brown**、**Blue**または**Pink**を選択→ [●]

ディスプレイの明るさの調節

【お買い上げ時】レベル3

ディスプレイの照明の明るさを調節できます。

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定** ▶ **明るさ**

1 で明るさを調節（**レベル1～5**）→

待受表示設定

【お買い上げ時】時計表示：大時計（中央上）／事業者名表示：OFF

待受画面に時計やカレンダー、ご利用の通信事業者名を表示します。

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定** ▶ **待受表示設定**

1 時計／カレンダー表示設定

時計／カレンダー表示を選択→ →時計の種類を選択→

事業者名表示設定

事業者名表示を選択→ →**ON**または**OFF**を選択→

英語表示に切り替える

【お買い上げ時】自動

画面の表示言語を日本語または英語に切り替えます。

- **自動**を選ぶと、USIMカードに設定されている言語が設定されます。

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **Language**

1 **自動**、**English**または**日本語**を選択→

音の設定

着信音の設定

【お買い上げ時】音声着信、TVコール着信：ブザー.mmf
／メール着信、ライブモニター着信：キラキラ.mmf

電話がかかってきたときやメール、ライブモニターを受信したときに鳴る着信音を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ メロディ選択 ▶ 音声着信、TVコール着信、メール着信またはライブモニター着信

1 **音声着信音／TVコール着信音の場合**

着うた・メロディ、**ミュージック**または**着信音 Flash(R)**を選択→

メール着信音／ライブモニター着信音の場合

着うた・メロディまたは**ミュージック**を選択→

2 着信音を選択→ **[決定]**

- 着信音を聞く場合：着信音を選択→ 　で音量調節ができます。

- **著作権保護ファイルについて**
  - 著作権保護ファイルを着信音に設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別のUSIMカードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
  - 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、着信音に設定できません。
- ファイルをダウンロードしているときや、ストリーミングしているときなどに音声着信があると、お買い上げ時の設定音が鳴ることがあります。

- ファイルによっては、着信音として設定できない場合があります。
- アドレス帳に登録されている相手やグループごとに着信音を設定できます。（☞P.4-4、P.4-7）
- マナーモードまたは運転中モード設定中は、着信音は鳴りません。着信音Flash®に設定していても、動画アニメーションではなく通常の着信画面が表示されます。

着信音量の設定

【お買い上げ時】音声着信、TVコール着信、メール着信：レベル3／ライブモニター着信：サイレント

電話がかかってきたときやメール、ライブモニターを受信したときに鳴る着信音の大きさを設定します。

- **サイレント**に設定すると、着信音は鳴りません。
- **エスカレーティングトーン**に設定すると、レベル1～6の順で約1秒ごとに音量が上がります。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ 着信音量 ▶ 音声着信、TVコール着信、メール着信または**ライブモニター着信**

1 または で音量を調節（**サイレント、レベル1～6、エスカレーティングトーン**）→

補足 音声着信の音量を変更すると、インターネットの情報画面表示中のBGMなどの音量も変更されます。ただし、音声着信を**エスカレーティングトーン**に設定している場合は、インターネット情報画面表示中の音は**レベル6**で鳴ります。

鳴動時間の設定

【お買い上げ時】5秒

メールやライブモニターを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ 鳴動時間 ▶ メール着信または**ライブモニター着信**

1 鳴動時間（1～99秒）を入力→

エラー音の設定

【お買い上げ時】ON

エラー時に音を出すかどうかを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ エラー音

1 **ON**または**OFF**を選択→

バイブレーションの設定

【お買い上げ時】OFF

電話やメール、ライブモニターを受信したときに、振動でお知らせします。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ バイブレーション ▶ 音声着信、TVコール着信、メール着信または**ライブモニター着信**

1 **パターン1～3**または**OFF**を選択→

バイブレーションに設定した本機を机の上や滑りやすい場所などに置くと、着信したときに振動で落下することがあります。特に充電するときは、落下防止のためにも**OFF**にすることをおすすめします。

モード設定

使用する環境や状況に合ったモードに本機を設定できます。各モードの設定内容はお好みに応じて変更できます。

■ 各モードのお買い上げ時の設定内容

設定内容		通常モード モードを設定していない通常の状態です。	マナーモード 音を出したくないときに設定します。	運転中モード 運転中に設定します。	ユーザーモード 用途に応じた設定ができます。
メロディ選択	**音声着信／TVコール着信**	ブザー .mmf	－	－	ブザー .mmf
	メール着信／ライブモニター着信	キラキラ.mmf	－	－	キラキラ.mmf
着信音量	**音声着信／TVコール着信／メール着信**	レベル3	－	－	レベル3
	ライブモニター着信	サイレント	－	－	サイレント
鳴動時間	**メール着信／ライブモニター着信**	5秒	5秒	5秒	5秒
キー確認音	**音選択**	サウンド1	－	サウンド1	サウンド1
	音量	レベル1	－	サイレント	レベル1
エラー音		ON	－	OFF	ON
バイブレーション	**音声着信／TVコール着信／メール着信**	OFF	パターン1	OFF	OFF
	ライブモニター着信	OFF	OFF	OFF	OFF
簡易留守録		OFF	ON	－	OFF

モードを切り替える

【お買い上げ時】通常モード

- 通常モード以外のモードに切り替えると、各モードのアイコンが表示されます。(☞P.1-9)

メインメニューから 設定 ▶ モード設定

1 モードを選択→ [決定]

待受画面でマナーモードと設定モードを切り替えるには
[#] または右側面の [ ](1秒以上)

待受画面で運転中モードと設定モードを切り替えるには
[文字](1秒以上)

モードを編集する

メインメニューから 設定 ▶ モード設定

例）ユーザーモードの簡易留守録をONにする場合

1 **ユーザーモード**を選択→ [✉] **[メニュー]**→ **編集**を選択→ [決定]

2 **簡易留守録**を選択→ [決定] →**ON**を選択→ [決定]

その他の設定

イルミネーション設定

下記の状況をお知らせするイルミネーションの色を設定できます。

項目	内容	お買い上げ時
音声着信	音声電話着信中に点滅します。	**スカイブルー**
TVコール着信	TVコール着信中に点滅します。	**スカイブルー**
メール着信	メール受信中に点滅します。	**ライム**
音声通話中	音声通話中に点滅します。	**マリンブルー**
ライブモニター着信	ライブモニター受信中に点滅します。	**ライム**
スライドオープン・クローズ	本機をスライド開閉したときに点滅します。	**バイオレット**
データ送受信中	データ送受信中に点滅します。	**ON（レモン）**

メインメニューから **設定** ▶ **一般設定** ▶ **イルミネーション**

1 項目を選択→

2 パターンを選択→

選択中は、確認のためイルミネーションが点滅します。

- イルミネーションを点滅させない場合：**OFF**を選択→

アドレス帳に登録されている相手やグループにイルミネーションが設定されている場合は（☞P.4-4、P.4-7）、アドレス帳の設定が優先されます。

ボタンの設定

キー確認音の設定

【お買い上げ時】音選択：サウンド1
／音量：レベル1

ボタンを押したときの確認音とその音量を設定できます。

メインメニューから **設定** ▶ **音・バイブ設定** ▶ **キー確認音**

1 **キー確認音の設定**

音選択を選択→ →音の種類を選択→

キー確認音量の設定

音量を選択→ → または で音量を調節（**サイレント**、**レベル1～6**）→

- **サイレント**に設定すると、キー確認音は鳴りません。

キーバックライトの設定

【お買い上げ時】15秒

ボタンを押したときの照明の点灯時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ キー設定 ▶ キーバックライト

1 **OFF**または照明時間を選択→

- **OFF**に設定すると、ボタンの照明は点灯しません。

ショートカットボタンの設定

【お買い上げ時】カレンダー

にょく使う機能をショートカットとして登録できます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ キー設定 ▶ ショートカットキー

1 機能を選択→

ピクチャー、着うた・メロディ、ミュージック、ムービー、ブック、おなじみ操作、テンプレート、テキストメモ、Flash(R)はデータフォルダ内の各フォルダへのショートカットとなります。

通話設定

応答ボタンの設定（エニーキーアンサー）

【お買い上げ時】OFF

かかってきた電話に出るときの応答ボタンを設定します。

設定	応答できるボタン
ON	A/a、0～9、*、#、文字、カメラ、中央ボタン
OFF	A/a

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ エニーキーアンサー

1 **ON**または**OFF**を選択→

補足　応答保留中はエニーキーアンサーは無効です。

自動応答の設定

【お買い上げ時】OFF

ステレオイヤホンマイク（オプション品）やBluetooth®通信対応のハンズフリー機器を使用しているときに、ボタン操作をしなくても自動的に電話の着信に応答できるように設定します。**ON**に設定した場合、電話がかかってくると、イヤホンとスピーカーから着信音が約7秒間鳴り、「ピーピ」と鳴ったあと、電話がつながります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 自動応答

1 **ON**または**OFF**を選択→

- マナーモードなど着信音を鳴らさない設定をしている場合は、電話がかかってくるとイヤホンからのみ着信音が鳴ります。
- 自動応答と簡易留守録（☞P.2-8）を同時に設定している場合は、呼び出し時間の短い方が優先されます。
- 自動応答と留守番電話サービス（☞P.14-4）の**呼び出しなし**を同時に設定している場合は、留守番電話サービスが優先されます。

スライド機能の設定

本機には、次のような開く／閉じる動作に関する設定があります。

オープン着信応答（☞P.8-5）	本機を開くだけで、かかってきた電話に応答できます。
クローズ通話終了（☞P.8-5）	本機を閉じるだけで、通話および発着信を終了できます。
オープン新着表示（☞P.15-26）	新着メールのインフォメーションが表示されているときに本機を開くと、受信ボックスが直接表示されます。
オープン不在着信表示（☞P.8-5）	不在着信のインフォメーションが表示されているときに本機を開くと、着信履歴が直接表示されます。
クローズパワーセーブ（☞P.8-6）	本機を閉じると画面が暗くなり、電池パックの消耗を軽減できます。開くとバックライトが点灯し、通常通りご利用になれます。
クローズ自動設定（☞P.1-18）	待受画面の状態で本機を閉じると誤操作防止が設定されます。開くと誤操作防止は解除されます。

スライド時の通話設定

オープン着信応答設定

【お買い上げ時】OFF

本機を開くだけで、かかってきた電話に応答できます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ オープン／クローズ ▶ オープン着信応答

1 **ON**（応答する）または**OFF**（応答しない）を選択→

クローズ通話終了設定

【お買い上げ時】OFF

本機を閉じるだけで、通話および発着信を終了できます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ オープン／クローズ ▶ クローズ通話終了

1 **ON**（終了する）または**OFF**（終了しない）を選択→

- クローズ通話終了設定を**ON**にしても、Bluetooth®通話中またはイヤホンマイク接続中は、本機を閉じても通話を終了できません。
- クローズ通話終了設定が**ON**の場合、インターネット閲覧中に本機を閉じてもインターネットは終了しません。

オープン不在着信表示設定

【お買い上げ時】OFF

不在着信のインフォメーションが表示されているときに本機を開くと、着信履歴が直接表示されます。

- 複数のインフォメーションが表示されているときは、**不在着信**を選択してから開きます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ スライド機能 ▶ オープン不在着信表示

1 **ON**または**OFF**を選択→

クローズパワーセーブ設定

【お買い上げ時】OFF

本機を閉じると画面が暗くなり、電池パックの消耗を軽減できます。開くとバックライトが点灯し、通常通りご利用になれます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ スライド機能 ▶ クローズパワーセーブ

1 **ON**または**OFF**を選択→

エンタテイメント

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、本体やメモリカードに保存されている音楽や動画を再生します。プレイリストを使って、お好みの選曲集を作ることもできます。

- プレイリストについて（☞P.9-9）

ご利用時の注意

- ファイルの形式やメモリカードの状態、保存方法などによって再生できないことがあります。
- 電池残量が不足していると再生できません。
- 再生中はイルミネーションが点滅します。点滅は消せません。
- 再生中に電話がかかってきたりアラームの設定時刻になったり電池残量が不足すると、再生は停止します。
- 再生中にメールを受信しても着信音は鳴りません。イルミネーションが点滅し、画面に「」を表示してお知らせします。
- 再生中に充電しても充電ランプは点灯せず、再生中イルミネーションが優先されます。

パソコンでの音楽データ保存について

パソコンを使ってメモリカードまたは本体に音楽データを保存し本機で利用するときは、次の点にご注意ください。

- 著作権などにご注意ください。
  - ・ご利用にあたっては、著作権などの第三者知的財産権その他の権利を侵害しないようご注意ください。
  - ・メモリカード内に保存した音楽は、個人使用の範囲だけでご使用ください。
- メモリカードに音楽データを保存するときは、指定のフォルダに保存してください。（☞P.10-25）

パソコンでの音楽データ保存についての詳細は、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているユーザーズガイドを参照してください。

補足

再生音はステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。

9 エンタテイメント

音楽（着うた®／着うたフル®）／動画のダウンロード

メディアプレイヤーからインターネットに接続して、音楽（着うた®／着うたフル®）や動画をダウンロードできます。

- ご利用にあたっては、音楽や動画の提供サイトの情報（料金や有効期限など）を必ずご確認ください。

メインメニューから エンタテイメント
▶ メディアプレイヤー

1 **音楽（着うた®／着うたフル®）のダウンロード**

オーディオを選択→ ● →**ミュージックダウンロード**を選択→ ● →確認画面で ●

動画のダウンロード

ムービーを選択→ ● →**ムービーダウンロード**を選択→ ● →確認画面で ●

インターネットに接続され、ダウンロードサイトが表示されます。

- 以降はジャンルやサイトなどを選択し、ダウンロードしてください。

ミュージックサーチで音楽を検索する

曲名やアーティスト名で検索して、音楽をダウンロードできます。

メインメニューから エンタテイメント
▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオ
▶ ミュージックサーチ

1 確認画面で ●

- 以降は画面指示に従って音楽ファイルを検索し、ダウンロードしてください。

著作権保護ファイルの利用について

ダウンロードした音楽／動画ファイルには、著作権保護設定により再生や転送、保存などが制限されているものがあります。著作権保護ファイルの利用には、コンテンツ・キーの取得が必要な場合があります。（☞P.10-6）
有効期限や使用可能回数などの著作権保護に関する制限を持つ場合、ファイル情報の詳細（☞P.10-6）で確認できます。

再生中のディスプレイ表示

プレイモードアイコン

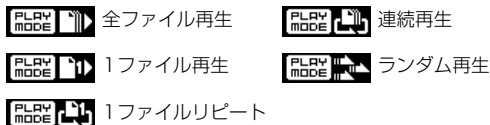
再生モード設定の確認ができます。

 全ファイル再生

 連続再生

 1ファイル再生

 ランダム再生

1ファイルリピート

ファイルによって、タイトルやアーティスト名を表示できない場合があります。

音楽を再生する（オーディオプレイヤー）

■ 再生できるファイル

ファイルの種類	拡張子
AMR-NB	.3gp .mp4 .m4a
AAC-LC	
aacPlus	
Enhanced aacPlus	

- 上記のファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。
- 著作権保護ファイルで、コンテンツ・キーの有効期限や使用可能回数が切れているものは再生できません。（コンテンツ・キーを取得する☞P.10-6）

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオ

1 項目を選択→ ●

全曲リスト	本体とメモリカードに保存されているすべてのオーディオプレイヤー対応音楽ファイルから選択します。
ミュージック	本体とメモリカードのミュージックフォルダに保存されているすべてのオーディオプレイヤー対応音楽ファイルから選択します。
着うた	本体とメモリカードの着うた・メロディフォルダに保存されているすべてのオーディオプレイヤー対応音楽ファイルから選択します。

プレイリスト	お好みで選択し、分類した音楽ファイルから選択します。

- メモリカード内の音楽を再生する場合は、 でメモリカードタブを選択します。

2 音楽ファイルを選択→

選択した音楽ファイルが再生されます。

- 再生中の操作について（☞P.9-7）

3 終了するときは、 または **[戻る]**→確認画面で **[NO]**

- 確認画面で を押すと、再生画面に戻ります。
- バックグラウンド再生について（☞右記）

再生方法を変更するには

手順2でファイルを選択する前に **[メニュー]→プレイモード設定**を選択→ →再生方法（☞P.9-8）を選択→

バックグラウンド再生

音楽を聴きながらメールの作成やスケジュールの確認など、メディアプレイヤー以外の機能を利用できます。

- メインメニューから **エンタテイメント** ▶ **メディアプレイヤー** ▶ **オーディオ** から再生した音楽ファイルのみバックグラウンド再生できます。
- 音声電話の発着信やアラーム音が鳴っているときなどにバックグラウンド再生は一時停止しますが、終了後に再生を再開します。
- TVコールの発着信やS!アプリなど、同時に利用できない機能があります。

1 左記の手順3で音楽ファイル再生中に または **[戻る]**→確認画面で **[YES]**

バックグラウンド再生中を示す「」が表示されます。

- 確認画面で を押すと、再生画面に戻ります。

補足

バックグラウンド再生中は音量やプレイモードの変更などの操作はできません。操作を行う場合はもう一度、メインメニューから **エンタテイメント** ▶ **メディアプレイヤー** ▶ **オーディオ** ▶ **再生画面を表示** で音楽再生画面に戻ってから行ってください。（再生中の操作☞P.9-7）

9 エンタテイメント

バックグラウンド再生の終了

- バックグラウンド再生を途中で終了するときは、待受画面で [HLD] → [✉][YES]、または **メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオ ▶ 再生画面を表示** で音楽再生画面に戻ってください。
- バックグラウンド再生中にS!アプリなどの同時に利用できない機能を起動すると、終了確認画面が表示されます。終了する場合は [✉][YES]を押してください。
- TVコールの発着信や電池残量不足になると、バックグラウンド再生は自動的に終了します。

動画を再生する（ムービープレイヤー）

■ 再生できるファイル

ファイルの種類	拡張子
MPEG-4	.3gp .mp4
H.263	

- Sub-QCIF, QCIF, QVGA, CIFサイズと、ソフトバンク端末で撮ったムービー写メールファイルが再生できます。
- 上記のファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。
- 著作権保護ファイルで、コンテンツ・キーの有効期限や使用可能回数が切れているものは再生できません。（コンテンツ・キーを取得する☞P.10-6）

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ ムービー

1 項目を選択→ [●]

全ムービーリスト	本体とメモリカードに保存されているすべてのムービープレイヤー対応動画ファイルから選択します。
ムービーフォルダ	本体とメモリカードのムービーフォルダに保存されているすべてのムービープレイヤー対応動画ファイルから選択します。
プレイリスト	お好みで選択し、分類した動画ファイルから選択します。

- メモリカードやビデオカメラフォルダ内の動画を再生する場合は、[◀▶] でそれぞれのタブを選択します。

2 動画ファイルを選択→ [●]

選択した動画ファイルが再生されます。

- 再生中の操作について（☞P.9-7）

3 終了するときは、[HLD]

再生方法を変更するには

手順2でファイルを選択する前に [✉]**[メニュー]→プレイモード設定**を選択→ [●] →再生方法（☞P.9-8）を選択→ [●]

フルスクリーンで動画を再生する

動画再生中に [0わをん] を押すと表示が横になり、フルスクリーン表示になります。もう一度 [0わをん] を押すと、通常の再生画面に戻ります。

- フルスクリーン表示中に [5なJKL] を押すと、画面が180度回転します。もう一度 [5なJKL] を押すと元に戻ります。
- フルスクリーン表示された方向は記憶されます。最後にフルスクリーン表示された方向で次回も表示を開始します。

再生中の操作

ボタン操作

項目	ボタン操作
音量調節	[↑]（音量を上げる）／ [↓]（音量を下げる）
再生中のファイルを最初から再生する	[←]
前のファイルを再生する	[←] 2回（再生開始から3秒以内の場合は1回）
次のファイルを再生する	[→]
早戻しする※1	[←] を押し続ける
早送りする※1	[→] を押し続ける
一時停止／再開する	[●]
再生を終了する	音楽再生中：[Y!] 2回または [HLD] → [Y!] 動画再生中：[Y!] または [HLD]
画像をフルスクリーン表示する※2	[0わをん]

※1 データフォルダなど他の機能から再生した場合は、早戻し／早送りができないことがあります。早戻し／早送りができるファイルについては、「再生できるファイル」（☞P.9-4／P.9-6）を参照してください。

※2 動画の再生中のみ操作できます。

音量を変更すると、次回起動したときも変更した音量で再生を行います。

オプションメニュー

再生中に [メニュー]を押すと、次の操作ができます。

項目	説明
再生／一時停止	ファイルを再生／一時停止します。
プレイモード設定	再生方法を選択します。（☞右記）
フルスクリーン（ムービー）／ノーマルスクリーン※1	動画ファイルを再生するときの表示サイズを選択します。
上下反転（フルスクリーン時）※1	動画ファイルをフルスクリーン表示中に画面を180度回転します。
URLに接続※2	インターネットに接続します。音楽ファイル再生中は、接続中にバックグラウンド再生を行います。
プロパティ	ファイル情報の詳細を表示します。
ヘルプ	再生中のボタン操作を表示します。

※1 動画の再生中のみ操作できます。
※2 ファイルによっては選択できません。

再生方法の設定（プレイモード設定）

【お買い上げ時】全ファイル再生

- 設定したプレイモードは再生画面で確認できます。（プレイモードアイコン☞P.9-4）

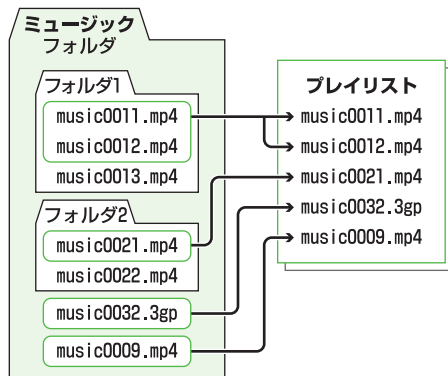
メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオまたはムービー ▶ プレイモード設定

1 再生方法を選択→

項目	説明
全ファイル再生	選択したフォルダ／プレイリスト内すべての音楽または動画ファイルのうち、選択したファイルからリストの末尾のファイルまでを再生します。
1ファイル再生	選択した1つの音楽または動画ファイルを再生します。
1ファイルリピート	選択した1つの音楽または動画ファイルを繰返し再生します。
連続再生	選択したフォルダ／プレイリスト内すべての音楽または動画ファイルを繰返し再生します。
ランダム再生	選択したフォルダ／プレイリスト内すべての音楽または動画ファイルを無作為に選択して再生します。

変更したプレイモード設定は保存され、次回メディアプレイヤーを起動したときも同じ設定で再生を行います。

プレイリストを利用する

メディアプレイヤーで再生可能な音楽／動画ファイルを、プレイリストを使ってお好みで分類できます。
プレイリストは、ムービー／着うた・メロディ／ミュージック、それぞれのフォルダ内に保存されているファイルを選択し、作成します。プレイリストには分類したファイルを呼び出して再生するのに必要な情報のみが保存され、ファイルの保存場所は変わりません。

音楽ファイルと動画ファイルが混在するプレイリストは作成できません。また、本体とメモリカードそれぞれに保存されているファイルが混在するプレイリストを作成することもできません。

新しいプレイリストを作成する

プレイリストは本体とメモリカードにそれぞれ最大30件まで作成できます。
1つのプレイリストには最大99曲まで登録できます。

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオまたはムービー ▶ プレイリスト

1 [メニュー]→**プレイリスト作成**を選択→ →プレイリスト名を入力→

プレイリスト一覧の先頭に追加されます。

プレイリストにファイルを追加する

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオまたはムービー ▶ プレイリスト

1 プレイリストを選択→ →**[メニュー]**→**追加**を選択→

2 **音楽プレイリストにファイルを追加する**
ミュージックまたは**着うた**を選択→ →ファイルを選択→

9 エンタテイメント

動画プレイリストにファイルを追加する

ファイルを選択→ [●]

ファイルの詳細を確認するには

手順1でプレイリストを選択→ [●] →ファイルを選択→ [✉]**[メニュー]**→**プロパティ**を選択→ [●]

補足　ファイルによって、プレイリストに登録できない場合があります。

プレイリストを編集する

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオまたはムービー ▶ プレイリスト

■ プレイリスト名を変更する

1 プレイリストを選択→[✉]**[メニュー]**→**プレイリスト名変更**を選択→ [●]

2 プレイリスト名を編集する→ [●]

■ プレイリスト／プレイリスト内のファイルを削除する

1 **プレイリストを削除する場合**

プレイリストを選択→[✉]**[メニュー]**→**削除**を選択→ [●]

プレイリスト内のファイルを削除する場合

プレイリストを選択→ [●] →[✉]**[メニュー]**→**削除**を選択→ [●]

2 **プレイリスト／ファイルを1件削除する場合**

1件を選択→ [●] →確認画面で [✉]**[YES]**

プレイリスト／ファイルを複数選択して削除する

複数選択を選択→ [●] →（ファイルを選択→ [●] ）※→[✉]**[OK]**→確認画面で [✉]**[YES]**

※ 選択されたプレイリスト名／ファイル名の左端のマークが「☑」に変わります。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 [●] を押すと選択が解除されます。）

プレイリスト／ファイルを全件削除する

全件を選択→ [●] →確認画面で [✉]**[YES]**→操作用暗証番号（4桁）を入力→ [●]

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

■ プレイリストの再生方法を設定する

1 プレイリストを選択→[✉]**[メニュー]**→**プレイモード設定**を選択→ [●]

2 再生方法を選択→ [●]

- 再生方法について（☞P.9-8）

■ プレイリストの再生順序を変更する

1 プレイリストを選択→ →ファイルを選択→ **[メニュー]**→**再生順変更**を選択→

2 再生順の位置を選択→

選択したファイル

選択した位置

選択した位置の上に移動します。

バーコードリーダー

印刷されたバーコードをカメラで撮影して読み取り、保存できます。読み取った情報を利用して、URLへの接続、メールの送信、アドレス帳の登録などができます。

- バーコード（JANコード）またはQRコードを自動的に判別して読み取ります。
- 読み取ったデータは最大10件まで保存できます。
- 読み取ったバーコードが分割データの場合は連続して読み取れます（最大16分割）。読み取り完了後は1件のデータとして保存できます。
- ズームは利用できません。

- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

バーコードを読み取る

メインメニューから エンタテイメント
▶ バーコードリーダー ▶ コード読取り

1 本機を開き、背面の接写スイッチを接写モード「✿」に切り替える（☞P.6-11）

2 バーコードを画面中央に表示する➜ [●]

読み取りを開始し、完了すると認識結果が表示されます。

- 読み取り前に画面の明るさを調節するには：[◇]
- 読み取ったバーコードが分割データの場合：確認画面で [●] ➜手順2を繰返す

3 [Y!] **[保存]**

- 保存せずに読み取り直すには：[クリア/メモ] ➜確認画面で [●] ➜手順2へ

- 保存メモリがいっぱいの場合は、保存時に確認画面が表示されます。不要なデータを削除すると自動的に新しいデータが保存されます。
- バーコードが大きかったり距離が遠い場合は、接写モードに切り替える必要がないこともあります。
- バーコードが読み取りにくい場合、明るさを変更すると読み取れることがあります。

認識結果を利用する

認識結果内のURL／メールアドレス／電話番号などを利用する

読み取ったデータ内のURLやメールアドレス、電話番号など選択して [●] を押すと、以下の操作ができます。

URL (「http://」、「https://」から始まる)	URLに接続、ブックマークに追加（☞P.16-9）
URL (「rtsp://」から始まる)	ストリーミング再生、ブックマークに追加
メールアドレス	S!メール新規作成（☞P.15-6）、アドレス帳へ登録（☞P.4-4）
電話番号	発信、メール新規作成（S!メール☞P.15-6／SMS☞P.15-11）、アドレス帳へ登録
アドレス帳データ (「MEMORY:」から始まる)	アドレス帳登録 ● 「MEMORY:」は文字列の先頭にある必要があります。文字列の途中や改行後にあっても認識されません。 ● 「MEMORY:」が文字列にない場合はアドレス帳データとして認識されません。 ● 保存先設定に関わらず、本体アドレス帳に保存されます。

9 エンタテイメント

認識結果内の文字データをメール本文に貼り付ける

1 認識結果表示画面で [メール][**メニュー**]→**メール本文へ添付**を選択→ [決定]

2 **S!メール**または**SMS**を選択→ [決定] →宛先など他の項目を入力し、送信する（S!メール☞P.15-6手順1以降／SMS☞P.15-11手順1以降）

認識結果内の文字データをコピーするには

最大5000文字までコピーできます。

- すべてコピーするには、認識結果表示画面で [メール][**メニュー**]→**コピー**を選択→ [決定] →[Y!][**全選択**]→ [決定]
- 部分的にコピーするには、認識結果表示画面で [メール][**メニュー**]→**コピー**を選択→ [決定] →コピーしたい文字列の先頭（最後）へカーソルを移動→ [決定] →文字列の最後（先頭）へカーソルを移動→ [決定]

保存したデータを確認する

メインメニューから エンタテイメント ▶ バーコードリーダー ▶ 保存データ一覧

1 データを選択→ [決定]

データのタイトルを変更するには

保存データ一覧でデータを選択→ [メール][**メニュー**]→**名称変更**を選択→ [決定] →タイトルを編集→ [決定]

データを削除するには

保存データ一覧でデータを選択→ [メール][**メニュー**]→**1件削除**を選択→ [決定] →確認画面で [決定]

電子ブックを読む

「ブックサーフィン®」「ケータイ書籍」は電子コミック、電子写真集、電子書籍（小説など）の電子ブックを閲覧するためのビューアです。

- 電子ブックを閲覧するにはコンテンツ・キーが必要な場合があります。
- ブックサーフィン®とケータイ書籍はS!アプリです。
- 各ビューアで閲覧可能なファイル形式は次のとおりです。

ビューア	ファイル形式
ブックサーフィン®	CCF(.ccf)
ケータイ書籍	XMDF(.zbf、.zbk、.zbs)

- ケータイ書籍は、一部PCコンテンツを閲覧できない場合があります。

メインメニューから エンタテイメント

1 **ブックサーフィン**または**ケータイ書籍**を選択→
- 以降の操作方法については、ブックサーフィン®／ケータイ書籍のヘルプを参照してください。

- 一時停止中のS!アプリがあるときはS!アプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。✉**[YES]**を押すと、一時停止中のS!アプリは終了し、ブックサーフィン®／ケータイ書籍が起動します。
- ブックサーフィン®／ケータイ書籍はS!アプリからも起動できます。また、データフォルダ内のブックフォルダに保存されているファイルを選択して を押すと、ファイル形式に応じたビューアが起動して、選択されたファイルを開きます。
- ブックフォルダ内は作品名で表示されますが、いずれのビューアにも対応していないファイル形式のデータは「 」とファイル名で表示されます。
- ブックフォルダ内を表示しているときのオプションメニューについては、P.10-9を参照してください。

機種変更などを行った場合、本体に保存しているCCF/XMDFファイルはメモリカードを使って移動できます。この場合、コンテンツ・キーを再ダウンロードすると閲覧できるようになりますが、コンテンツによっては、CCF/XMDFファイルの再ダウンロードが必要になることもあります。

データ管理

データフォルダについて

本機で撮影した画像やインターネットからダウンロードしたデータは、データフォルダに保存し、管理できます。

- ピクチャー、マイ絵文字、着うた・メロディ、S!アプリ、ミュージック、ムービー、ブック、おなじみ操作、テンプレートの各本体フォルダからインターネットへ直接アクセスし、データをダウンロードできます。

データフォルダの構成

フォルダ名	保存されるデータ	保存できるファイル形式	保存先
ピクチャー	本機で撮影した静止画やダウンロードした静止画など	JPEG(.jpg、.jpeg、.jpe、.jfif)／GIF(.gif)／PNG(.png)／BMP(.bmp)／WBMP(.wbmp)、デジタルカメラフォルダに格納されたJPEG(.jpg)	本体 メモリカード※ デジタルカメラ※
	マイ絵文字フォルダにはダウンロードしたマイ絵文字など	GIF(.gif)、GPK(.gpk)	本体 メモリカード※
着うた・メロディ	ダウンロードした着うたやボイスレコーダーで録音した音声など	SMAF(.mmf)／SP-MIDI(.mid、.midi)／Mobile XMF(.mxmf)、AMR-NB(.amr)、MPEG-4(.3gp、.mp4、.m4a)	本体 メモリカード※
S!アプリ	S!アプリ（☞P.17-1）	Java	本体 メモリカード※
ミュージック	ダウンロードした音楽ファイルなど	MPEG-4(.3gp、.mp4、.m4a)	本体 メモリカード※
ムービー	本機で撮影した動画やダウンロードした動画など	MPEG-4(.3gp、.mp4)	本体 メモリカード※ ビデオカメラ※

フォルダ名	保存されるデータ	保存できるファイル形式	保存先
ブック	ダウンロードした電子コミックなど	CCF(.ccf)／XMDF(.zbf、.zbk、.zbs)	本体 メモリカード※
おなじみ操作	おなじみ操作のコンテンツ（☞P.7-4）	UIE(.uie)	本体 メモリカード※
テンプレート	メールテンプレート（☞P.15-10）	HTML(.hmt)	本体
テキストメモ	テキストメモ（☞P.13-11）	テキスト	本体
Flash(R)	ダウンロードしたFlash®画像ファイル **着信音Flash(R)**フォルダにはダウンロードした着信音Flash®	SWF(.swf)	本体 メモリカード※
その他ファイル	上記以外のファイル	上記以外	本体 メモリカード※

※ メモリカード装着時のみ利用可能

マイ絵文字とは

インターネットからダウンロードできるGIF画像ファイルです。アレンジメール作成時に絵文字として利用できます。（☞P.15-8）

Flash®とは

インターネットからダウンロードできる動画アニメーション（Flash®ファイル）です。壁紙などに設定できます。（☞P.10-10）

着信音Flash®とは、着信音として設定可能な、Flash®ファイルです。（☞P.10-11）

- データフォルダ内の次のフォルダは他のメニューからも操作できます。詳しくはそちらを参照してください。
  - **S!アプリ**：**メインメニュー ▶ S!アプリ**（☞P.17-1）
  - **テンプレート**：**メインメニュー ▶ メール ▶ テンプレート**（☞P.15-10）
  - **テキストメモ**：**メインメニュー ▶ ツール ▶ テキストメモ**（☞P.13-11）
- プログレッシブJPEGは非対応です。

著作権保護ファイルの利用について

ダウンロードした音楽や静止画／動画、電子ブックなどのファイルには、著作権保護設定により、再生や転送、保存などが制限されているものがあります。著作権保護ファイルの利用には、コンテンツ・キーの取得が必要な場合があります。（☞P.10-6）
有効期限や使用可能回数などの著作権保護に関する制限を持つ場合、ファイル情報の詳細（☞P.10-6）で確認できます。

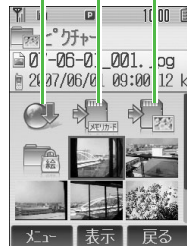
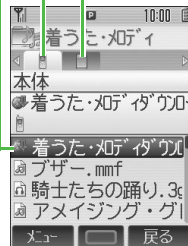
- 著作権保護ファイルには鍵マーク「／（銀色）」が付いています。「」は権利の切れた状態です。
- 本機でダウンロードした著作権保護ファイルは、パソコンではご利用できません。
- 著作権保護ファイルを利用する際に、ネットワーク設定が必要な場合があります。
- 著作権保護ファイルによっては、ダウンロードしたときと同じUSIMカードを使用する必要があります。
- コンテンツ・キーは本体メモリに最大1000件まで保存できます。1つの著作権保護ファイルに対して複数のコンテンツ・キーが保存される場合があります。有効期限が切れたコンテンツ・キーは自動的に削除されます。

データフォルダを表示する

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択→

ピクチャーフォルダとムービーフォルダはサムネイルで表示されます。それ以外のフォルダはリストで表示されます。

- ピクチャーフォルダとムービーフォルダをリスト表示に切り替えるには（☞P.10-5）

例）ピクチャーフォルダ（サムネイル表示）

例）着うた・メロディフォルダ（リスト表示）

10 データ管理

本体メモリとメモリカードの表示切替

- フォルダ内の表示形式がリスト表示の場合、[icon] で**本体**、**メモリカード**、**デジタルカメラ**※1、**ビデオカメラ**※2のタブを切り替えます。
- フォルダ内の表示形式がサムネイル表示の場合、「[icon]」（メモリカード）、「[icon]」（デジタルカメラ）※1、「[icon]」（ビデオカメラ）※2を選択して [icon] を押します。本体メモリに戻るときは、「[icon]」（本体）を選択して [icon] を押します。

※1 ピクチャーフォルダ内のみ
※2 ムービーフォルダ内のみ

ピクチャー／ムービーフォルダ内の表示切替

【お買い上げ時】サムネイル

ピクチャーとムービーフォルダ内のファイルの表示形式をサムネイル表示とリスト表示に切り替えられます。

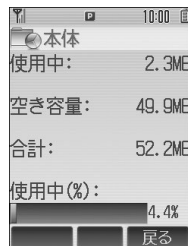
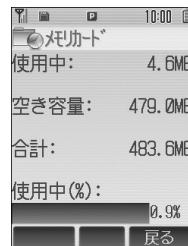
メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャーまたはムービー

1 [icon] **[メニュー]**→**サブ機能**を選択→ [icon]

2 **表示切替**を選択→ [icon] →**サムネイル**または**リスト**を選択→ [icon]

メモリの使用状況を確認する

データフォルダで使用している本体メモリとメモリカードの使用状況を確認できます。

メインメニューから データフォルダ ▶ メモリ容量確認 ▶ 本体またはメモリカード

例）

本体メモリ

メモリカード

補足

メモリカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されています。また、本機は、メモリカードの PRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内にファイルリストを高速に表示するための一時ファイルを作成します。従って、実際にご利用可能な容量は、メモリカードに記載されている容量よりも少なくなります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 →

- 各フォルダ内の表示形式や表示切替について
  （☞P.10-4）

2 ファイルを選択→

ファイルの種類によって、表示または再生されます。

- 音楽や動画ファイルの場合はメディアプレイヤーが起動します。再生中の操作について（☞P.9-7）

補足 着うた・メロディフォルダ内のMPEG-4ファイル以外のファイルは早送り／早戻しはできません。

ファイルの詳細情報を確認するには

ファイルの名前、サイズ、作成日、転送の許可、著作権情報などを確認できます。

- 確認できる詳細は、保存されているフォルダやファイルの種類によって異なります。

手順2でファイルを選択→ **[メニュー]→サブ機能**を選択→ →**プロパティ**を選択→

コンテンツ・キーを取得する

著作権保護ファイルの使用期限が切れている場合、または使用期限が残りわずかな著作権保護ファイルを引き続き使用する場合は、コンテンツ・キーを取得する必要があります。ファイルを開こうとすると警告メッセージが表示されますので、取得する場合は [YES]を押してください。インターネットに接続し、情報画面からコンテンツ・キーの取得手続きができます。

- 著作権保護ファイルの利用について（☞P.10-4）
- 著作権保護ファイルには鍵マーク「／（銀色）」が付いています。「」は権利の切れた状態です。期限切れのファイルはサムネイル表示されずに「」が表示される場合があります。

- ファイルを選択後、**[メニュー]→サブ機能**を選択→ →**コンテンツ・キー取得**を選択→ でもコンテンツ・キーを取得できます。
- 取得したコンテンツ・キーの情報はメモリカードにバックアップして管理できます。（☞P.10-23）
- コンテンツによっては、インターネットに接続しても情報画面からコンテンツ・キーの取得手続きができない場合があります。
- コンテンツ・キーを1000件を超えて取得しようとすると警告メッセージが表示されます。この場合、保存されている不要なコンテンツ・キーを削除してください。削除しない場合、コンテンツ・キーの取得がキャンセルされ、情報料がかかる場合があります。

音楽／動画ファイルを連続して再生する

メインメニューから データフォルダ ▶ 着うた・メロディ、ミュージックまたはムービー

1 [メニュー]→**再生方法**を選択→

2 再生方法を選択→

連続再生	選択したフォルダ内すべての音楽または動画ファイルを繰返し再生します。
ランダム再生	選択したフォルダ内すべての音楽または動画ファイルを無作為に選択して再生します。
1ファイルリピート	選択した1つの音楽または動画ファイルを繰返し再生します。

- 選択した再生方法は再生画面で確認できます。（プレイモードアイコン☞P.9-4）

静止画を等倍で表示する／回転する

■ 静止画を等倍で表示するには

ピクチャーフォルダ内のファイルを開いた状態で **[等倍]** を押すと、静止画を等倍で表示します。等倍表示中に を押すと、表示位置を移動できます。

- 元に戻るには：クリア/メモ
- VGA(640x480)サイズを超える静止画の場合、VGA(640x480)サイズで表示します。

■ 静止画を回転するには

ピクチャーフォルダ内のファイルを開いた状態で **[右回転]** を押すと、右に90度回転して表示します。その後、**[右回転]** で右に90度、**[左回転]** で左に90度回転します。

- 元に戻るには：クリア/メモ

ブックファイルを利用する

ブックフォルダに保存した電子コミックや電子写真集などの電子ブック（CCF／XMDFファイル）は、S!アプリのブックサーフィン®またはケータイ書籍で閲覧できます。ファイルを開くとブックサーフィン®またはケータイ書籍が起動します。以降の操作方法については、ヘルプを参照してください。

- ブックサーフィン®／ケータイ書籍の詳細について（☞P.9-14）

データフォルダでできること

データフォルダの各フォルダ内のファイルを選択中に
✉[メニュー]を押すと、次の操作ができます。

■ ピクチャーフォルダ内のファイルを選択した場合

表示	ファイルを画面に表示します。
送信※1	ファイルをS!メールや赤外線通信、Bluetooth®通信を利用して送信します。(☞P.10-13)
S!メール送信※2	マイ絵文字ファイルをS!メールの本文に挿入します。
登録※1	ファイルを壁紙、アドレス帳のイメージ画像、メインメニューアイコンなどに登録します。(☞P.10-10)
編集※1	リサイズ、フレーム追加、トリミング、スーパークリアシャドウなどでファイルを編集します。(☞P.10-13)
名称変更	ファイルの名称変更をします。(☞P.10-17)
新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。(☞P.10-16)
移動	ファイルを移動します。(☞P.10-18)
コピー	ファイルをコピーします。(☞P.10-18)
削除	フォルダ内のファイルを削除します。(☞P.10-17)
サブ機能	サムネイル/リスト表示の切替※1(☞P.10-5)、コンテンツ・キーの取得※1(☞P.10-6)、メモリカードフォルダ表示、本体フォルダの表示、デジタルカメラフォルダ表示※1、ファイルの詳細表示(☞P.10-6)を行います。

※1 ピクチャーファイルのみ
※2 マイ絵文字ファイルのみ

■ 着うた・メロディ/ミュージック/ムービーフォルダ内のファイルを選択した場合

再生	ファイルを再生します。
送信	ファイルをS!メールや赤外線通信、Bluetooth®通信を利用して送信します。(☞P.10-13)
登録※1	ファイルを着信音(音声、TVコール、メール)やアドレス帳のメロディに登録します。(☞P.10-10)
再生方法	ファイルの再生方法を設定します。(☞P.10-7)
名称変更	ファイルの名称変更をします。(☞P.10-17)
新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。(☞P.10-16)
移動	ファイルを移動します。(☞P.10-18)
コピー	ファイルをコピーします。(☞P.10-18)
削除	フォルダ内のファイルを削除します。(☞P.10-17)
サブ機能	サムネイル/リスト表示の切替※2(☞P.10-5)、コンテンツ・キーの取得(☞P.10-6)、メモリカードフォルダ表示、本体フォルダの表示、ビデオカメラフォルダ表示※2、ファイルの詳細表示(☞P.10-6)を行います。

※1 着うた・メロディ/ミュージックフォルダのみ
※2 ムービーフォルダのみ

ブック／おなじみ操作フォルダ内のファイルを選択した場合

再生※1	ファイルを再生します。
インターネット接続	ファイルに関連付けられた情報画面に接続します。
送信	ファイルをS!メールや赤外線通信、Bluetooth®通信を利用して送信します。（☞P.10-13）
登録※2	ファイルをメニューテーマに登録します。
名称変更	ファイルの名称変更をします。（☞P.10-17）
新規フォルダ作成※1	新しいフォルダを作成します。（☞P.10-16）
移動	ファイルを移動します。（☞P.10-18）
コピー	ファイルをコピーします。（☞P.10-18）
削除	フォルダ内のファイルを削除します。（☞P.10-17）
サブ機能	コンテンツ・キーの取得（☞P.10-6）、メモリカードフォルダ表示、本体フォルダの表示、ファイルの詳細表示（☞P.10-6）を行います。

※1 ブックフォルダのみ
※2 おなじみ操作フォルダのみ

Flash(R)フォルダ内のファイルを選択した場合

再生	ファイルを再生します。
送信	ファイルをS!メールや赤外線通信、Bluetooth®通信を利用して送信します。（☞P.10-13）
壁紙登録※1	ファイルを壁紙に登録します。（☞P.10-10）
登録※2	ファイルを着信音（音声、TVコール）やアドレス帳のメロディに登録します。（☞P.10-10）
名称変更	ファイルの名称変更をします。（☞P.10-17）
新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。（☞P.10-16）
移動	ファイルを移動します。（☞P.10-18）
コピー	ファイルをコピーします。（☞P.10-18）
削除	フォルダ内のファイルを削除します。（☞P.10-17）
サブ機能	コンテンツ・キーの取得（☞P.10-6）、メモリカードフォルダ表示、本体フォルダの表示、ファイルの詳細表示（☞P.10-6）を行います。

※1 Flash®ファイルのみ
※2 着信音Flash®ファイルのみ

■ その他フォルダ内のファイルを選択した場合

移動	ファイルを移動します。(☞P.10-18)
コピー	ファイルをコピーします。(☞P.10-18)
削除	ファイルを削除します。(☞P.10-17)
名称変更	ファイルの名称変更をします。(☞P.10-17)
新規フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。(☞P.10-16)
サブ機能	メモリカードフォルダ表示、本体フォルダの表示、ファイルの詳細表示(☞P.10-6)を行います。

ファイルの利用

データフォルダに保存されているファイルを壁紙、着信音、アドレス帳のイメージ画像やメロディ、メインメニューアイコンなどに利用できます。S!メールや赤外線通信、Bluetooth®通信を利用してファイルを送信することもできます。

注意　著作権保護ファイルについて

- 著作権保護ファイルを壁紙や着信音、アドレス帳のイメージ画像やメロディ、メインメニューアイコンに設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別のUSIMカードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
- 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、壁紙や着信音、アドレス帳のイメージ画像やメロディ、メインメニューアイコンに設定できません。

壁紙に設定する

メインメニューから **データフォルダ**
▶ **ピクチャー**または**Flash(R)**

1 ファイルを選択→✉**[メニュー]**

2 **ピクチャーフォルダから選択する場合**
登録を選択→● →**壁紙**を選択→●

Flash(R)フォルダから選択する場合
壁紙登録を選択→●

着信音に設定する

メインメニューから データフォルダ

1 **着うた・メロディ／ミュージックフォルダから選択する場合**

着うた・メロディまたは**ミュージック**を選択→

Flash(R)フォルダから選択する場合

Flash(R)を選択→ →**着信音Flash(R)**を選択→

2 ファイルを選択→[**メニュー**]→**登録**を選択→

3 **音声着信音**、**TVコール着信音**または**メール着信音**を選択→

- 着信音Flash®は**メール着信音**には登録できません。

アドレス帳に登録する

本体アドレス帳に静止画や音楽ファイルを登録できます。

- 表示切替が**USIM**に設定されている場合は登録できません。（☞P.4-10）

アドレス帳に静止画を登録する

アドレス帳に静止画を登録した相手から電話がかかると、登録した静止画が画面に表示されます。

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[**メニュー**]→**登録**を選択→

2 **アドレス帳イメージ登録**を選択→

アドレス帳画面になります。

3 登録するアドレス帳を選択→

- 画像サイズが大きい場合は、リサイズする旨のメッセージが表示されます。リサイズする場合は、→ファイル名を入力→→新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

4 [**保存**]

アドレス帳に音楽ファイルを登録する

アドレス帳に音楽ファイルを登録した相手から電話やメールを受けると、登録した音楽が着信音として鳴ります。

メインメニューから **データフォルダ**

1 着うた・メロディ／ミュージックフォルダから選択する場合

着うた・メロディまたは**ミュージック**を選択→

Flash(R)フォルダから選択する場合

Flash(R)を選択→ →**着信音Flash(R)**を選択→

2 ファイルを選択→[**メニュー**]→**登録**を選択→

3 **アドレス帳メロディ登録**を選択→

アドレス帳画面になります。

4 登録するアドレス帳を選択→

音声着信音（ ）、TVコール着信音（ ）、メール着信音（ ）の設定内容が表示されます。

- 着信音Flash®は**メール着信音**には登録できません。

5 登録したい着信音を選択→ →[**保存**]

メインメニューアイコンに設定する

静止画をメインメニューのアイコンに設定できます。

メインメニューから **データフォルダ ▶ ピクチャー**

1 ファイルを選択→[**メニュー**]→**登録**を選択→

2 **メインメニューアイコン**を選択→

3 メインメニューの背景を変更する場合

一括変更を選択→

メインメニューのアイコンを個別に変更する場合

個別変更を選択→ → でアイコンを選択→

- 他のアイコンに同じ画像を設定する場合： でアイコンを選択→

4 [**戻る**]

ファイルを送信する

データフォルダ内のファイルをS!メールに添付して送信したり、赤外線通信やBluetooth®通信を利用して、各通信の対応機（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

- 赤外線通信について（☞P.11-2）
- Bluetooth®通信について（☞P.11-4）

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択→ [決定]

2 ファイルを選択→[✉][メニュー]→**送信**を選択→ [決定]

3 **S!メールに添付する場合**
S!メールを選択→ [決定] →宛先など他の項目を入力し、S!メールを送信する（☞P.15-6手順1以降）

赤外線通信で送信する場合
赤外線通信を選択→ [決定]

Bluetooth®通信で送信する場合
Bluetoothを選択→ [決定]

静止画の編集

データフォルダに保存されている静止画を壁紙やアドレス帳用の画像などのサイズに変更できます。また静止画にフレーム（枠）を付けることができます。

画像サイズについて

リサイズやトリミングで変更できるサイズは、次のとおりです。

サイズ	説明
フリーサイズ※	お好みのサイズ
QQVGA (160x120)	アドレス帳のイメージ画像のサイズ
壁紙(240x320)	壁紙のサイズ
メインメニュー (80x76)	メインメニューアイコンのサイズ

※ リサイズの場合は選択できません。

サイズを変更する（リサイズ）

静止画を拡大／縮小してサイズを変更します。

● 画像サイズについて（☞P.10-13）

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[メニュー]→**編集**を選択→→**リサイズ**を選択→

2 画像サイズを選択→

リサイズされた画像が表示されます。

● リサイズをやり直すには：**[戻る]**

3 →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

切り出しをする（トリミング）

静止画の一部をお好みの範囲で切り出せます。

● 画像サイズについて（☞P.10-13）

固定サイズに切り出す

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[メニュー]→**編集**を選択→→**トリミング**を選択→

2 **QQVGA(160x120)**、**壁紙（240x320）**または**メインメニュー（80x76）**を選択→

画像上に切り出す部分を示す枠が表示されます。

3 で枠を切り出す部分へ移動→

トリミングされた画像が表示されます。

● トリミングをやり直すには：**[戻る]**

4 →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

好みの大きさに切り出す

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1. ファイルを選択→[メニュー]→**編集**を選択→→**トリミング**を選択→→**フリーサイズ**を選択→

2. で「┌」を切り出す部分の左上角に移動させる→

画像上に切り出す部分を示す枠が表示されます。

3. で切り出す部分を調節→

トリミングされた画像が表示されます。

- トリミングをやり直すには：**[戻る]**

4. →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

枠を付ける（フレーム）

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1. ファイルを選択→[メニュー]→**編集**を選択→→**フレーム追加**を選択→

2. **フレーム1～5**から選択→

フレームが付いた画像が表示されます。

- フレームを付け直すには：**[戻る]**、または で画像を表示させたままフレームだけを切り替えられます。

3. →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

影をとる（スーパークリアシャドウ）

静止画の影の部分を明るくします。

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[メニュー]→**編集**を選択→ →**スーパークリアシャドウ**を選択→

処理された画像が表示されます。

● 保存しない場合：**[戻る]**

2 →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

10 データ管理

フォルダ／ファイルの管理

新しいフォルダを作成する

ピクチャー、着うた・メロディ、ミュージック、ムービー、ブック、Flash(R)、その他ファイルの各フォルダに、新しいフォルダを作成できます。

● ピクチャー、着うた・メロディ、ミュージック、ムービー、ブック、Flash(R)、着信音Flash(R)の各フォルダは本体フォルダに10個まで、その他ファイルフォルダは本体フォルダに100個まで新しいフォルダを作成できます。

● 1つのフォルダ内に同じ名前のフォルダ／ファイルは作成できません。

● デジタルカメラ、ビデオカメラ、S!アプリ、テキストメモ、マイ絵文字、おなじみ操作、テンプレートの各フォルダ内に新しいフォルダは作成できません。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択→ →[メニュー]→**新規フォルダ作成**を選択→

2 フォルダ名を入力→

フォルダ名／ファイル名を変更する

- 自分で新規作成したフォルダ／ファイルのみ名前を変更できます。
- 同じ階層に2つ以上同じフォルダ名／ファイル名を付けることはできません。
- デジタルカメラフォルダ、ビデオカメラフォルダ、S!アプリフォルダ内のフォルダ名／ファイル名は変更できません。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択→

2 フォルダまたはファイルを選択→ **[メニュー]**→**名称変更**を選択→

3 フォルダ／ファイル名を入力→

フォルダ／ファイルを削除する

- 自分で新規作成したフォルダのみ削除できます。
- ファイルの種類によっては削除できないものがあります。
- フォルダの複数選択はできません。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択→

2 フォルダまたはファイルを選択→ **[メニュー]**→**削除**を選択→

3 **1件ずつ削除する場合**

1件を選択→ →確認画面で **[YES]**

複数選択して削除する場合

複数選択を選択→ →（ファイルを選択→ ）※→ **[メニュー]**→**削除**を選択→ →確認画面で **[YES]**

※ 選択されたファイルに「 」が付きます。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 を押すと選択が解除され、チェックマークが消えます。）

- すべてのファイルを選択／選択解除するには：ファイルを選択中に **[メニュー]**→**全件選択**または**全件選択解除**を選択→

10 データ管理

フォルダ内のフォルダ／ファイルをすべて削除する場合

全件を選択→ [center key] →確認画面で [mail key] **[YES]**→ コンテンツ・キー削除の確認画面で [mail key] **[YES]** または [Y! key] **[NO]**→操作用暗証番号（4桁）を入力→ [center key]

● 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

ファイルを移動／コピーする

● コピー／転送不可ファイルはコピーできません。
● お買い上げ時に登録されているS!アプリには移動できないものもあります。
● デジタルカメラフォルダに移動／コピーできるのは、本体に保存されているJPEGファイルのみです。
● ビデオカメラフォルダに移動／コピーできるのは、本体に保存されているムービーファイルのみです。
● その他ファイルフォルダでは著作権保護ファイルのコピーができますが、著作権の認識は行いません。
● ファイルの種類やデータの内容によっては、移動／コピーできないことがあります。
● 転送不可ファイルは、ネットワーク自動調整（☞P.1-18）を行うと移動できる場合があります。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択→ [center key]

2 ファイルを選択→ [mail key] **[メニュー]**→**移動**または**コピー**を選択→ [center key]

3 **1件ずつ移動／コピーする場合**
1件を選択→ [center key]

複数選択して移動／コピーする場合
複数選択を選択→ [center key] →（ファイルを選択→ [center key] ）※→ [mail key] **[メニュー]**→**移動**または**コピー**を選択→ [center key]

※ 選択されたファイルに「☑」が付きます。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 [center key] を押すと選択が解除され、チェックマークが消えます。）

● すべてのファイルを選択／選択解除するには：
ファイルを選択中に [mail key] **[メニュー]**→**全件選択**または**全件選択解除**を選択→ [center key]

フォルダ内のファイルをすべて移動／コピーする場合
全件を選択→ [center key]

4 移動先／コピー先のフォルダを選択→ [center key]

- メモリカードから本体メモリへ移動／コピーした直後の著作権保護ファイルはサムネイルで表示されないことがあります。その場合は、ファイルを1度再生／画面表示すると、サムネイルで表示されるようになります。
- メモリカードとの間でコピー／移動したファイルは、ファイルの種類やデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 本機は、メモリカードの PRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内にファイルリストを高速に表示するための一時ファイルを作成するため、移動／コピー可能なファイルサイズは実際のメモリカードに記載された容量よりも少なくなる場合があります。

メモリカードの利用

本機はmicroSDカードに対応しています。

- 「microSDカード」を、以降「メモリカード」と記載いたします。
- メモリカードへのデータ保存方法については、本章では記載していません。各機能の説明部分を参照してください。
- 本機では32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512Mバイト／1Gバイト／2Gバイトのメモリカードに対応しています。松下、東芝、サンディスク社製について動作確認しています。（2007年6月現在、松下製：1Gバイトまで、東芝製：1Gバイトまで、サンディスク製：2Gバイトまでの動作確認を行っております。）ただし、各社のメモリカードの動作を保証するものではありません。
- 市販のmicroSDカードを使用するときは、本機でフォーマットしてください。（☞P.10-21）

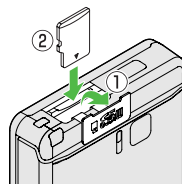
● メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。
● メモリカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されています。また、本機は、メモリカードのPRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内にファイルリストを高速に表示するための一時ファイルを作成します。従って、実際にご利用可能な容量は、メモリカードに記載されている容量よりも少なくなります。

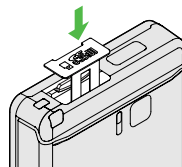
メモリカードを取り付ける／取り外す

● 必ず電源を切った状態で行ってください。

取り付ける

1 メモリカードスロットのカバーを開け、図の向きでメモリカードを差し込む

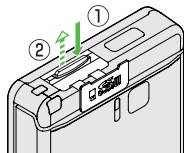
● 「カチッ」と音がするまでゆっくり奥に差し込みます。

2 カバーを閉じる

● 上から「カチッ」と音がするまで押さえます。

正常に取り付けが完了したかどうか確認する

正常に取り付けが完了した場合は、電源を入れると「 」が表示されます。「 」が表示された場合はメモリカードを使用できません。メモリカードを取り外して、再度取り付けてください。再度取り付けても「 」が表示される場合は、メモリカードチェック（☞P.10-22）またはメモリカードのフォーマット（☞P.10-21）を行ってください。（その他のアイコン表示について☞P.1-9）

取り外す

1 メモリカードスロットのカバーを開け、メモリカードを指先で軽く押し込む

- 軽く押し込んでから手を離すと、メモリカードが少し飛び出てきます。

2 メモリカードを取り出し、カバーを閉じる

- カバーを閉じるには（☞左記）

- 「 」が点滅しているときに、電源を切ったりメモリカードや電池パックを取り外したりしないでください。メモリカードが故障したりデータが壊れたり不正なファイルが作成される可能性があります。
- 取り付け／取り外しを行うときに、メモリカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

- フォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。

メインメニューから 設定 ▶ メモリカード管理 ▶ メモリカードフォーマット

1 確認画面で →操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

フォーマットが正常に行われなかった場合は、本機の電源を切ってメモリカードを取り外し、もう一度取り付けてから再度フォーマットしてみてください。

- フォーマット中は、絶対に電源を切ったりメモリカードや電池パックを取り外したりしないでください。メモリカードまたは本機が故障する恐れがあります。
- パソコンなどの他機器でフォーマットしたメモリカードは、本機では使用できないことがあります。使用できる場合でも、動作が遅くなったりメモリカードの寿命を縮めることがあります。必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 非対応のメモリカードはフォーマットできません。

保存されているデータを確認する

メモリカード内のファイルはデータフォルダから確認できます。本体メモリとメモリカードの表示切替については、「データフォルダを表示する」（☞P.10-4）を参照してください。

- メモリカードに保存したファイルやフォルダは、1フォルダあたり1000件までしか表示されません。1001件目以降のファイルやフォルダを表示するには、不要なファイルを削除してから電源を入れ直してください。削除したファイルの数だけ、かくれていたファイルやフォルダが表示されます。
- ファイル名／フォルダ名が32文字を超えるデータや拡張子が6文字を超えるファイルは表示されません。
- 本機で非対応のファイル形式（拡張子）のファイルは表示されないことがあります。

メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用量や空き領域などを確認できます。

- 操作についてはP.10-5を参照してください。

メモリカードチェック

メモリカードに保存されているデータに不具合が生じたとき、メモリカードチェックによってデータを修復できることがあります。

メインメニューから **設定** ▶ **メモリカード管理** ▶ **メモリカードチェック**

1 確認画面で

注意

- メモリカードチェック中は、絶対に電源を切ったりメモリカードや電池パックを取り外したりしないでください。メモリカードまたは本機が故障する恐れがあります。
- 非対応のメモリカードやフォーマットが正しく行われていないメモリカードはメモリカードチェックできません。
- メモリカードチェックで修復できなかったファイルやフォルダは削除されることがあります。

メモリカードにデータをバックアップする

本体からメモリカードへデータをバックアップできます。バックアップしたファイルはメモリカードから本体に読み込むこともできます。

バックアップできるデータ

アドレス帳	本体のアドレス帳をバックアップできます。 ● シークレットモードの設定にかかわらず、すべてのアドレス帳データがバックアップされます。 ● 着信音やイルミネーション、画像などの設定内容はバックアップ／読み込みともにできません。
メール	受信ボックス、下書き、送信済みボックス、未送信ボックスをそれぞれバックアップできます。 ● S!メール通知は通常のS!メールとして読み込まれます。読み込み後は続き受信などの操作はできません。 ● 受信ボックスのメールデータの読み込みを行うと、すべて受信メールフォルダに格納されます。
カレンダー	カレンダーに登録しているスケジュールをバックアップできます。 ● スケジュール通知、スケジュール通知音、イルミネーションなどの設定内容はバックアップ／読み込みともにできません。 ● 本機に登録できる日時（☞P.13-4）の範囲外のスケジュールは、読み込みを行っても登録されません。 ● 開始日時のないスケジュールの読み込みはできません。
ブックマーク	Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザ両方のブックマークをバックアップできます。
コンテンツ・キー	取得したコンテンツ･キーをバックアップできます。 ● 有効期限や使用可能回数に制限があるコンテンツ・キーはバックアップできません。 ● 機種変更などを行う場合、メモリカードからコンテンツ・キーを読み込めるのは対応機種のみです。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。 ● 読み込むときは、バックアップ時に装着されていたUSIMカードが必要となります。 ● コンテンツ・キーの転送はコピーではなく移動です。バックアップしたコンテンツ・キーは本体内からはなくなります。また、読み込んだコンテンツ・キーはメモリカードからはなくなります。本体から移動したコンテンツ・キーを必要とする著作権保護ファイルは再生できなくなります。再び読み込んで元に戻すと再生可能になります。 ● 2回以上バックアップすると前回バックアップしたファイルは上書きされますのでご注意ください。1回バックアップしたあとに新しく取得したコンテンツ・キーも合わせてバックアップしたい場合、前回のバックアップファイルをいったん本体に転送し、再度バックアップすると、すべてのコンテンツ・キーをバックアップできます。

バックアップ／読み込み時のご注意

- 電池残量が少ないときは利用できません。バッテリーを交換するか、充電してからご利用ください。
- バックアップや読み込み中はオフラインモードになります。完了するまで電話やメールは利用できません。（着信もできません。）オフラインモード中にバックアップや読み込みを行った場合は、完了してもオフラインモードは解除にはなりません。
- コンテンツ・キー以外のデータを読み込む場合は、本体内の選んだ種類のデータをすべて消去してから読み込みを開始します。あらかじめ本体内のデータをバックアップしておくことをおすすめします。
- アドレス帳、メール、スケジュール、ブックマークのデータの内容によっては、それぞれの条件以外にも読み込めないことがあります。また、データの内容を自動的に修正して読み込むことがあります。
- 他のソフトバンク携帯電話でバックアップしたデータを本機で読み込んだ場合、データの項目や長さによっては、読み込めなかったりデータの一部が欠落することがあります。

メモリカードにバックアップする／メモリカードから読み込む

- 事前にメモリカードの空き容量を確認してください。（☞P.10-5）

メインメニューから **設定** ▶ **メモリカード管理** ▶ **メモリカードバックアップ**

1 操作用暗証番号（4桁）を入力→ ●

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

2 項目を選択→ ●

- **メール**を選択した場合は、さらにメールボックスの種類を選択して ● を押します。

3 **バックアップする場合**

メモリカードへコピーまたは**メモリカードへ移動**を選択→ ● →確認画面で ● →確認画面で ●

- **メモリカードへ移動**は、コンテンツ・キーをバックアップする場合のみ表示されます。

読み込む場合

本体へ上書コピーまたは**本体へ移動**を選択→ ● →確認画面で ● →ファイルを選択→ ● →確認画面で ●

- **本体へ移動**は、コンテンツ・キーを読み込む場合のみ表示されます。

- ファイル名でバックアップした日付がわかります。
  例）07121500.vcf：2007年12月15日に初めてバックアップしたファイル名

バックアップファイルを削除するには

手順3で**本体へ上書コピー**を選択→ ● →確認画面で ● →削除したいファイルを選択→ ✉ **[メニュー]** →**削除**を選択→ ● →確認画面で ●

- コンテンツ・キーのバックアップファイルは削除できません。

メモリカードを使ってパソコンなどとデータをやりとりする

本体からメモリカードに保存されたデータは次のようにフォルダ管理されています。

● パソコンなどでメモリカードにデータを書き込んで本機で利用する場合は、PRIVATE - MYFOLDER - My Itemsフォルダ内のフォルダに保存します。データの種類によって保存するフォルダを選択してください。データの利用については、ファイルの利用（☞P.10-10）などを参照してください。

DCIM					● 保存先をメモリカードに設定して撮影した静止画 ● 本体メモリからデジタルカメラへ移動／コピーした静止画
PRIVATE	MYFOLDER	Utility	Calendar	Calendar.BCK	スケジュールのバックアップ
			Contacts	Contacts.BCK	アドレス帳のバックアップ
			Rights		コンテンツ・キーのバックアップ
		Mail	Drafts	Drafts.BCK	メールの下書きのバックアップ
			Inbox	Inbox.BCK	受信ボックスのバックアップ
			Outbox	Outbox.BCK	未送信ボックスのバックアップ
			Sent Messages	Sent Messages.BCK	送信済みボックスのバックアップ
		My Items	Book		電子ブックなど
			Bookmarks	Bookmarks.BCK	ブックマークのバックアップ
			Custom Screens		おなじみ操作のデータ
			Flash(R)		Flash®
			Flash(R) Ringtones		着信音Flash®
			Games and More		S! アプリ
			Music		拡張子が次のいずれかの音楽ファイル .3gp、.mp4、.m4a
			Other Documents		その他のファイル
			Pictograms		マイ絵文字

PRIVATE	MYFOLDER	My Items	Pictures	本体メモリからメモリカードのメインフォルダへ移動・コピーした静止画
			Sounds & Ringtones	拡張子が次のいずれかの音楽ファイル .3gp、.mp4、.m4a、.mid、.midi、.amr、.mmf、.mxmf
			Videos	本体メモリからメモリカードのメインフォルダへ移動／コピーした動画
			Virtual Space	S!タウンの機能などを拡張するS!アプリ
SD_VIDEO				● 保存先をメモリカードに設定して撮影した動画 ● 本体メモリからビデオカメラへ移動／コピーした動画

- 本機は、メモリカードのPRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMPフォルダ内に一時ファイルを作成します。メモリカード挿入時にこのフォルダ内に保存されたファイルやフォルダはすべて削除されますので、このフォルダ内にパソコンなどでファイルやフォルダを保存しないでください。
- 本機で認識できるフォルダ階層はPRIVATE - MYFOLDER - My Itemsフォルダ内の各保存先フォルダ（Musicフォルダなど）内で1階層までです。
- DCIMフォルダ内に同じ番号のフォルダやファイルが存在する場合、本機ではそれらのフォルダやファイルを表示できません。

通信・外部接続

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

アドレス帳やスケジュール、メール、ブックマーク、撮影した画像などのデータを他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。

- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、送受信できないデータがあります。

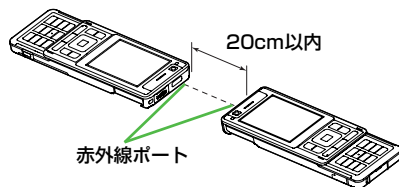
赤外線通信で送受信できるデータ

アドレス帳	アドレス帳の登録を1件ずつ送受信します。 ● 着信音やイルミネーション、画像、グループ、シークレットなどの設定内容は送受信できません。
カレンダー（スケジュール）	カレンダーに登録しているスケジュールを1件ずつ送受信します。 ● スケジュール通知、スケジュール通知音、イルミネーションなどの設定内容は送受信できません。 ● 本機に登録できる日時（☞P.13-4）の範囲外のスケジュールは、受信しても登録されません。 ● 開始日時のないスケジュールは受信できません。
データフォルダ内のファイル	画像や音楽など、データフォルダに保存されているファイルを1件ずつ送受信します。 ● 著作権保護ファイルは送受信できない場合があります。
メール	メールを1件ずつ送受信します。 ● 受信ボックス、下書き、送信済みボックス、未送信ボックス内のメールを送信できます。
ブックマーク	ブックマークを1件ずつ送受信します。

- 受信したアドレス帳、スケジュール、メール、ブックマークのデータの内容によっては、それぞれの条件以外にも登録できないことがあります。また、データの内容を自動的に修正して登録することがあります。
- データ受信中に本機に保存できるそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。（メモリ容量一覧☞P.20-24）

赤外線通信利用時の注意

- 赤外線ポートが汚れていると、通信失敗の原因になることがあります。汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布でふいてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 通信中やメールの送受信中、インターネット利用中は、赤外線通信を利用できません。

- 本機と赤外線通信対応機器の赤外線ポートを20cm以内に近づけてください。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにし、データの送受信が終わるまで動かさないでください。また、間に物を置かないようにしてください。

赤外線通信を使ってデータを送受信する

- 赤外線通信で送受信できるデータについて（☞P.11-2）

データを送信する

1 送信するデータを選択→[メール]**[メニュー]**→**送信**または**外部機器送信**を選択→[決定]

2 受信側をデータ受信待機状態にする

3 **赤外線通信**を選択→[決定]

データの送信を開始します。

データを受信する

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ 赤外線通信 ▶ ON

1 [HLD] で待受画面に戻る

「[赤外線]」が表示され、待機状態になります。3分以内に送信側からデータを送信してください。

2 受信が始まると、データ受信の確認画面が表示される

ファイル名とサイズが表示されます。

3 受信を開始するには [決定]

4 **データフォルダ内に登録されるデータを受信する場合**

本体または**メモリカード**を選択→[決定]

データの受信を開始します。

アドレス帳／スケジュールデータを受信した場合

[メール]**[保存]**

メール／ブックマークデータを受信した場合

メールはメールフォルダへ、ブックマークはブックマークリストへ自動的に保存されます。

- 待受画面以外ではデータの受信はできません。
- 待機状態で3分以内にデータを受信しなかったり、本機の電源を切ると、待機状態が解除されます。

Bluetooth®

アドレス帳やスケジュール、メール、ブックマーク、撮影した画像などのデータを、Bluetooth®通信を利用して他の対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。また、Bluetooth®通信対応のハンズフリー機器が利用できます。本機をパソコンの外部モデムのように使って、インターネットに接続することもできます。

Bluetooth®通信をご利用になる前に

本機のBluetooth®の主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver 1.2
対応プロファイル※1	HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) OPP (Object Push Profile) SPP (Serial Port Profile) DUN (Dial-up Network Profile)
出力	Bluetooth® Power Class2
使用周波数帯※2	2.4GHz (2.402GHz～2.480GHz)
通信距離※3	約10 m

※1　Bluetooth®を利用して接続するには、相手機器もBluetooth®対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。

※2　Bluetooth®対応機器が使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。

※3　機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などにより変化します。

Bluetooth®通信で送受信できるデータ

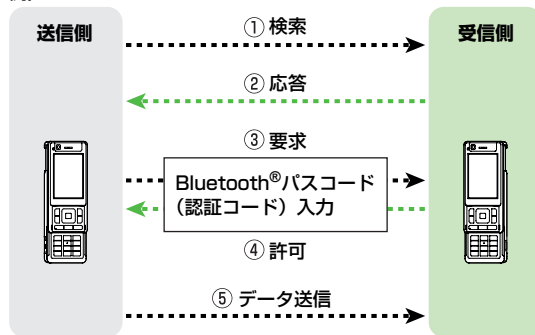
アドレス帳	アドレス帳の登録を1件ずつ送受信します。 ● 着信音やイルミネーション、画像、グループ、シークレットなどの設定内容は送受信できません。
カレンダー（スケジュール）	カレンダーに登録しているスケジュールを1件ずつ送受信します。 ● スケジュール通知、スケジュール通知音、イルミネーションなどの設定内容は送受信できません。 ● 本機に登録できる日時（☞P.13-4）の範囲外のスケジュールは、受信しても登録されません。 ● 開始日時のないスケジュールは受信できません。
データフォルダ内のファイル	画像や音楽など、データフォルダに保存されているファイルを1件ずつ送受信します。 ● 著作権保護ファイルは送受信できない場合があります。
メール	メールを1件ずつ送受信します。 ● 受信ボックス、下書き、送信済みボックス、未送信ボックス内のメールを送信できます。
ブックマーク	ブックマークを1件ずつ送受信します。

- 受信したアドレス帳、スケジュール、メール、ブックマークのデータの内容によっては、それぞれの条件以外にも登録できないことがあります。また、データの内容を自動的に修正して登録することがあります。
- データ受信中に本機に保存できるそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。（メモリ容量一覧☞P.20-24）

Bluetooth®通信利用時の注意

- 本機はすべてのBluetooth®対応機器との接続／動作を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth®機器は、Bluetooth®SIGの定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth®機器が上記Bluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使いかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth®接続について

Bluetooth®対応機器と接続するときは、受信側のBluetooth®機能を有効にしておく必要があります。送信側からの接続要求を受け、受信側が接続許可を送ると接続が完了します。接続時にBluetooth®パスコード（認証コード）が必要な場合があります。
接続するまでの動作の流れは次のようになります。
例）

Bluetooth®パスコード（認証コード）について

Bluetooth®パスコードはBluetooth®対応機器どうしを接続するための専用認証コード（4～16桁の数字）です。機器登録を行うときには、受信側／送信側とも同じパスコードを入力する必要があります。

- すでに登録済みの機器の場合、パスコードの入力は必要ありません。

補足　送信側から認証要求を受ける場合は、本機を公開しておく必要があります。（☞P.11-7）

Bluetooth®機能を有効／無効にする

【お買い上げ時】OFF

データを受信するときやハンズフリー機器などと接続するときには、ONに設定してください。

- **ON**に設定すると、「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ON/OFF

1 **ON**（有効）または**OFF**（無効）を選択→

Bluetooth®対応機器を検索して登録する

近くにあるBluetooth®対応機器を検索し、接続します。接続した機器は自動的に登録済みデバイスリストに登録されます。

- 登録した機器は、次回からBluetooth®パスコード（認証コード）を入力する必要がなくなります。
- 一度に最大20件まで検索でき、最大10件まで登録済みデバイスリストに登録できます。
- 登録する機器のBluetooth®機能を有効にしておいてください。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

1 **周辺デバイス検索**を選択→

検索が始まり、本機に応答してきた機器の機器種別アイコンと機器名称が表示されます。

- 機器種別アイコンは次のとおりです。

パソコン	ヘッドセット	PDA
携帯電話など	カーキット	その他

- 再度検索するには：[**メニュー**]→**検索**を選択→

2 機器を選択→

3 Bluetooth®パスコード（4～16桁の数字）を入力→

- 30秒以内に相手側で同じパスコードを入力すると、登録が完了します。
- 相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められているパスコードを入力すると、登録が完了します。

登録が完了すると、機器種別アイコンに「 」のようにペアリングマークが付きます。

登録済みの機器をリストから削除するには

削除したい機器を選択→[メニュー]→**削除**を選択→ → 確認画面で

登録した機器からの自動接続を承認するには

[メニュー]→**自動接続承認**を選択→

- 自動接続を承認すると、機器種別アイコンに「」のようにチェックマークが付きます。
- 自動接続を承認した機器からデータを受信すると、接続要望画面は表示されず、直接受信確認画面が表示されます。

■ オプションメニュー

登録済みデバイスリスト上で機器を選択して [メニュー]を押すと、次の操作ができます。

周辺デバイス検索	近くにあるBluetooth®対応機器を検索します。
自動接続承認／自動接続未承認	選択した機器からの自動接続を承認する／承認しないを切り替えます。
接続／切断	選択した機器と接続／切断します。
名称変更	選択した機器の、登録済みデバイスリストに表示される機器名を変更します。
削除	選択した機器を登録済みデバイスリストから削除します。
対応プロファイル	選択した機器のプロファイル情報を確認します。

登録済み機器を確認する

メインメニューから **設定** ▶ **外部接続** ▶ **Bluetooth** ▶ **登録済みデバイス**

登録済み機器のリストが表示されます。

- オプションメニューについて（☞左記）

本機を公開する

【お買い上げ時】常時公開

他のBluetooth®対応機器が周辺デバイス検索を行ったときに、本機の機器名を公開するかどうかを設定します。

メインメニューから **設定** ▶ **外部接続** ▶ **Bluetooth** ▶ **設定** ▶ **公開設定**

1 **常時公開**、**5分間だけ公開**または**公開しない**を選択→

Bluetooth®通信でデータを送受信する

- Bluetooth®通信で送受信できるデータについて（☞P.11-4）

データを送信する

1 送信するデータを選択→[✉][**メニュー**]→**送信**または**外部機器送信**を選択→[●]→**Bluetooth**を選択→[●]

登録済みデバイスリストが表示されます。登録済みデバイスリストがない場合は、検索が自動的に開始されます。

2 受信側をデータ受信待機状態にする

3 送信先を選択→[●]

データの送信を開始します。

- まだ登録していない機器を選択した場合：Bluetooth®パスコード（4～16桁の数字）を入力→[●]→30秒以内に相手側で同じパスコードを入力→登録が完了し、送信を開始します。

データを受信する

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ON/OFF ▶ ON

1 [HLD]で待受画面に戻る

「[Bluetooth]」が表示され、待機状態になります。

2 送信側が送信の操作を行うと、接続要望画面が表示される

3 接続要望を許可するには[●]

ファイル名とサイズが表示されます。

4 受信を開始するには[●]

5 **データフォルダ内に保存されるデータを受信する場合**

本体または**メモリカード**を選択→[●]

データの受信を開始します。

アドレス帳／スケジュールデータを受信した場合

[✉][**保存**]

メール／ブックマークデータを受信した場合

メールはメールフォルダへ、ブックマークはブックマークリストへ自動的に保存されます。

11 通信・外部接続

- 送信側が本機を検索／登録できない場合は、公開設定を確認してください。（☞P.11-7）
- 自動接続を承認した機器（☞P.11-7）からデータを受信した場合は、接続要望画面は表示されません。
- 相手機器からの受信動作は、待受画面以外では受け付けられません。また、キー操作ロック設定中やソフトウェア更新中も、受け付けられません。

Bluetooth®を使って外部機器と接続する

ハンズフリー対応機器などと接続する

- あらかじめハンズフリー機器などを登録しておいてください。（☞P.11-6）

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済みデバイス

1 機器を選択→ [接続]

接続が完了すると、機器種別アイコンに「」のように接続中マークが付きます。

- 接続を解除するには： [切断]

- ハンズフリー機器使用時に、操作をしなくても自動的に電話の着信に応答できるように設定できます。（自動応答☞P.8-4）
- 電話発信ができるハンズフリー機器から発信するときは、待受画面で行ってください。

Bluetooth®通信を使ってダイヤルアップ接続をする

Bluetooth®通信対応機器とBluetooth®通信を行い、本機を外部モデムのように使ってインターネットに接続できます。Bluetooth®通信対応機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

- あらかじめ相手のBluetooth®通信対応機器を登録しておいてください。（☞P.11-6）

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ON/OFF ▶ ON

1 HLD で待受画面に戻る

「」が表示され、待機状態になります。

2 相手側が接続の操作を行うと、接続要望画面が表示される

3 接続要望を許可するには

接続が開始されます。

接続要望許可後の相手機器からのダイヤルアップ接続は、待受画面以外（メインメニュー画面やその他のメニュー表示画面）でも可能です。

11 通信・外部接続

パソコンからのインターネット接続について
パソコンから本機を経由してインターネット接続する場合、パソコンに「810P Bluetooth-Handset Manager」をインストールする必要があります。

- ご利用いただけるパソコンの動作環境やインストール手順などの詳細については、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているセットアップガイドを参照してください。
- インターネット接続の確立については、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているヘルプを参照してください。
- データ通信を開始する前に、本機のアプリケーションをすべて終了させてください。

Bluetooth®の設定

デバイス名の変更

【お買い上げ時】810P

公開時に相手機器に表示される本機のデバイス名を変更します。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ デバイス名

1 デバイス名を入力→

補足　絵文字をデバイス名として使用することはできません。

ハンズフリー設定

【お買い上げ時】ハンズフリーモード

ハンズフリー機器接続時に、本機の操作で発信したり着信に応答した場合の通話方法を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ハンズフリー設定

1 項目を選択→

ハンズフリーモード	ハンズフリー機器を使って通話します。
プライベートモード	本機を使って通話します。

ハンズフリー機器の操作により通話を開始した場合は、設定内容にかかわらず、ハンズフリー機器での通話となります。

Bluetooth®機能の詳細確認

本機のデバイス名や対応プロファイルなど、Bluetooth®機能の詳細を確認します。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 詳細

USB

本機とパソコンを当社指定のUSBケーブルで接続すると、次のようなことができます。

データ転送	本機のアドレス帳や音楽ファイル、静止画などをパソコンにバックアップしたり、パソコンで編集／作成した静止画を本機に取り込んで利用したりできます。 ● 本機で利用できるのは、データフォルダに保存できるファイル形式のデータだけです。(☞P.10-2) ● 著作権保護ファイルは送受信できない場合があります。
データ通信	本機をパソコンの外部モデムのように使って、インターネット接続ができます。 ● インターネット接続の確立については、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているヘルプを参照してください。 ● データ通信を開始する前に、本機のアプリケーションをすべて終了させてください。

● USBケーブルを使用する場合は、パソコンに「810P USB-Handset Manager」とUSBドライバをインストールする必要があります。ご利用いただけるパソコンの動作環境やインストール手順などの詳細については、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているセットアップガイドを参照してください。

● USBケーブルの接続は、本機の電源を入れた状態で行ってください。

● USB利用中は、Bluetooth®通信や赤外線通信を起動したり、設定することができません。

USB充電について

パソコンと本機をUSBケーブルで接続すると本機を充電できます。その場合、次のことにご注意ください。

● パソコンの電源が切れている状態では充電できません。

● 当社指定のUSBケーブルを使用する場合は、本機の電源が切れている状態では充電できません。

● 急速充電器を使用した場合よりも充電時間が長くなり、フル充電に至らないことがあります。

簡易位置情報

インターネットを通じて本機の位置情報を測位し、送信することによってさまざまなコンテンツを利用できます。

- 簡易位置情報サービスは日本国内の3Gサービスエリア内でのみ使用できます。

緊急通報位置通知について
本機から緊急電話番号（110／119／118）への発信を行った場合は、ここでの設定に関わらず、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知します。（☞P.2-5）

測位機能をロックする

【お買い上げ時】OFF

位置情報の測位機能を使用できないように設定できます。

メインメニューから 設定 ▶ 簡易位置情報 ▶ 測位機能ロック

1 **ON**または**OFF**を選択→ ●

2 操作用暗証番号（4桁）を入力→ ●

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

位置情報の送信を設定する

【お買い上げ時】毎回確認

位置情報の送信要求があったときに、自動的に送信するかどうかを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 簡易位置情報 ▶ ブラウザ位置情報送信

1 操作用暗証番号（4桁）を入力→ ●

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

2 **ON**、**OFF**または**毎回確認**を選択→ ●

測位機能ロック設定中は、位置情報を送信できません。

セキュリティ

操作用暗証番号の変更

【お買い上げ時】9999

現在使用している操作用暗証番号を、新しい操作用暗証番号に変更します。

- 操作用暗証番号の詳細について（☞P.1-22）

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 暗証番号変更

1. 現在の操作用暗証番号（4桁）を入力→
2. 新しい操作用暗証番号（4桁）を入力→
3. もう一度新しい操作用暗証番号を入力→

操作用暗証番号の入力を3回間違えると、警告画面が表示されます。いったん電源を切ると、再び入力できるようになります。

PINコード設定

- PINコードの詳細について（☞P.1-4）

PIN1コードを有効／無効にする

【お買い上げ時】OFF

電源を入れたときにPIN1コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN1 ON/OFF

1. **ON**（有効）または**OFF**（無効）を選択→
2. PIN1コードを入力→

PIN1のON／OFF設定を**ON**にして電源を入れた場合、次のことにご注意ください。

- PIN1コード入力後、待受画面から圏内表示になるまでに30秒程度時間がかかる場合があります。
- PINコード入力画面では、緊急電話番号（110／119／118）への発信はできません。

PINコードを変更する

【お買い上げ時】9999

PIN1コードまたはPIN2コードを変更します。

- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを**ON**に設定してください。（☞P.12-2）

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN1変更またはPIN2変更

1. 現在のPIN1／PIN2コードを入力→
2. 新しいPIN1／PIN2コードを入力→
3. もう一度新しいPIN1／PIN2コードを入力→

PINロックを解除する

PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回間違えると、PINコードがロックされ、本機の使用が制限されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力して、PINロックを解除してください。

- PINロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

1. PINロックの状態で→PINロック解除コード（PUKコード）を入力→
2. 新しいPIN1／PIN2コードを入力→
3. もう一度新しいPIN1／PIN2コードを入力→

- PINロック解除コードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。（途中で電源を切っても連続として数えます。）PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

ロック機能

他の人が使用できないようにする（キー操作ロック）

【お買い上げ時】OFF

電源を入れたときや、待受画面のままで2分経過したときに、操作用暗証番号を入力しないと本機を使用できないように設定します。

- 設定すると待受画面に「 」が表示されます。
- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

キー操作ロックを設定／解除する

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ キー操作ロック

1 **ON**または**OFF**を選択→

- **ON**を選択した場合はさらに確認画面で を押します。

2 操作用暗証番号（4桁）を入力→

キー操作ロックを一時的に解除するには

キー操作ロック設定中に本機を開くと暗証番号入力画面が表示されます。操作用暗証番号（4桁）を入力して を押してください。

- 「 」が表示されている画面で直接操作用暗証番号を入力することもできます。

キー操作ロック設定中でも緊急電話番号（110／119／118）へは発信できます。

誤操作防止とキー操作ロックを両方設定した場合は、誤操作防止が優先されます。誤操作防止を解除後、待受画面のままで2分経過するとキー操作ロック状態になります。

アドレス帳の使用を禁止する

【お買い上げ時】OFF

アドレス帳を使用できないようにします。設定するとアドレス帳の表示、新規登録、設定変更などはできません。

- アドレス帳使用禁止を設定すると、「 」が表示されます。同時にメール使用禁止が設定されている場合は、「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ アドレス帳使用禁止

1 **ON**または**OFF**を選択→

- **ON**を選択した場合はさらに確認画面で を押します。

2 操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

アドレス帳使用禁止設定中でも、通話履歴、オーナー情報、S!アドレスブックは使用できます。

メールの使用を禁止する

【お買い上げ時】OFF

メール機能を使用できないようにします。設定するとS!メール／SMSの新規作成、各メールボックスの表示、設定変更などはできません。

- メール使用禁止を設定すると、「 」が表示されます。同時にアドレス帳使用禁止が設定されている場合は、「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ メール使用禁止

1 **ON**または**OFF**を選択→

- **ON**を選択した場合はさらに確認画面で を押します。

2 操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

メール使用禁止設定中でも、テンプレートのダウンロードなどはできます。ただし、テンプレートを編集したり、テンプレートを使ってS!メールを作成することはできません。

着信拒否

特定の種類の着信を拒否する

【お買い上げ時】許可

アドレス帳に登録されていない番号や番号非通知での着信など、特定の種類の着信を拒否できます。

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **着信拒否**

1. **アドレス帳以外**、**非通知**、**公衆電話**または**通知不可**を選択→

2. **拒否**または**許可**を選択→

特定の電話番号からの着信を拒否する

受けたくない電話番号を拒否リストに登録して、着信を拒否できます。登録したら、**指定着信拒否設定**を**拒否**にしてください。

拒否リストに登録する

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **着信拒否** ▶ **電話番号指定** ▶ **拒否リスト編集**

1. **[メニュー]**→**追加**を選択→

2. **アドレス帳**、**発着信履歴から選択**または**直接入力**を選択→

3. アドレス帳／発着信履歴から選択→**[選択]**、または直接電話番号を入力→

拒否リストの番号を編集／削除するときは

拒否リスト画面で番号を選択→**[メニュー]**→**編集**または**削除**を選択→

12

セキュリティ

指定着信拒否設定

【お買い上げ時】許可

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 着信拒否 ▶ 電話番号指定 ▶ 指定着信拒否設定

1 **拒否**または**許可**を選択→

拒否した相手から電話がかかってきたら

着信動作は行わずに不在着信のインフォメーションが表示されます。 を押すと、着信履歴を確認できます。

- 非通知着信拒否の場合は、非通知解除の旨を、音声通話は音声ガイダンスで、TVコールは画像にて相手にお知らせします。

補足

すべての着信を拒否したり、日本以外で電話を受けられないようにも設定できます。（発着信規制サービス☞P.14-8）

シークレットモードの設定

【お買い上げ時】OFF

シークレットメモリとして登録したデータは、通常アドレス帳には表示されません。シークレットメモリを利用したいときは、シークレットモードを**ON**にしてください。画面に「 」が表示され、シークレットメモリを利用できます。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ シークレットモード

1 **ON**または**OFF**を選択→

2 操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

補足

シークレットモードが**OFF**のとき、シークレットメモリとして登録した相手との電話の発着信やメールの送受信時は、電話番号やメールアドレスのみが表示されます。

お買い上げ時の設定に戻す

設定内容をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

各種設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ リセット ▶ 設定リセット

1. 確認画面で →確認画面で
2. 操作用暗証番号（4桁）を入力→
   自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。
   - 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

設定内容によっては、お買い上げ時の状態に戻らないことがあります。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す（オールリセット）

設定リセットに加えてアドレス帳やデータフォルダなどの登録内容をすべて消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ リセット ▶ オールリセット

1. 確認画面で → 確認画面で
2. 操作用暗証番号（4桁）を入力→
   自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。
   - 操作用暗証番号について（☞P.1-22）
3. 日付を入力→ →時刻を入力→

- オールリセットは、電池がフル充電の状態（「 」表示）で行ってください。
- 操作用暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。
- USIMカードやメモリカードに登録されているデータは消去されません。
- オールリセットすると、以下のデータは削除されます。元に戻すことはできませんので、あらかじめご了承ください。
  - ・お客様が登録した内容や履歴、ダウンロードしたS!アプリなど
  - ・お客様が登録したS!タウンデータ
- 本機にあらかじめ登録されていたS!アプリ、Flash®ファイル、書籍ファイルデータでお客様が削除したものは、オールリセットしてもお買い上げ時の状態には戻りません。

便利な機能

カレンダー

カレンダーを表示します。スケジュールを登録することもできます。

カレンダーを表示する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

月単位のカレンダーが表示されます。

- 月表示の画面では、茶色がカーソルの位置、赤枠が今日、水色がスケジュールが登録されている日を示します。(色は画面の配色パターンによって異なります。)
- スケジュールが登録されている日にカーソルを当てると、カレンダーの下に登録内容が3件まで表示されます。

月表示

■ 月表示画面での操作

項目	ボタン操作
カーソルの移動	
先月を表示	
翌月を表示	

補足　待受画面で を押すと、カレンダーを直接表示できます。ただし、 を押して開くメニューは変更できます。(ショートカットボタンの設定☞P.8-3)

カレンダーの表示を切り替える

【お買い上げ時】月表示

カレンダーを週単位で表示できます。
週表示にすると、1日のスケジュールの時間割を確認するのに便利です。

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 [メニュー]→**表示形式**を選択→

2 **月表示**または**週表示**を選択→

- 週表示の画面では、茶色がカーソル位置、曜日の下の赤い線が今日、水色がスケジュールが登録されている曜日と時間を示します。(色は画面の配色パターンによって異なります。)

週表示

■ 週表示画面での操作

項目	ボタン操作
カーソルの移動	
一時間ずつ画面表示を移動	
前の時間帯を表示	
次の時間帯を表示	

指定した日を表示する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 月表示または週表示で、✉**[メニュー]**→**指定日へジャンプ**を選択→●

2 指定日を入力→●

カーソルが指定日へ移動します。

カレンダー設定

週の開始曜日を設定する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 月表示または週表示で、✉**[メニュー]**→**設定**を選択→● →**週の開始曜日**を選択→●

2 曜日を選択→●

休日を設定する

休日に設定した曜日は、月表示と週表示で赤く表示されます。

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 月表示または週表示で、✉**[メニュー]**→**設定**を選択→● →**休日設定**を選択→●

2 曜日を選択→●

曜日の左端のマークが「☑」に変わります。複数の休日を設定する場合は、手順2を繰返してください。

- もう一度●を押すと選択が解除されます。

3 ✉**[OK]**

スケジュールを登録する

最大100件までスケジュールを登録できます。各スケジュールには次の項目を登録できます。

項目	内容
用件	スケジュール内容を登録します。(最大96文字)
カテゴリ	用件の分類を設定します。設定した分類のアイコンが「スケジュールアイコン」として待受画面に表示されます。
開始日時	開始日時を設定します。
終了日時	終了日時を設定します。
繰返し設定	スケジュールの繰返しパターンを設定します。
スケジュール通知	スケジュールの開始日時またはその事前にスケジュール通知音で通知するように設定します。
場所	場所を入力します。(最大20文字)
スケジュール通知音	スケジュール通知音を設定します。
スケジュール通知音量	スケジュール通知音の音量を設定します。
イルミネーション	スケジュール通知起動時に点滅するイルミネーションのパターンを設定します。

補足 2007年1月1日00時00分から2099年12月31日23時59分までのスケジュールを登録できます。

メインメニューから **ツール ▶ カレンダー**

1 で登録する日を選択→ **[メニュー]**→ **新規登録**を選択→

2 項目選択→

3 次の各項目の操作を行う

	用件	タイトルや内容などを入力→
	カテゴリ	カテゴリを選択→
	開始日時	日付を入力→ →時刻を入力→
	終了日時	
	繰返し設定	**1回のみ**、**毎日**、**毎週**、**毎月**または**毎年**を選択→ →繰返し回数を入力→
	スケジュール通知	**OFF**、**開始時刻**または**5〜90分前**を選択→
	場所	場所を入力→

13 便利な機能

	スケジュール通知音	**<スケジュール通知音>**を選択→ または **着うた・メロディ**または**ミュージック**を選択→ →ファイルを選択→ **[決定]**
	スケジュール通知音量	または で音量を選択→
	イルミネーション	色のパターンまたは**OFF**を選択→

4 必要事項の入力が終了したら、**[保存]**

スケジュールアイコンについて

スケジュールを登録すると、カテゴリで設定した分類のアイコンが「スケジュールアイコン」として待受画面に表示されます。
例)「 」(会議)、「 」(記念日)、「 」(誕生日)など

- カテゴリで分類を設定しなかった場合は、「 」が表示されます。

スケジュールの登録状況を確認するには

スケジュールに登録できる件数(合計)と登録されている件数(使用中)を表示します。月表示または週表示で、
[メニュー]→メモリ容量確認を選択→

著作権保護ファイルについて

- 著作権保護ファイルをスケジュール通知音に設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別のUSIMカードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
- 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、スケジュール通知音に設定できません。

スケジュールの詳細を確認する

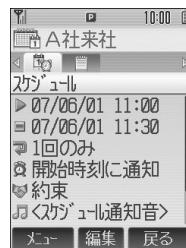
メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 詳細を表示する日を選択→

2 表示するスケジュールを選択→

スケジュールの詳細が表示されます。

- でスケジュールタブと用件・場所タブを切り替えられます。

3 確認を終了したら、

詳細表示

13 便利な機能

スケジュール通知を設定した時刻になると

設定した内容に従って、スケジュール通知音やイルミネーションでお知らせします。スケジュール通知音を止めると同時にスケジュールの内容を確認できます。

1 スケジュール通知音が鳴ったら、[●]

スケジュール通知音が止まり、その日のスケジュール一覧画面が表示されます。

2 さらに詳細を確認するには、[●]

スケジュール通知音のみを止めるには（すぐに内容を確認しないとき）

- [HLD] を押すと、待受画面に戻ります。
- [Y!] **[停止]**を押すと、スケジュール通知音が鳴る前の画面に戻ります。
- [HLD]、[Y!] **[停止]**、[✉] **[表示]**または [●] 以外のボタンを押すと、画面はそのままでスケジュール通知音のみ止まります。[●] を押すと内容を確認できます。

補足

次の場合は設定した時刻になってもスケジュール通知音は鳴りません。

- 通話中（スケジュール通知画面と振動でお知らせします。）
- マナーモード設定中（マナーモードの設定内容でお知らせします。）
- 電源を切っているとき（スケジュール通知は起動しません。）
- 時刻補正が行われた結果、設定した時刻が過ぎてしまったとき

スケジュールを編集する

メインメニューから **ツール** ▶ **カレンダー**

1 スケジュールを編集する日を選択→ [●]

2 編集するスケジュールを選択→ [✉] **[メニュー]**→ **編集**を選択→ [●]

3 項目を選択→ [●] →編集する

- 編集方法は登録時と同様です。（☞P.13-4）

4 編集を終了したら、[✉] **[保存]**

13 便利な機能

スケジュールを削除する

スケジュールをまとめて削除する

- 当日または前日までのスケジュールを削除する場合、繰返し設定されているものは削除できません。

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 スケジュールを削除する日を選択→[メニュー]→**削除**を選択→

2 **当日のスケジュールを削除する場合**
当日を選択→ →確認画面で →
確認画面で

前日までのスケジュールを削除する場合
前日までを選択→ →確認画面で →
登録されているすべてのスケジュールを削除する場合
すべてを選択→ →確認画面で [YES]→
操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

スケジュールを1件ずつ削除する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 スケジュールを削除する日を選択→

2 削除するスケジュールを選択→[メニュー]→**削除**を選択→ →確認画面で

スケジュールを送信する

スケジュールのデータを、赤外線通信やBluetooth®通信を利用して、各通信の対応機器（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

- 赤外線通信について（☞P.11-2）
- Bluetooth®通信について（☞P.11-4）

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 送信するスケジュールが登録されている日を選択→

2 送信するスケジュールを選択→[メニュー]→**外部機器送信**を選択→

3 **赤外線送信**または**Bluetooth**を選択→

アラーム

指定した時刻にアラーム音を鳴らしてお知らせします。

アラームを登録する

アラームは最大5件まで登録できます。毎日、または指定した曜日の同じ時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

- アラームを設定すると、待受画面に「⏰」が表示されます。

項目	内容
アラームON/OFF	アラームを設定／解除します。
時刻	アラームを鳴らす時刻を設定します。
繰返し設定	繰返しの種類を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
スヌーズ設定	**ON**に設定すると、アラーム音は30秒間鳴ったあと、設定したスヌーズ間隔で5回繰返し鳴ります。
アラーム音量	アラーム音の音量を設定します。
画像登録	アラーム音と同時に表示される静止画を設定します。
バイブレーション設定	アラーム音と同時に振動するパターンを設定します。
イルミネーション	アラーム音と同時に点滅するイルミネーションのパターンを設定します。
優先設定	マナーモード設定中にアラームが起動した場合、どちらの設定内容を優先するかを設定します。

メインメニューから **ツール ▶ アラーム**

1 登録するアラームを選択→ ●

2 項目を選択→ ●

3 次の各項目の操作を行う

⏰	**アラームON/OFF**	**ON**または**OFF**を選択→ ●
▶	**時刻**	アラームを鳴らす時刻を入力→ ●
↩	**繰返し設定**	**1回のみ**、**毎日**または**曜日設定**を選択→ ● →**曜日設定**の場合、曜日を選択→ ● で左端のマークを「☑」にする（複数選択可）→✉**[OK]**
♫	**アラーム音**	**<アラーム音>**を選択→ ● または **着うた・メロディ**または**ミュージック**を選択→ ● →ファイルを選択→✉**[決定]**

13 便利な機能

	スヌーズ設定	**ON**または**OFF**を選択→ →**ON**の場合、スヌーズ間隔を入力（1～15分）→
	アラーム音量	または で音量を選択→
	画像登録	静止画を選択→ **[決定]**
	バイブレーション設定	**パターン1～3**または**OFF**を選択→
	イルミネーション	色のパターンまたは**OFF**を選択 →
	優先設定	**マナーモード優先**または**アラーム優先**を選択→

4 必要事項の入力が終了したら、 **[保存]**

著作権保護ファイルについて

- 著作権保護ファイルをアラーム音に設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別のUSIMカードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
- 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、アラーム音に設定できません。

アラームを設定した時刻になると

設定した内容に従って、アラーム音やイルミネーション、画像表示などでお知らせします。

1 アラーム音が鳴ったら、いずれかのボタンを押す

アラーム音が止まり、確認画面が表示されます。
（ を押した場合、確認画面は表示されません。）

- アラーム音を止めなくても、30秒後にアラームは止まり、確認画面が表示されます。

スヌーズが設定されている場合は

いずれかのボタンを押してアラーム音を止めると、スヌーズを停止するかどうかの確認画面が表示されます。停止する場合は **[停止]** を押してください。

- を押してアラーム音を止めた場合、確認画面は表示されません。（スヌーズ設定は**ON**のままです。）

次の場合は設定した時刻になってもアラーム音は鳴りません。

- 通話中（アラーム通知画面と振動でお知らせします。）
- **マナーモード優先**に設定中（マナーモードの設定内容でお知らせします。）
- 電源を切っているとき（アラームは起動しません。）
- 時刻補正が行われた結果、設定した時刻が過ぎてしまったとき

アラームを解除／再起動する

登録内容は保持したまま起動中のアラームを解除、または停止中のアラームを再起動できます。

メインメニューから ツール ▶ アラーム

1 アラーム登録を選択

起動中のアラーム登録には「 」、停止中のアラーム登録には「 」が表示されています。

2 **[メニュー]→アラームON**または**アラームOFF**を選択→

電卓

簡単な数値計算（加減乗除）ができます。

● 小数点を含む10桁まで表示できます。

メインメニューから ツール ▶ 電卓

項目	ボタン操作
数字の入力	0～9
＋	
−	
×	
÷	
＝	
小数点	
クリア	／ クリア/メモ
＋／−切替	#

負の数を入力するには

数字を入力したあとに # を押してください。もう一度押すと、正の数に戻ります。

■計算例（-17+28.5を計算する場合）

-17+28.5=11.5

テキストメモ

メモ帳として文章を登録できます。登録した文章はメールなどの文字入力画面に挿入することもできます。

新しい文章を登録する

メインメニューから ツールまたはデータフォルダ ▶ テキストメモ

1 [メニュー]→**新規**を選択→

2 文章を入力する→

● 最大64文字まで入力できます。

テキストメモ一覧の一番上に挿入されます。

登録した文章の詳細を確認するには

ファイルサイズや作成日が確認できます。
手順1で [メニュー]→**プロパティ**を選択→

テキストメモを編集する

メインメニューから ツールまたはデータフォルダ ▶ テキストメモ

1 編集したいテキストメモを選択→

2 編集する→

上書き保存されます。

テキストメモを削除するには

手順1で削除したいメモを選択→ [メニュー]→**削除**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→確認画面で [YES]→
全件を選択した場合は、操作用暗証番号（4桁）（☞P.1-22）を入力→

13
便利な機能

テキストメモをメールの文字入力画面に挿入する

メインメニューから ツールまたはデータフォルダ ▶ テキストメモ

1 テキストメモを選択→[メニュー]→**送信**を選択→

2 **S!メール**または**SMS**を選択→ →宛先など他の項目を入力し、送信する（S!メール☞P.15-6手順1以降／SMS☞P.15-11手順1以降）

補足　文字入力画面からテキストメモを利用するには、「テキストメモを利用する」（☞P.3-9）を参照してください。

ボイスレコーダー

自分の声などを録音したり、通話内容を録音して、音声メモを作成できます。（1件あたり最大60秒）

- 通話中の録音方法について（☞P.2-10）

メインメニューから ツール ▶ ボイスレコーダー

1

録音が始まります。

2 録音を終了するときは、

- 録音した音声を再生して確認するには：

3 **[保存]**

録音した音声は着うた・メロディフォルダに保存されます。

13
便利な機能

オプションサービス

オプションサービスの概要

本機では、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- お申し込み、一般電話からの操作、サービスの詳細については「サービスガイド（3G）」を参照してください。

転送電話サービス （☞右記）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス （☞P.14-4）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 ● 着信お知らせ機能 電源を切っているときや圏外にいて受けられなかった着信、通話中の着信をインフォメーションでお知らせします。
割込通話サービス※ （☞P.14-6）	通話中の相手を保留にして、別の相手からの電話を受けられます。また、通話相手を切り替えることもできます。
多者通話サービス※ （☞P.14-7）	通話中に別の相手に電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、自分も含め最大で6人同時に通話できます。
発着信規制サービス （☞P.14-8）	電話の発着信を状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス （☞P.14-10）	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。

転送電話サービスを開始する

- サービスを開始すると待受画面に「 」が表示されます。

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **通話サービス** ▶ **留守番・転送電話** ▶ **転送ON** ▶ **音声・TVコール着信、音声着信**または**TVコール着信**

1 **着信音を鳴らさずにすべての着信を転送する場合**

呼び出しなしを選択→

呼び出し時間内に応答できなかった着信を転送する場合

呼び出しありを選択→

2 **アドレス帳から転送先を選ぶ場合**

アドレス帳を選択→ →転送先を選択→ →電話番号を選択→

直接転送先の電話番号を入力する場合

直接入力を選択→ → 電話番号を入力→

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

3 手順１で**呼び出しあり**を選択した場合、呼び出し時間を選択→

呼び出しありに設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に [A/a] を押すと、そのまま通話できます。[✉]**[転送]**を押して転送することもできます。

転送電話サービスを停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送電話 ▶ 留守番・転送全てOFF

1 確認画面で

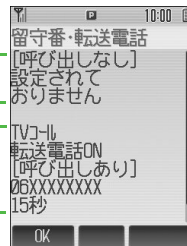
転送電話サービスの設定状況を確認する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送電話 ▶ 現在の設定確認

例）TVコール着信を呼び出しありに設定した場合

着信音を鳴らさずにすべての着信を転送するサービスは設定されておりません。

呼び出し時間（15秒）内に応答できなかったTVコール着信を、電話番号06XXXXXXXXに転送します。

注意

- 転送先には、フリーダイヤルや国際電話など一般転送先として望ましくない番号は登録できません。
- 転送電話サービスを本体に設定した簡易留守録（☞P.2-8）と合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

留守番電話サービス

- 留守番電話センターへの転送は、転送電話サービスを利用します。そのため、転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は「サービスガイド（3G）」を参照してください。
- TVコールの着信にはご利用になれません。

留守番電話サービスを開始する

- サービスを開始すると待受画面に「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送電話 ▶ 留守番電話ON

1 **着信音を鳴らさずにすべての着信を転送する場合**

呼び出しなしを選択→

呼び出し時間内に応答できなかった着信を転送する場合

呼び出しありを選択→ →呼び出し時間を選択→

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

> 補足
> **呼び出しあり**に設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に を押すと、そのまま通話できます。 **[転送]**を押して転送することもできます。

留守番電話サービスを停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送電話 ▶ 留守番・転送全てOFF

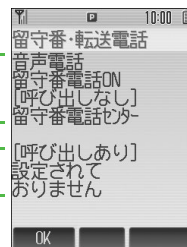
1 確認画面で

留守番電話サービスの設定状況を確認する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送電話 ▶ 現在の設定確認

例）**留守番電話ONで呼び出しなしに設定した場合**

着信音を鳴らさずにすべての音声着信を留守番電話センターに転送します。

呼び出し時間（15秒）内に応答できなかった着信を転送するサービスは設定されておりません。

留守番電話サービスを本体に設定した簡易留守録（☞P.2-8）と合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

伝言メッセージを再生する

留守番電話センターに新しい伝言メッセージが入ると、待受画面にインフォメーションと「📼」が表示されます。

● インフォメーション表示について（☞P.1-10）

1 インフォメーションの**留守電メッセージ**を選択→●

● 以降の操作はアナウンスに従ってください。

再生が終わると、インフォメーションと「📼」は消えます。

伝言メッセージの詳細を確認してから再生するには

着信履歴で伝言メッセージを入れた相手の電話番号や日時を確認したあと、再生できます。

◐ で着信履歴を表示→留守電のお知らせを選択→● で詳細を確認→✉**[メニュー]**→**留守番電話再生**を選択→●

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送電話 ▶ 留守番再生 でも再生できます。

着信お知らせ機能を利用する

着信お知らせ機能をONにすると、電源を切っているときや圏外にいて受けられなかった着信、通話中の着信をインフォメーションでお知らせします。

● 留守番電話サービスを開始しているときだけ、利用できます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 着信お知らせ機能

1 確認画面で ●

ネットワークに接続されます。

● 以降の操作はアナウンスに従ってください。

着信お知らせ機能設定中に着信があると

電源を入れたり圏内に入ると、**着信のお知らせ**のインフォメーションが表示されます。● を押すと着信履歴が表示されます。

● 伝言メッセージが録音されている場合は**留守電メッセージ**のインフォメーション（☞左記）が表示されます。

14
オプションサービス

割込通話サービス

【別途お申し込みが必要です】

● TVコールではご利用になれません。

割込通話サービスを開始／停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 割込通話

ネットワーク接続後、現在の設定が表示されます。

1 [メニュー]→**ON**または**OFF**を選択→

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

割込通話を受ける

割込通話を受けると割込音が聞こえ、相手の電話番号が表示されます。

● アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 通話中に割込音が聞こえたら、

通話していた相手を保留にし、別の相手と通話できます。

割込通話を拒否するには

割込音が聞こえたら、**[拒否]**を押します。

割込通話中に通話相手を切り替えるには

を押すたびに通話相手が切り替わります。

通話を終了するには

を押すと、すべての通話が切れます。

通話中の相手が電話を切ると

通話中の電話は切れます。 を押すと、保留中の相手と通話できます。

● 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているとき、通話中にかかってきた電話を受けなければ、その電話は留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

● 留守番電話サービスまたは転送電話サービスで**呼び出しなし**に設定しているときは、割込通話は受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

14 オプションサービス

多者通話サービス

【別途お申し込みが必要です】

- TVコールではご利用になれません。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に電話番号を入力→ [通話 A/a]

通話していた相手を保留にし、別の相手と通話できます。

アドレス帳を使って別の相手へ電話をかけるには

通話中に [メール]**[メニュー]→アドレス帳**を選択→ [決定] →アドレス帳の登録を選択→ [メール]**[貼り付け]**→ [通話 A/a]

相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 通話中に [通話 A/a]

- [通話 A/a] を押すたびに通話中と保留中の相手が切り替わります。

補足　[メール]**[メニュー]→通話切り替え**を選択→ [決定] でも相手を切り替えられます。

複数で同時に通話する（多者通話）

1 切替通話中に、[メール]**[メニュー]→多者通話**を選択→

複数で同時に通話できます。

さらに相手を追加するには

① 多者通話中に電話番号を入力→ [通話 A/a]

先に通話していた多者通話と新しくかけた相手との切替通話になります。

② [メール]**[メニュー]→多者通話**を選択→ [決定]

すべての人と同時に通話できます。

参加メンバーを確認するには

[メール]**[メニュー]→メンバー**を選択→ [決定]

参加メンバーの一覧が表示され、電話番号が確認できます。アドレス帳に登録されている場合は、名前が表示されます。

- 個別通話をするには：メンバーを選択→ [メール]**[メニュー]→個別通話**を選択→ [決定]
- 通話を個別に終了するには：メンバーを選択→ [Y!]**[通話終了]**

通話を終了するには

- 切替通話中または多者通話中に [終話 HLD] を押すと、すべての通話が同時に切れます。
- 多者通話中のメンバーが電話を切った場合、または切替通話で保留中の相手が電話を切った場合は、残った人での通話になります。
- 切替通話で通話中の相手が電話を切った場合、[通話 A/a] を押すと、保留中の相手と通話できます。

14 オプションサービス

発着信規制サービス

電話（音声電話／TVコール）の発着信やSMSの送受信を規制します。

- 転送電話サービスを開始している場合、音声電話、TVコールは転送電話サービスが優先されます。（転送電話サービスに設定していない電話やSMSに対する発着信規制は利用できます。）
- 留守番電話サービスを開始している場合、音声電話は留守番電話サービスが優先されます。（TVコールやSMSに対する発着信規制は利用できます。）

発信規制	**全発信規制**	緊急通話を除くすべての電話がかけられません。
	滞在国以外規制	滞在国以外への電話がかけられません。
	日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外への国際電話がかけられません。
着信規制	**全着信規制**	すべての電話が受けられません。
	国際着信規制	日本以外で電話が受けられません。

- サービスをご利用になるためには、発着信規制用暗証番号（☞P.1-22）が必要です。

発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。
- 本機の設定で、非通知での着信や、特定の電話番号からの着信を拒否できます。（☞P.12-6）

発信規制の設定

発信規制を発信の種類ごとに設定／解除します。設定を確認することもできます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 発着信規制 ▶ 発信規制

1. **全発信規制**、**滞在国以外規制**または**日本／滞在国以外規制**を選択→[メニュー]
2. **ON**、**OFF**または**設定確認**を選択→

   設定確認を選択すると、ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

   ONまたは**OFF**を選択した場合は手順3へ。
3. 規制暗証番号（4桁）を入力→

   ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

発信規制設定中でも緊急電話番号（110／119／118）へは発信できます。

着信規制の設定

着信規制を着信の種類ごとに設定／解除します。設定を確認することもできます。

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **通話サービス** ▶ **発着信規制** ▶ **着信規制**

1 **全着信規制**または**国際着信規制**→ **[メニュー]**

2 **ON**、**OFF**または**設定確認**を選択→

設定確認を選択すると、ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

ONまたは**OFF**を選択した場合は手順3へ。

3 規制暗証番号（4桁）を入力→

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

発着信規制サービスをすべて停止する

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **通話サービス** ▶ **発着信規制** ▶ **規制全停止**

1 規制暗証番号（4桁）を入力→

発着信規制サービスの設定状況を確認する

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **通話サービス** ▶ **発着信規制** ▶ **現在の設定確認**

1 **全発信規制**、**滞在国以外規制**、**日本／滞在国以外規制**、**全着信規制**または**国際着信規制**を選択→

規制暗証番号を変更する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 発着信規制 ▶ 規制暗証番号

1. 現在の規制暗証番号（4桁）を入力→
2. 新しい規制暗証番号（4桁）を入力→
3. もう一度新しい規制暗証番号を入力→

発信者番号通知サービス

【お買い上げ時】ネットワーク依存

- **ネットワーク依存**に設定すると、お申し込みいただいた設定になります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発信者番号通知

1. **通知する**、**通知しない**または**ネットワーク依存**を選択→

ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選べます。

通知	1 8 6 **または** * 3 1 #
非通知	1 8 4 **または** # 3 1 #

14
オプションサービス

メール

メールについて

本機では、次の2つのメッセージサービスが利用できます。

S!メール	ソフトバンク携帯電話やパソコン、Eメールに対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、音楽ファイルなどを送受信できます。 ● アレンジメール（☞P.15-8）、フィーリングメール（☞P.15-10）に対応しています。
SMS（ショートメッセージサービス）	ソフトバンク携帯電話どうしでご契約の電話番号を宛先として、短い文字メッセージを送受信できます。

- メールの通信料など詳しくは、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」でご案内しています。
- S!メールの利用とEメールの受信には、別途ご契約が必要です。

- メール機能を使用できないように設定できます。設定するとS!メール／SMSの新規作成、各メールボックスの表示、設定変更などはできません。（☞P.12-5）
- SMSは通話中に作成して送信することもできます。（☞P.2-10）

入力可能項目と最大送信可能文字数

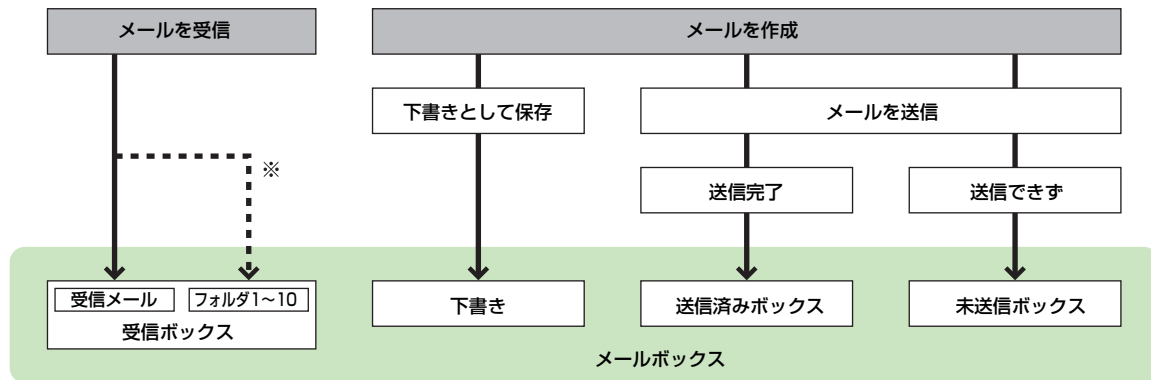
項目		S!メール		SMS	
宛先	**メールアドレス**	○	半角で246文字／最大20件	×	－
	電話番号	○		○	半角で20文字／最大10件
件名		○	全角または半角で256文字	×	－
本文		○	30KB	○	全角または半角で70文字
添付ファイル		○	最大20ファイル	×	－

- S!メールは1件につき、件名、本文、添付ファイルなどを合わせて最大約300KBです。（添付ファイルのデータ量によって、最大送信可能文字数は異なります。）
- S!メール本文の入力可能文字数は、そのS!メールに添付／挿入したファイルが260KB以上になると、30KBより少なくなります。
- 宛先の電話番号にはソフトバンク携帯電話番号を指定してください。
- SMSの本文入力設定を**半角英数入力**にしている場合（☞P.15-30）は、半角英数字を160文字まで入力できます。
- SMSは作成中にS!メールに切り替えられます。（☞P.15-11）ただし、次の場合は切り替えられません。
  - ・S!メールの蓄積メモリがいっぱいの場合（☞P.15-4）
  - ・通話中（通話中はS!メールの作成／送信はできません）
  - ・SMSの本文入力設定を**半角英数入力**にしている場合（☞P.15-30）
- S!メールはSMSに切り替えられません。

メールボックスについて

送受信したメールは、次のようにフォルダで管理されます。

※ 振り分け設定（☞P.15-19）をすると、受信メールを指定したフォルダに自動的に振り分けます。

15
メール

メールの蓄積メモリについて

各メールボックスのメモリ容量

受信ボックス	S!メール	最大700件／5MB
	SMS	最大300件
下書き／送信済みボックス／未送信ボックス	S!メール	最大300件／5MB
	SMS	最大200件

S!メールの蓄積メモリがいっぱいになると

- 待受画面に「」（S!メールがいっぱいのため、サーバーに未受信メールがあります）が表示され、その状態でS!メールを受信すると警告メッセージが表示されます。不要なS!メールを削除して（☞P.15-24）、**メインメニューから メール ▶ 新着メール受信** を行ってください。
- S!メールの蓄積メモリがいっぱい（下書き／送信済みボックス／未送信ボックスの空きメモリが300KB以下）になると、送信済みS!メールは自動で一件ずつ削除されますが、受信S!メール、下書きS!メール、未送信S!メール、保護された送信済みS!メールは削除されません。自動削除できるS!メールがない場合、S!メールの新規作成、編集、返信、転送などの操作ができません。不要なS!メールを削除してください。（☞P.15-24）

SMSの蓄積メモリがいっぱいになると

- 受信ボックスのSMSメモリがいっぱいの状態でSMSを受信すると警告メッセージが表示され、待受画面に「」（SMSがいっぱいです）が表示されます。受信ボックス内の不要なSMSを削除してください。（☞P.15-24）
- 下書き／送信済みボックス／未送信ボックスのSMSメモリがいっぱいになると、送信済みSMSは自動で一件ずつ削除されますが、受信SMS、下書きSMS、未送信SMS、保護された送信済みSMSは削除されません。自動削除できるSMSが10件未満になると、SMSを作成する時に警告メッセージが表示されます。下書き／送信済みボックス／未送信ボックス内の不要なSMSを削除してください。（☞P.15-24）

メールの蓄積メモリを確認する

S!メールとSMSの蓄積メモリをそれぞれ確認できます。

メインメニューから メール ▶ メモリ容量確認

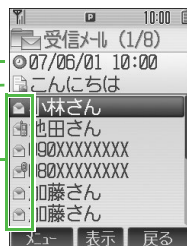
1 **S!メールのメモリ容量を確認する場合**

S!メールを選択→

SMSのメモリ容量を確認する場合

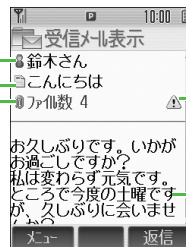
SMSを選択→ →**本体**または**USIM**を選択→

メール画面の見かた

一覧画面

例）受信ボックスの受信メールフォルダ

メールの種類／状態アイコン
メールの種類と状態のアイコンが組み合わせで表示されます。

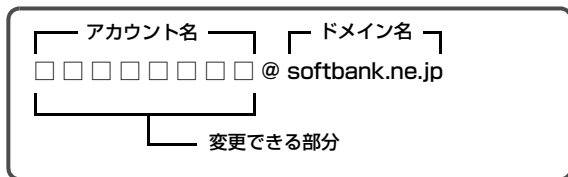
メールの種類	メールの状態
未読／既読のS!メール	添付ファイルがあります
未読／既読のS!メール通知	（金色）保護されています
未読／既読のSMS（本体）	転送済みメール
未読／既読のSMS（USIM）	返信済みメール
	優先順位 高
	優先順位 低

本文表示画面

添付ファイルの数
画像、音声、動画、テキストなどの添付ファイルの数が表示されます。

補足

- 日付や送信者／宛先、未読／既読、添付の有無などで、一覧画面のメールの並べ替えができます。（☞P.15-20）
- USIMカードに保存されたSMSには、保護／転送済み／返信済みアイコンは表示されません。

メールアドレスの変更

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。ご契約時はランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。

- 詳しくは「サービスガイド（3G）」を参照してください。
- オフラインモード中は変更できません。
- インターネット接続後の操作について（☞P.16-7）

メインメニューから **メール** ▶ **設定**

1 **メール・アドレス設定**を選択→

インターネットに接続します。

以降は画面の指示に従って操作してください。

メール送信

S!メールを作成／送信する

- 入力可能項目と最大送信可能文字数について（☞P.15-2）
- 文字の入力方法について（☞P.3-2）

メインメニューから **メール** ▶ **新規作成**

S!メール新規作成画面

1 **宛先を入力するには**

<宛先入力>を選択→

2 **アドレス帳から宛先を選択する場合**

アドレス帳を選択→ →

送信先を選択→ →

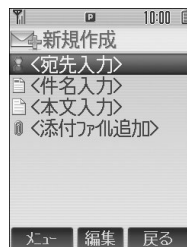
メールアドレスまたは電話番号を選択→

宛先を直接入力する場合

電話番号入力または**Eメールアドレス入力**を選択→ →電話番号またはメールアドレスを入力→

送信履歴から宛先を選択する場合

送信履歴引用を選択→ →送信先を選択→

15 メール

3 件名を入力するには

<件名入力>を選択→ ◉ →件名を入力→ ◉

4 本文を入力するには

<本文入力>を選択→ ◉ →本文を入力→ ◉

5 ファイルを添付するには

<添付ファイル追加>を選択→ ◉ →

データフォルダ内のフォルダを選択→ ◉ →

ファイルを選択→ ✉ **[決定]**

添付されたファイル数が表示されます。

- データフォルダについて（☞P.10-2）
- 添付ファイルを追加するには（☞P.15-8）

6 S!メールを送信するには

Y! **[送信]**

- 待受画面で ✉ [✉] を長押し（1秒以上）すると、新規作成画面を直接表示できます。
- 宛先を入力しないと、新規作成画面に Y! **[送信]**は表示されません。
- ファイルの種類や容量によっては添付できない場合があります。
- 著作権保護ファイルは送信できない場合があります。

相手が電源を切っていたり、電波の届かない所にいると

サービスセンターにメールが保管され、送信が完了するか、有効期限まで、繰返し配信します。（リトライ機能）

送信したメールが届いたかどうか確認したいときは

ソフトバンク携帯電話番号に送信したメールが相手に届くと配信確認のレポートが通知されるように設定できます。

送信する前に ✉ **[メニュー]**→**送信設定**を選択→ ◉ →**配信確認**を選択→ ◉ →**ON**を選択→ ◉

- 常に配信確認を**ON**にしたいときは（☞P.15-26）

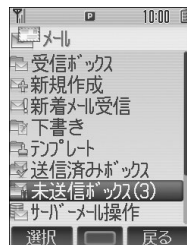
優先順位を設定するには

送信する相手にメールの重要度をお知らせします。

送信する前に ✉ **[メニュー]**→**送信設定**を選択→ ◉ →**優先順位設定**を選択→ ◉ →**低**、**普通**または**高**を選択→ ◉

送信に失敗した場合

メールメニュー画面の未送信ボックスに、未送信件数が表示されます。

15
メール

宛先リストを編集する

宛先として指定したアドレス／電話番号は「To」として送信されます。複数の宛先をリストに追加できます。
宛先は「To」以外にも、「Cc」または「Bcc」として指定できます。「Cc」と「Bcc」にはコピーが送信されます。「Bcc」に指定したアドレス／電話番号は、他の相手先には表示されません。

- 「Cc」の宛先には「CC」、「Bcc」の宛先には「BCC」が表示されます。

1 新規作成画面で宛先欄を選択→

宛先リストが表示されます。

2 **編集する場合**

[**メニュー**]→**編集**を選択→ →
編集する→

追加する場合

[**メニュー**]→**追加**を選択→ →
宛先を選択または入力→

「To」「Cc」「Bcc」に指定する場合

[**メニュー**]→**To/Cc/Bcc変更**を選択→
→**To**、**Cc**または**Bcc**を選択→

削除する場合

[**メニュー**]→**削除**を選択→

3 新規作成画面に戻るには、[**戻る**]

添付ファイルを追加する

1 新規作成画面で添付ファイル欄を選択→

添付ファイルリストが表示されます。

2 [**メニュー**]→**追加**を選択→

- リストから削除したい場合：[**メニュー**]→**削除**を選択→

3 データフォルダ内のフォルダを選択→ →ファイルを選択→[**決定**]

4 新規作成画面に戻るには、[**戻る**]

アレンジメール（HTMLメール）を作成する

本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きをつけたり、区切り線や画像などを挿入して表現豊かなHTMLメールを作成することができます。

- テンプレートを利用して簡単に本文を装飾することもできます。
- 1件のアレンジメールにつき、BGMまたはFlash®を1ファイル挿入できます。
- 1件のアレンジメールにつき、最大40種類のマイ絵文字が挿入できます。

1 新規作成画面で**<本文入力>**を選択→

2 **[メニュー]**→
アレンジ設定を選択→
アレンジパレットが表示されます。

3 装飾アイコンを選択→ →
次のそれぞれの操作を行う

	範囲指定アレンジ	入力済みの文字の装飾をします。 最初の文字の前にカーソルを移動 →**[始点]**→範囲を指定（反転） →**[終点]**→他の装飾アイコンを選択 →それぞれの操作を行う
	文字色	文字色を変更します。 色を選択→ →文字を入力
	点滅開始	文字を点滅させます。 文字を入力
	背景色	背景色を変更します。 背景色を選択→
	ファイル挿入	画像／BGM／Flash®を挿入します。 **ファイル選択**を選択→ →フォルダを選択→ →ファイルを選択→ **[決定]** ● BGMを削除するには、**BGM削除**を選択→
ALL CLEAR	**アレンジ全解除**	装飾をすべて解除します。 確認画面で
	文字サイズ	文字サイズを変更します。 文字サイズを選択→ → 文字を入力
	行揃え	行を揃えます。 行揃えを選択→
	スクロール開始	文字がテロップ表示されます。
	スウィング開始	文字がスウィングします。
	ライン挿入	区切り線を挿入します。
	マイ絵文字	マイ絵文字を挿入します。 マイ絵文字を選択→ **[決定]**

アレンジメール作成中のその他の操作

- アレンジパレットを表示させるには：
- アレンジパレットを閉じるには： **[閉じる]**
- 装飾した文字をプレビューさせるには：(右側面)
- 挿入した画像やライン、マイ絵文字などを削除するには：アレンジパレットを閉じた状態で画像などの前にカーソルを移動→
- 操作をやり直す（一つ前の操作に戻る）には：アレンジパレットを閉じた状態で **[メニュー]**→**やりなおし**を選択→
- 新規作成画面に戻るには：アレンジパレットを閉じた状態で

15 メール

■ テンプレートを利用する

作成したアレンジメールの本文をテンプレートとして保存したり、保存されたテンプレートを利用してアレンジメールを作成できます。

● テンプレートをインターネットからダウンロードして、利用することもできます。

1 新規作成画面で [メニュー]

2 **テンプレートへ保存する場合**

テンプレート保存を選択→

テンプレートを挿入する場合

テンプレート挿入を選択→ →

テンプレートを選択→ [決定]

テンプレートをダウンロードするには

メインメニューから メールまたはデータフォルダ ▶ テンプレート ▶ テンプレートダウンロード

テンプレートフォルダからテンプレートを選んでアレンジメールを作成するには

メインメニューから メールまたはデータフォルダ ▶ テンプレート

テンプレートを選択→ [メニュー]→**S!メール作成**を選択→

フィーリングメールを作成する

フィーリング設定を行うと、感情を表す絵文字（感情アイコン）が件名の先頭に挿入されます。フィーリング設定されたメール（フィーリングメール）を受信すると、感情アイコンに連動した着信音、バイブ、イルミネーションでお知らせします。

● フィーリング設定に対応していない携帯電話に送信した場合は、通常の絵文字として件名に表示されます。

● 感情アイコンに連動する着信音、バイブ、イルミネーションは、受信側の携帯電話で設定します。（☞P.15-28）

1 P.15-7の手順5のあと（S!メールの作成が終了したら）、新規作成画面で [メニュー]→**送信設定**を選択→ →**フィーリング設定**を選択→

2 感情の項目を選択→ → で感情アイコンを選択→

選択したアイコンが件名の先頭に挿入されます。

3 [送信]

15 メール

SMSを作成/送信する

- 入力可能項目と最大送信可能文字数について（☞P.15-2）
- 文字の入力方法について（☞P.3-2）
- 通話中にSMSを作成/送信するには（☞P.2-10）

メインメニューから メール ▶ SMS新規作成

1 宛先を入力するには

<宛先入力>を選択→ ●

2 アドレス帳から宛先を選択する場合

アドレス帳を選択→ ● →送信先を選択→ ● →電話番号を選択→ ●

宛先を直接入力する場合

電話番号入力を選択→ ● →電話番号を入力→

送信履歴から宛先を選択する場合

送信履歴引用を選択→ ● →送信先を選択→

SMS新規作成画面

3 本文を入力するには

<本文入力>を選択→ ● →本文を入力→ ●

- 本文が送信可能文字数を超えると、S!メールに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。（S!メールの蓄積メモリがいっぱいの場合や通話中にSMSを作成している場合、SMSの本文入力設定を半角英数入力にしている場合は切り替えられません。）

4 SMSを送信するには

Y! **[送信]**

宛先を修正する/複数の宛先を入力するには
宛先リストは編集できます。（☞P.15-8）ただし、「To」「Cc」「Bcc」指定はできません。

作成中のSMSをS!メールに切り替えるには
新規作成画面で ✉**[メニュー]**→**メールタイプ切替**を選択→ ●

送信したSMSが届いたかどうか確認したいときは
送信したSMSが相手に届くと配信確認のレポートが通知されるように設定できます。
送信する前に ✉**[メニュー]**→**送信設定**を選択→ ● →**配信確認**を選択→ ● →**ON**を選択→ ●

- 常に配信確認を**ON**にしたいときは（☞P.15-26）

15 メール

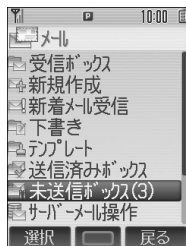
送信したSMSのメールサーバーでの有効期限を設定するには

保管されたSMSは、設定された有効期限が経過されると削除されます。

送信する前に [メニュー]→**送信設定**を選択→ → **有効期限**を選択→ →期間を選択→

- 送信するすべてのSMSの有効期限を設定するには(☞P.15-30)

送信に失敗した場合

メールメニュー画面の未送信ボックスに、未送信件数が表示されます。

- 宛先を入力しないと、新規作成画面に **[送信]**は表示されません。
- 送信したSMSを保存しないように設定できます。(☞P.15-30)

下書きを利用する

作成したメールを下書きとして保存しておき、あとで編集したり、送信できます。

作成したメールを下書きとして保存する

1 メールを作成したら、新規作成画面で **[メニュー]**→**下書き保存**を選択→

下書きしたメールを編集／送信する

メインメニューから メール ▶ 下書き

1 **編集してから送信する場合**

メールを選択→ →編集する→新規作成画面で **[送信]**

すぐに送信する場合

メールを選択→ **[メニュー]**→**送信**を選択→

メール受信

新着メールを確認する

メールを受信すると、メール着信音やイルミネーション点滅などのあと、待受画面にインフォメーションが表示されます。

- インフォメーションや受信ボックスに表示される件数は、S!メールとSMSの合計です。
- 本機を閉じたままでも、新着メールを確認できます。

1 インフォメーションの**メール**を選択→

受信ボックスが表示されます。

2 フォルダを選択→

3 一覧画面から未読のメールを選択→

- メール画面の見かたについて（☞P.15-5）
- 続きのあるS!メールを受信するには（☞P.15-14）
- メールの内容を確認するには（☞P.15-17）
- 一覧画面に戻るには：クリア/メモ

待受画面以外でメールを受信した場合

メール着信音やイルミネーション点滅などと同時に「 」が点滅し、メールを受信した旨のメッセージが表示されます。

- 通話中はメール着信音の代わりに受話口から電子音が「プープー」と鳴ります。待受画面に戻ると、インフォメーションを確認できます。
- メディアプレイヤー再生中は、イルミネーションと「 」が点滅します。インターネット利用中／Flash®コンテンツ再生中は、「 」だけが点滅します。（着信音とメッセージの表示はありません。）

フィーリングメールを受信するには

送信側で設定された感情アイコンに応じて、イルミネーション、バイブ、着信音が動作し、インフォメーションが表示されるように設定できます。
（☞P.15-28）

- インフォメーション表示を**ON**にすると、通常のインフォメーション表示の下段に感情アイコンと送信元が表示されます。

インフォメーションを受けとる前に、手動で新着S!メールを確認するには

圏外などにいて受信できていないS!メールをすぐに確認したい、メモリが足りなくて受信できていないS!メールを不要なS!メールを削除したあとすぐに確認したい、などの場合は手動で新着S!メールを確認できます。

メインメニューから メール ▶ 新着メール受信

- 受信設定（☞P.15-27）にかかわらず、すべての文章を受信します。

補足

- メール受信時の着信音や着信音量、着信音の鳴動時間、イルミネーションなどは変更できます。（音の設定☞P.7-8～P.7-9／イルミネーション設定☞P.8-2）
- アドレス帳登録時にメール着信音を個別に設定できます。（☞P.4-4）
- 本機を閉じているときに受信した場合、開けたときに受信ボックスを直接表示するように設定できます。（オープン新着表示設定☞P.15-26）
- 振り分け設定（☞P.15-19）をすると、受信メールを指定したフォルダに自動的に振り分けます。

S!メールの続きを受信する

サービスセンターに蓄積されたS!メールの一部（先頭部分）をS!メール通知として受信した場合、その続きは手動で受信してください。

- 受信ボックス内のS!メール通知には「(未読）／(既読)」が表示されています。続きを受信すると「／」に変わります。
- 国内でのお買い上げ時の設定では、本文を自動受信します。受信方法は変更できます。（受信設定☞P.15-27）

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→

2 S!メール通知を選択→ →本文一番下の、**続きあり**を選択→

複数のS!メールの続きを受信するには

一覧画面でS!メール通知を選択→**[メニュー]**→**受信**を選択→ →**複数選択**を選択→ →（メールを選択→ ）※→**[受信]**→確認画面で

※ 選択されたメールの左端のマークが「」に変わります。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 を押すと選択が解除されます。）

補足

S!メールの続きを受信せずにサーバーメールを削除することもできます。（☞P.15-25）

サーバーメールを利用する

サービスセンターに一時蓄積されているS!メール（サーバーメール）の一覧（メールリスト）を使って、サーバーメールを受信、転送、削除できます。

メールリストを取得する

メインメニューから メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト

1 [更新]→確認画面で

メールリストが表示されます。

一度受信したメールリストを更新するには

手順1で、**[メニュー]→リスト更新**を選択→ →確認画面で

サーバーメールを受信する

メールリストからS!メールを選んで受信できます。受信したS!メールは受信ボックスに保存され、メールリストからは削除されます。

メインメニューから メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト

1 受信したいS!メールを選択→**[メニュー]**→**受信**を選択→

2 **1件のみ受信する場合**

1件を選択→

複数選択して受信する場合

複数選択を選択→ →（メールを選択→ ）※→**[受信]**→確認画面で

※ 選択されたメールの左端のマークが「☑」に変わります。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 を押すと選択が解除されます。）

全件受信する場合

全件を選択→ →確認画面で

サーバーメールの詳細情報を確認するには

手順1でメールを選択→**[メニュー]→プロパティ**を選択→

15 メール

サーバーメールを転送する

メールリストからS!メールを選んで転送できます。転送したS!メールはメールリストからは削除されません。

- サーバーメール転送によって下書き、未送信ボックス、送信済みボックスに保存されたメールには「 」が表示されます。

メインメニューから メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト

1. 転送したいS!メールを選択→ **[メニュー]**→**サーバーメール転送**を選択→
2. **<宛先入力>**を選択→ →宛先を選択または入力→
3. **[送信]**

サーバーメールを削除する

メインメニューから メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト

1. 削除したいS!メールを選択→ **[メニュー]**→**サーバーメール削除**を選択→
2. **1件のみ削除する場合**
   1件を選択→ →確認画面で
   複数選択して削除する場合

   複数選択を選択→ →（メールを選択→ ）※→ **[削除]**→確認画面で
   ※ 選択されたメールの左端のマークが「 」に変わります。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 を押すと選択が解除されます。）
   全件削除する場合
   全件を選択→ →確認画面で

補足
メインメニューから メール ▶ サーバーメール操作 ▶ サーバーメール全削除 でもサーバーメールを全件削除できます。

サーバーメールを並び替える

サーバーメールを日付順または送信者順に並べ替えます。

メインメニューから メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト

1. **[メニュー]**→**ソート**を選択→
2. **日付**または**送信者**を選択→

メールの利用

メールの内容を確認する

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス、送信済みボックスまたは未送信ボックス

1 メールを選択→

- 受信ボックスの場合は、フォルダを選択してからメールを選択してください。

添付ファイルがあると

添付されてきた画像を自動的に表示／再生します。

- 添付されてきたサウンドを自動的に再生することもできます。（☞P.15-29）
- 自動再生可能なファイル形式は次のとおりです。
  音楽ファイル（SMAF、AMR、MIDI、SP-MIDI）
  画像ファイル（JPG、GIF、PNG）
- 個別の添付ファイルを確認／保存するには（☞P.15-18）

文字サイズを変更するには

本文表示画面で [メニュー]→**文字サイズ**を選択→

メールの詳細を確認するには

件名、送信元（From）、宛先（To、Cc、Bcc）、Reply-to、日付、サイズ、メール種別、添付ファイルの有無、優先度などを確認できます。確認できる詳細は、保存されているメールボックスやメールの種類によって異なります。

一覧画面または本文表示画面で [メニュー]→**プロパティ**を選択→

受信したS!メールのシステムメッセージを確認するには

システムメッセージとは、受信時の不具合（添付ファイルが一部受信できなかったなど）をお知らせするメッセージです。受信したS!メールにシステムメッセージが付加されている場合、本文表示画面の添付ファイル欄の右側に「」が表示されます。

S!メールの本文表示画面で [メニュー]→**システムメッセージ**を選択→

補足

電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間保存されているメールの宛先などは、アドレス帳に名前を登録していても、電話番号やメールアドレスで表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。

デルモジ表示について

デルモジ表示とは、メール本文内の単語や絵文字、顔文字などに対応して3Dアニメーションが表示される機能です。

- デルモジ表示されるのは150文字までです。
- S!メール通知の本文はデルモジ表示されません。
- デルモジの表示／非表示や背景色を設定できます。（☞P.15-29）

1 本文表示画面で [メニュー]→**デルモジプレビュー**を選択→

- 一時停止／再開する場合：
- 中止する場合： [停止]

添付ファイルを確認／保存する

- 確認／保存できるファイル形式について（☞P.10-2）

1 本文表示画面で ✉ **[メニュー]**→ **添付ファイル一覧**を選択→ ●

2 ファイルを選択→ ●
   - ファイルが複数ある場合は、Y! **[戻る]**を押して一覧画面に戻ってから手順2を繰返してください。

3 保存する場合は、一覧画面で ✉ **[保存]**→ **本体**または**メモリカード**を選択→ ●

コンテンツ・キーについて
コンテンツ・キー（コンテンツの使用権）が必要なファイルのアイコンには「🔒（銀色）」が表示されています。コンテンツ・キーが有効期限切れなどの場合は、新たに取得しないと表示や再生ができません。その場合、手順2のあとで警告メッセージが表示されます。

補足
- 画像ファイルの場合、相手の撮影方法によっては画像の方向が回転して表示されることがあります。
- 添付されてきた画像やサウンドを自動的に表示／再生するかどうかを設定できます。（☞P.15-29）

受信メールをフォルダで管理する

受信ボックスには受信メールフォルダ以外にフォルダが10個あります。フォルダの名前を変更して、フォルダ間でメールを移動して管理できます。また、振り分け設定（☞P.15-19）をすると、受信メールを宛先や件名によって指定したフォルダに自動的に振り分けることができます。

フォルダの名前を変更する

- 受信メールフォルダの名前を変えることはできません。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→ ✉ **[メニュー]**→ **名称変更**を選択→ ●

2 フォルダ名を入力→ ●

フォルダ間でメールを移動する

- USIMカードに保存されたSMSは移動できません。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→ ●

2 移動したいメールを選択→[メニュー]→**移動**を選択→

3 **1件のみ移動する場合**
1件を選択→ →移動先フォルダを選択→

複数件移動する場合
複数選択を選択→ →（メールを選択→ ）※→[移動]→移動先フォルダを選択→ →確認画面で

※ 選択されたメールの左端のマークが「 」に変わります。この手順を繰返して複数選択してください。（もう一度 を押すと選択が解除されます。）

指定フォルダへの振り分け設定

受信したメールを宛先（メールアドレス／電話番号）によって指定したフォルダに自動的に振り分けます。メールの件名で振り分けることもできます。

- 1つのフォルダにつき最大10件の宛先または1件の件名を登録できます。
- 件名での振り分けは、登録した文字列が含まれるものが対象となります。SMSは件名では振り分けできません。
- 設定後に受信したメールが振り分けの対象になります。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→[メニュー]→**フォルダ振り分け**を選択→

2 **宛先で振り分ける場合**
[メニュー]→**宛先追加**を選択→ →**アドレス帳**、**電話番号入力**、**Eメールアドレス入力**または**送信履歴引用**を選択→ →宛先を選択または入力→

件名で振り分ける場合
[メニュー]→**件名追加**を選択→ →件名を入力→

登録した宛先／件名を編集または削除するには
削除したい宛先または件名を選択→[メニュー]→**編集**または**削除**を選択→

- **メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ 共通設定 ▶ フォルダ振り分け** からでも設定できます。
- 同じ宛先や件名が登録されている場合、フォルダ番号の小さい方への振り分けが優先されます。

15 メール

メールを並べ替える

各メールボックスやサーバーメールリスト内のメールを、日付や送信者／宛先、未読／既読、添付の有無などで並べ替えることができます。

1 一覧画面で [メニュー]→**ソート**を選択→

2 **受信ボックスのフォルダ内のメールを並べ替える場合**
日付、**送信者**、**未読既読**または**添付有り無し**を選択→

下書き、送信済みボックスまたは未送信ボックス内のメールを並べ替える場合
日付、**宛先**または**添付有り無し**を選択→

サーバーメールリスト内のメールを並べ替える場合
日付または**送信者**を選択→

メールを返信する

メールの送信元に返信できます。宛先が複数あるメールの場合は、全員に同じ内容のメールを一度に返信できます。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→

2 返信したいメールを選択→

3 **送信元のみに返信する場合**
[返信]

全員に返信する場合
[メニュー]→**返信**を選択→ →
全員に返信を選択→

- S!メールを返信する場合は、件名の先頭に返信を示す「Re:」が付きます。

4 内容を編集したら、[送信]

- S!メールを返信するときに、受信した本文を引用するように設定できます。(☞P.15-27) SMSを返信するときは、受信した本文を引用できません。
- メール返信時は、元の受信メールに含まれている単語を優先して予測候補リストに表示します。優先しないように設定することもできます。(☞P.15-27)

メールを転送する

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→

2 転送したいメールを選択→ **[メニュー]**→ **転送**を選択→

- 本文表示画面からも操作できます。
- S!メールを転送する場合は、件名の先頭に転送を示す「Fw:」が付きます。本文が引用され、先頭に「>」が付きます。
- 添付ファイルがある場合は、添付ファイルも転送されます。

3 宛先を入力して内容を編集したら、 **[送信]**

S!メール通知／サーバーメールを転送するには

S!メール通知を転送したり、S!メール通知を使ってサーバーメールを転送することもできます。手順2で、転送したいS!メール通知を選択→ **[メニュー]**→**転送**を選択→ →**転送**または**サーバーメール転送**を選択→

- 著作権保護ファイルを含むS!メールの場合、転送できないことがあります。
- メール転送時は、元の受信メールに含まれている単語を優先して予測候補リストに表示します。優先しないように設定することもできます。（返信時自動学習の設定☞P.15-27）

送信元／送信先の相手の電話番号／メールアドレスを利用する

送信元／送信先の相手に電話をかける

1 一覧画面でメールを選択→ **[メニュー]**→ **発信**を選択→

- 本文表示画面からも操作できます。

2 **音声**または**TVコール**を選択→

- 国際電話をかけるには：**国際発信**を選択→ → 国を選択→ →
- 電話番号の通知／非通知を選択してかけるには：**番号通知**または**番号非通知**を選択→ →

15 メール

送信元／送信先の相手の電話番号／メールアドレスをアドレス帳に登録する

- 受信ボックスと送信済みボックス内のメールからのみ登録できます。

1 一覧画面でメールを選択→ **[メニュー]**→ **送信元をアドレス帳へ登録**または**送信先をアドレス帳へ登録**を選択→

- 本文表示画面からも操作できます。

2 **新規登録**または追加登録する相手を選択→ →他の項目を入力し、保存する（☞P.4-4手順1以降）

本文内の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

電話番号を利用する

メール本文内の電話番号を利用して、発信、メールの新規作成、アドレス帳への登録ができます。

- 反転表示している電話番号のみ利用できます。

1 本文表示画面で電話番号を選択→

2 **電話をかける場合**

発信を選択→ →**音声**または**TVコール**を選択→

- 国際電話をかけるには：**国際発信**を選択→ → 国を選択→ →
- 電話番号の通知／非通知を選択してかけるには：**番号通知**または**番号非通知**を選択→ →

メールを新規作成する場合

メール新規作成を選択→ →**S!メール**または**SMS**を選択→ →他の項目を入力し、送信する（S!メール☞P.15-7手順3以降／SMS☞P.15-11手順3以降）

アドレス帳に登録する場合

アドレス帳へ登録を選択→ [センターキー] →**新規登録**または追加登録する相手を選択→ [センターキー] →他の項目を入力し、保存する（☞P.4-4手順1以降）

メールアドレスを利用する

メール本文内のメールアドレスを利用して、メールの新規作成、アドレス帳への登録ができます。

- 反転表示しているメールアドレスのみ利用できます。

1 本文表示画面でメールアドレスを選択→ [センターキー]

2 **S!メールを新規作成する場合**

メール新規作成を選択→ [センターキー] →他の項目を入力し、送信する（☞P.15-7手順3以降）

アドレス帳に登録する場合

アドレス帳へ登録を選択→ [センターキー] →**新規登録**または追加登録する相手を選択→ [センターキー] →他の項目を入力し、保存する（☞P.4-4手順1以降）

URLを利用する

メール本文内のURLを利用して、インターネットにアクセス、ブックマークに追加登録ができます。

- 反転表示しているURLのみ利用できます。
- ブックマークについて（☞P.16-9）

1 本文表示画面でURLを選択→ [センターキー]

2 **インターネットにアクセスする場合**

URLに接続を選択→ [センターキー] →確認画面で [センターキー]

- インターネットアクセス中の操作について（☞P.16-7）

ブックマークに追加登録する場合

ブックマークに追加を選択→ [センターキー] →**<タイトル>**を選択→ [センターキー] →タイトルを入力→ [センターキー] →フォルダ欄を選択→ [センターキー] →フォルダを選択→ [センターキー] →[メールキー]**[保存]**

メールを保護する

受信ボックスと送信済みボックス内の削除したくないメールを保護できます。

- 保護されたメールには「🔒(金色)」が表示されます。
- USIMカードに保存されたSMSは保護できません。

1 受信ボックスまたは送信済みボックス内のメールを選択→✉**[メニュー]**→**保護**または**保護解除**を選択→●

2 **1件のみ保護/保護解除する場合**

1件を選択→●

複数件保護/保護解除する場合

複数選択保護または**複数選択保護解除**を選択→●→(メールを選択→●)※→✉**[保護]**または✉**[保護解除]**

※ 選択されたメールの左端のマークが「☑」に変わります。この手順を繰返して複数選択してください。(もう一度●を押すと選択が解除されます。)

メールを削除する

各メールボックス内のメールやS!メール通知を削除できます。S!メール通知を受信してもS!メールの続きを受信せずに、サーバーメールを削除することもできます。

メールを1件ずつ削除する

1 一覧画面で削除したいメールを選択→✉**[メニュー]**→**削除**を選択→●

2 **1件**を選択→●→確認画面で●

本文表示中に削除するには

本文表示画面で✉**[メニュー]**→**削除**を選択→●→確認画面で●

複数のメールを一度に削除する

1 一覧画面で✉**[メニュー]**→**削除**を選択→●→**複数選択**を選択→●

2 削除したいメールを選択→●

メールの左端のマークが「☑」に変わります。

- もう一度●を押すと選択が解除されます。

3 手順2を繰返して、削除したいメールをすべて選択→[削除]→確認画面で

メールボックス内のメールをすべて削除する

1 一覧画面で [**メニュー**]→**削除**を選択→ →**全件**を選択→

2 確認画面で [**YES**]→操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

S!メール通知からサーバーメールを削除する

1 受信ボックスの一覧画面でS!メール通知を選択→ [**メニュー**]→**削除**を選択→

2 **サーバーメール削除**を選択→ →確認画面で

保護されたメールの複数選択／全件削除はできません。

SMSをコピーする

本体に保存されているSMSをUSIMにコピーできます。また、USIMに保存されているSMSを本体にコピーできます。

- USIMにコピーされたSMSは「／」と表示されます。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→

2 コピーしたいSMSを選択→ [**メニュー**]→**外部機器送信**を選択→

3 **USIMへのコピー**または**本体へのコピー**を選択→

15 メール

その他の機能

S!メール・SMSの共通設定

オープン新着表示設定

【お買い上げ時】OFF

新着メールのインフォメーションが表示されているときに本機を開くと、受信ボックスが直接表示されます。

- 複数のインフォメーションが表示されているときは、**メール**を選択してから開きます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ 共通設定 ▶ オープン新着表示

1 **ON**（表示する）または**OFF**（表示しない）を選択→

文字サイズの設定

【お買い上げ時】標準

文字サイズを変更できます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ 共通設定 ▶ 文字サイズ

1 **大**、**標準**または**小**を選択→

補足
- 文字のサイズは本文表示画面でも変更できます。（☞P.15-17）
- 設定を変更しても、作成中のS!メールの件名／本文入力画面の文字サイズは変わりません。プレビューすると、設定したサイズになります。

配信確認の設定

【お買い上げ時】OFF

送信したメールが相手に届くと配信確認のレポートが通知されるかどうか設定します。

- 宛先がソフトバンク携帯電話番号の場合のみ利用できます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ 共通設定 ▶ 配信確認

1 **ON**（通知される）または**OFF**（通知されない）を選択→

作成したメールごとに配信確認を設定することもできます。（S!メールの場合☞P.15-7／SMSの場合☞P.15-11）

返信時自動学習の設定

【お買い上げ時】ON

メールを返信または転送するときに、元の受信メールに含まれている単語を優先して予測候補リストに表示します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ 共通設定 ▶ 返信時自動学習

1 **ON**または**OFF**を選択→ [決定]

S!メール設定

受信設定

【お買い上げ時】ホームネットワーク自動受信：自動受信／ローミング自動受信：手動受信

国内もしくは国際ローミングサービス利用時に、自動的に本文を受信するかどうかを設定します。

- **自動受信**に設定すると、添付ファイルを含む全文が自動でお客さまの携帯電話に受信されます。メールを全文受信された場合、お客さまのご契約内容に応じて、所定の料金が発生いたしますので、ご利用状況に合わせた受信設定をお選びください。
- **電話番号のみ自動受信**に設定すると、宛先が電話番号のS!メールのみを自動受信します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ S!メール設定 ▶ 受信設定 ▶ ホームネットワーク自動受信または**ローミング自動受信**

1 **ホームネットワークの設定の場合**

自動受信、**電話番号のみ自動受信**または**手動受信**を選択→ [決定]

ローミングの設定の場合

自動受信または**手動受信**を選択→ [決定]

待受画面以外では自動受信できない場合があります。S!メール通知を受信後、続きを受信してください。（☞P.15-14）

本文引用の設定

【お買い上げ時】OFF

返信するときに、受信した本文を引用するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ S!メール設定 ▶ 本文引用

1 **ON**（引用する）または**OFF**（引用しない）を選択→ [決定]

フィーリング設定

送信側で設定された感情アイコンに応じて、イルミネーション、バイブ、メール着信音が動作し、インフォメーションが表示されるように設定できます。

- それぞれの項目の設定を**ON**にした場合のお買い上げ時の設定は次のとおりです。

感情	イルミネーション	バイブ	メール着信音
Happy/うれしい	マリンブルー	パターン1	Happy/うれしい.mmf
OK/Good	スカイブルー	パターン1	OK/Good.mmf
悲しい/ごめんなさい	レモン	パターン2	悲しい/ごめんなさい.mmf
NG/Bad	バイオレット	パターン2	NG/Bad.mmf
注目/重要	ローズ	パターン3	注目/重要.mmf

- 送信側がアドレス帳に登録されていて下記の条件のいずれかにあてはまる場合は、フィーリングメール受信時のイルミネーション、バイブ、メール着信音の動作がすべて無効になり、アドレス帳の設定が優先されます。
  - ・アドレス帳登録のメール着信音が通常設定連動以外に設定されている
  - ・アドレス帳登録のイルミネーションが通常設定連動以外に設定されている

■ インフォメーション表示／イルミネーション／バイブ／メール着信音の動作設定

【お買い上げ時】インフォメーション表示設定、イルミネーション連動設定、バイブパターン連動設定：ON／メール着信音設定：OFF

インフォメーション表示、イルミネーション、バイブ、メール着信音の動作をするかどうかを設定します。

- インフォメーション表示を**ON**にすると、通常のメール受信のインフォメーション表示の下段に感情アイコンと送信元が表示されます。（☞P.15-13）

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ S!メール設定 ▶ フィーリング設定

1 **インフォメーション表示の設定**
インフォメーション表示設定を選択→ ◉

イルミネーション／バイブ／メール着信音の設定
イルミネーション連動設定、
バイブパターン連動設定または
メール着信音設定を選択→ ◉ →
設定ON/OFFを選択→ ◉

2 **ON**または**OFF**を選択→ ◉

■ イルミネーション／バイブ／着信音のパターン設定

【お買い上げ時】表参照（☞P.15-28）

（☞P.15-28）

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ S!メール設定 ▶ フィーリング設定 ▶ イルミネーション連動設定、バイブパターン連動設定または**メール着信音設定**

1 感情の項目を選択→●

2 色、バイブパターンまたは着信音を選択→●

- 着信音を選択して●を押すと再生されます。決定するには着信音を選択して✉**[決定]**を押してください。

添付ファイル自動再生の設定

【お買い上げ時】イメージ：ON／サウンド：OFF

添付されてきた画像やサウンドを自動的に表示／再生するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ S!メール設定 ▶ 添付ファイル自動再生設定

1 **イメージ**または**サウンド**を選択→●

2 **ON**または**OFF**を選択→●

補足 複数の音楽ファイルがある場合は1つ目が再生され、画像ファイルはすべて本文のあとに表示されます。

デルモジ表示設定

自動再生の設定

【お買い上げ時】通常表示

受信したメールをデルモジ表示するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ デルモジ表示設定 ▶ 自動再生

1 **常にデルモジ表示、未開封時のみデルモジ表示**または**通常表示**を選択→●

文字色・背景色の設定

【お買い上げ時】白

デルモジ表示の背景色を設定します。文字色は背景色によって変わります。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ デルモジ表示設定 ▶ 文字色・背景色

1 背景色を選択→●

SMS設定

送信済みSMSの保存設定

【お買い上げ時】ON

送信したSMSを自動的に保存するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS設定 ▶ 送信済みSMS保存

1 **ON**（保存する）または**OFF**（保存しない）を選択→

有効期限の設定

【お買い上げ時】USIMの設定による

送信したSMSがメールサーバーで保管される期間を設定します。何らかの理由で相手に送信されなかったSMSは一時的にメールサーバーに保管され、送信が完了するか、有効期限まで繰返し送信されます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS設定 ▶ 有効期限

1 **指定なし**、**1時間**、**6時間**、**12時間**、**1日**または**3日**を選択→

- **指定なし**は、サーバーの設定に従います。

補足
- 保管されたSMSは、設定された有効期限が経過すると消去されます。
- 作成したSMSごとに有効期限を設定することもできます。（☞P.15-12）

SMSセンター番号の設定

【お買い上げ時】+819066519300

SMS利用時に使用するSMSセンター番号を編集できます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS設定 ▶ SMSセンター番号

1 SMSセンター番号を入力→

設定を編集するとSMSが利用できなくなることがあります。

本文入力文字の設定

【お買い上げ時】日本語入力（70文字）

SMSの本文を入力する文字を設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS設定 ▶ 本文入力設定

1 **日本語入力（70文字）**または**半角英数入力（160文字）**を選択→

Yahoo!ケータイ

Yahoo!ケータイについて

Yahoo!ケータイとは、インターネットに接続して、ソフトバンク携帯電話で利用できる携帯電話専用のポータルサイト「Yahoo!ケータイ」またはPCサイトブラウザを利用した情報の閲覧などができるサービスです。

本書では、携帯専用ポータルサイトを「Yahoo!ケータイ」、PCサイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「PCサイト」、これらの総称を「インターネット」と表記しています。

- 「Yahoo!ケータイ」と「PCサイト」では、それぞれ次のようなことができます。

インターネット

Yahoo!ケータイ
＜携帯専用ポータルサイト＞

- Yahoo!ケータイの情報画面の閲覧（☞P.16-3）
- 画像などのデータのダウンロード（☞P.16-13）
- 動画／音楽のストリーミング（☞P.16-15）
- ライブモニターへの登録（☞P.16-17）

PCサイト
＜パソコン向けサイト＞

- PCサイトブラウザを利用したPCサイトの情報画面の閲覧（☞P.16-5）
- 静止画のダウンロード（☞P.16-13）

- インターネットの利用には、別途ご契約が必要です。
- インターネットのサービス内容や通信料などの詳細は、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」でご案内しています。
- インターネット利用中はTVコール着信はできません。

情報の保存について

インターネットで入手した情報はキャッシュメモリに一時保管されます。

キャッシュメモリに保存されている情報は、メモリがいっぱいになると古い情報から順に自動的に消去されます。

- 一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュメモリに一時保存されている情報が表示されることがあります。最新の内容を見るには、情報を更新してください。（☞P.16-16）
- 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから自動的に消去されます。
- 保存された情報はインターネットを終了したり、電源を切っても消去されません。
- 保存された情報をすべて消去することもできます。（☞P.16-22）

SSL/TLSについて

SSL（Secure Socket Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。一般的に、クレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信する際に使用されます。本機にはあらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、この証明書の内容を確認することもできます。（☞P.16-24）

SSL/TLS利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用することに同意されたものとします。お客様自身によるSSL/TLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

Yahoo!ケータイに接続する

メニューから接続する

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選び、情報を入手します。

メインメニューから Yahoo!ケータイ

1 **Yahoo!ケータイ**を選択→

Yahoo!ケータイのメインメニューが表示されます。

2 項目を選択→

- 閲覧する項目が表示されるまで繰返します。
- 情報画面での操作のしかたについて（☞P.16-7）

補足

待受画面で Y! [Y!]を押すと、インターネット上のYahoo!ケータイのメインメニューが直接表示されます。

Yahoo!ケータイ

16

URLを入力して接続する

URL(「http://」/「https://」で始まるアドレス)を直接入力して、情報画面を表示します。また、これまでに入力した情報画面のURLの履歴を利用して、同じ情報画面へもう一度簡単にアクセスできます。

● Yahoo!ケータイのURL履歴一覧には、入力した情報画面のURLが新しいものから最大20件まで保存されます。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ URL入力

1 **URLを直接入力する場合**

直接入力を選択→ →URLを入力→

URL履歴一覧を利用する場合

URL履歴一覧を選択→ →URLを選択→

履歴を編集するには

URL履歴一覧でURLを選択→**[メニュー]**→**編集**を選択→ →編集する→

履歴を削除するには

URL履歴一覧で削除したいURLを選択→**[メニュー]**→**削除**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→ →確認画面で**[YES]**

アクセス履歴を使って接続する

これまでに表示したYahoo!ケータイの情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

● Yahoo!ケータイのアクセス履歴一覧には、これまでに表示した情報画面のURLが新しいものから最大100件まで保存されます。(保存可能件数はURLの長さにより変動します。)

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ アクセス履歴一覧

1 履歴を選択→

履歴を削除するには

アクセス履歴一覧で削除したいURLを選択→**[メニュー]**→**削除**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→ →確認画面で**[YES]**→**全件**を選択した場合は、操作用暗証番号(4桁)(☞P.1-22)を入力→

Yahoo!ケータイを終了する

1 閲覧中に HLD →確認画面で

本機を閉じても通信は終了しません。

PCサイトに接続する

メニューから接続する

PCサイトブラウザでパソコン向けサイトを閲覧できます。
- PCサイトブラウザ起動中は「」が表示されます。
- サイトによってはうまく表示されない場合があります。
- データ量の多い情報画面を表示するときは通信料が高額になりますので、ご注意ください。

メインメニューから **Yahoo!ケータイ**
▶ **PCサイトブラウザ**

1 **ホームページ**を選択→

警告文が表示され、[OK]を押すとホームページが表示されます。以後警告文は表示されません。

- 警告文を毎回表示させたい場合：**この画面を毎回表示**を選択→

2 項目を選択→

閲覧する項目が表示されるまで繰返します。

URLを入力して接続する

URL(「http://」/「https://」で始まるアドレス)を入力して、情報画面を表示します。また、これまでに入力した情報画面のURLの履歴を利用して、同じ情報画面へもう一度簡単にアクセスできます。
- PCサイトのURL履歴一覧には、入力した情報画面のURLが新しいものから最大20件まで保存されます。

メインメニューから **Yahoo!ケータイ**
▶ **PCサイトブラウザ** ▶ **URL入力**

1 **URLを直接入力する場合**

直接入力を選択→ →URLを入力→

URL履歴一覧を利用する場合

URL履歴一覧を選択→ →URLを選択→

履歴を編集するには

URL履歴一覧でURLを選択→**[メニュー]**→**編集**を選択→ →編集する→

履歴を削除するには

URL履歴一覧で削除したいURLを選択→**[メニュー]**→**削除**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→ →確認画面で**[YES]**

アクセス履歴を使って接続する

これまでに表示したPCサイトの情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

- PCサイトのアクセス履歴一覧には、これまでに表示した情報画面のURLが新しいものから最大100件まで保存されます。（保存可能件数はURLの長さにより変動します。）

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ PCサイトブラウザ ▶ アクセス履歴一覧

1 履歴を選択→

履歴を削除するには

アクセス履歴一覧で削除したいURLを選択→ **[メニュー]** →**削除**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→ →確認画面で **[YES]**→**全件**を選択した場合は、操作用暗証番号（4桁）（☞P.1-22）を入力→

PCサイトブラウザを終了する

1 閲覧中に HLD →確認画面で

補足 本機を閉じても通信は終了しません。

Yahoo!ケータイ 16

情報画面での操作のしかた

基本的な操作

カーソルを移動する	画面内に選択可能な項目がある場合、カーソルを移動します。 ：右の項目に移動 ：左の項目に移動 ：前の行の項目に移動 ：次の行の項目に移動
画面のスクロール	上下や左右に画面の続きがある場合、画面の右または下にスクロールバーが表示されます。 ：上下の画面の続きを表示 ：左右の画面の続きを表示 ：一画面分上にスクロール ：一画面分下にスクロール ● 、 または を長押しすると、連続してスクロールできます。
前の画面に戻る／次の画面に進む	表示した画面はキャッシュメモリ（P.16-2）に一時的に保存されています。 **[戻る]**：前の画面に戻る **[メニュー]→進む**を選択→ ：次の画面を表示 ● 情報画面によっては、**[戻る]**が表示されなかったり、**[メニュー]→進む**が選択できないことがあります。

情報画面表示中の音量について

- マナーモード設定中や音声着信の音量が**サイレント**の場合は、情報画面表示中のBGMなどの音は鳴りません。
- 情報画面表示中にBGMなどの音量の調節はできません。あらかじめ音声着信の音量を調節してください。（☞P.7-9）
- 音楽再生などでメディアプレイヤーが起動した場合は調節できます。
- モード設定やメール着信音量の設定に関係なく、情報画面表示中はメール着信音は鳴りません。

セキュリティで保護されている情報画面を表示するには

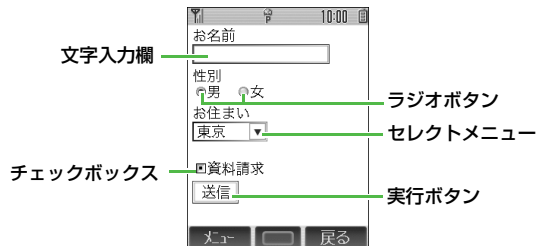
SSL/TLSに対応している情報画面を表示しようとすると、確認画面が表示されます。その場合は **[YES]**を押してください。

認証要求時の操作

情報画面によっては、接続のために認証（ユーザー認証要求時の操作）を要求されることがあります。このときは、ユーザー ID／パスワード入力→ を行ってください。

情報画面内の文字入力や項目選択

文字入力欄や選択項目が表示された場合は、次のように操作します。

例）

文字入力欄	ボックスにカーソルを合わせて を押すと、文字を入力できます。 入力が終わったら、もう一度 を押します。
セレクトメニュー	メニューボックスにカーソルを合わせて を押すと、メニュー項目がリストで表示されます。 選択する項目にカーソルを合わせて を押します。複数選択できる場合は、選択された項目の背景色が変化して、選択されていることを示します。
ラジオボタン	選択する項目の「○」にカーソルを合わせて を押すと、「●」に変わり、選択されていることを示します。
チェックボックス	選択する項目の「□」にカーソルを合わせて を押すと、「▣」に変わり、選択されていることを示します。
実行ボタン	ボタンにカーソルを合わせて を押すと、ボタン上に表示されている操作を行います。

実際の画面とは異なる場合があります。

情報の利用

ブックマーク／お気に入りを利用する

よく利用するURLや情報画面を「ブックマーク」、「お気に入り」に登録しておくと、簡単な操作で表示できます。

ブックマーク	情報画面のURLを登録します。情報は、インターネットに接続することで確認できます。フォルダで管理できます。
お気に入り	情報画面そのものが登録されます。情報は、インターネットに接続せずに確認できます。

補足　著作権などで保護されている情報は保存できないことがあります。

情報画面を登録する

1 情報画面を表示する→ **[メニュー]**→
ブックマークまたは**お気に入り**を選択→

2 **登録**を選択→

3 **ブックマークを登録する**
タイトル欄を選択→ →タイトルを編集→
→ **[保存]**

- フォルダ内に保存するには：フォルダ欄を選択→ →保存先フォルダを選択→ （フォルダが存在しない場合は、フォルダ欄を選択できません。）

お気に入りを登録する
タイトルを編集→

URLを入力してブックマークを登録するには

ブックマークはインターネットに接続していない状態でもURLを直接入力して登録できます。

メインメニューから Yahoo!ケータイ（▶ PCサイトブラウザ）▶ ブックマーク

1 ブックマーク一覧画面またはフォルダ内で **[メニュー]**→**新規作成**を選択→ → **ブックマーク**を選択→

- 登録がまだない場合：**[新規作成]**→一覧画面の場合は**ブックマーク**を選択→

2 **<タイトル>**を選択→ →タイトルを入力→

3 **<URL>**を選択→ →URLを入力→

4 フォルダ内に保存する場合は、フォルダ欄を選択→ →保存先フォルダを選択→

- フォルダが存在しない場合はフォルダ欄を選択できません。

5 **[保存]**

登録した情報画面を表示する

メインメニューから Yahoo!ケータイ（▶ PCサイトブラウザ）

1 **ブックマーク**または**お気に入り**を選択→

2 タイトルを選択→

情報画面表示中にブックマーク／お気に入りの一覧を表示するには

情報画面で **[メニュー]**→**ブックマーク**または**お気に入り**を選択→ →**一覧表示**を選択→

Yahoo!ケータイ

16

ブックマークを管理する

Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザ共通の操作です。それぞれのブックマーク画面に入ってから、各操作を行ってください。

■ **Yahoo!ケータイブラウザのブックマーク**

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ブックマーク

■ **PCサイトブラウザのブックマーク**

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ PCサイトブラウザ ▶ ブックマーク

補足　ブックマーク一覧画面にはあらかじめPanasonicのサイトへアクセスできるブックマークが登録されています。このブックマークに対しての編集や削除などの操作は行えません。

フォルダを新規作成する

- フォルダ内にフォルダは作成できません。

1. ブックマーク一覧画面で ✉ **[メニュー]**→ **新規作成**を選択→ ● →**フォルダ**を選択→ ●
2. タイトルを入力→ ●

ブックマーク／フォルダを削除する

すべてのブックマークを削除する場合は、ブックマーク一覧画面で全件削除します。フォルダ内のブックマークのみをすべて削除する場合は、フォルダ内で全件削除します。

1. ブックマークまたはフォルダを選択→ ✉ **[メニュー]**→**削除**を選択→ ●
2. **1件ずつ削除する場合**
   1件を選択→ ● →確認画面で ●
   すべて削除する場合
   全件を選択→ ● →確認画面で ✉ **[YES]**→ 操作用暗証番号（4桁）を入力→ ●
   - 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

オプションメニュー

1 ブックマーク一覧画面またはフォルダ内で
[メール]**[メニュー]**→項目を選択→[決定]→
それぞれの操作を行う

ページへ移動※1	情報画面を表示します。
フォルダを開く※2	フォルダを開きます。
新規作成	新しいブックマークまたはフォルダを作成します。(☞P.16-11)
編集	ブックマークのタイトルまたはURLを変更します。 タイトルまたはURLを編集→ [メール]**[保存]** または フォルダのタイトルを変更します。 タイトルを編集→[決定]
並び替え	ブックマークまたはフォルダの並び替えをします。 [上]または[下]で場所を選択→[決定]
フォルダ移動※1	ブックマークを移動します。 移動先フォルダを選択→[決定]
削除	ブックマークまたはフォルダを1件またはすべて削除します。(☞P.16-11)
URLメール送信※1	ブックマークのURLをメールで送信します。 **S!メール**または**SMS**を選択→[決定]→他の項目を入力し、送信する(S!メール☞P.15-6手順1以降/SMS☞P.15-11手順1以降)
外部機器送信※1	ブックマークのファイルを赤外線通信(☞P.11-3)またはBluetooth®通信(☞P.11-8)で送信します。

※1 ブックマーク選択中のみ
※2 フォルダ選択中のみ

Yahoo!ケータイ 16

お気に入りを管理する

Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザ共通の操作です。それぞれのお気に入り画面に入ってから、各操作を行ってください。

■ Yahoo!ケータイブラウザのお気に入り

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ お気に入り

■ PCサイトブラウザのお気に入り

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ PCサイトブラウザ ▶ お気に入り

1 タイトルを選択→ **[メニュー]**→項目を選択→ →それぞれの操作を行う

表示	情報画面を表示します。
名称変更	タイトルを変更します。 タイトルを編集→
削除	お気に入りを1件またはすべて削除します。 **1件**または**全件**を選択→ →確認画面で **[YES]**→**全件**を選択した場合は、操作用暗証番号（4桁）を入力→

登録時とは別のUSIMカードを装着すると、そのお気に入りの表示や名称変更はできません。

情報画面の画像や音楽をデータフォルダに保存する

情報画面の画像や音楽ファイルなどをダウンロードして、データフォルダに保存します。

- PCサイトブラウザでは、静止画のみ保存できます。（動画や音楽データの保存はできません。）

1 情報画面を表示する→ **[メニュー]**→**ファイル選択**を選択→

2 保存するファイルを選択→

ファイルの詳細情報が表示されます。

3 **[保存]**

4 **本体**または**メモリカード**を選択→

保存したファイルの内容によっては、保存後に利用できるメニューが表示される場合があります。

リンクされているファイルを保存するには

情報画面によっては、文字列などに設定されているリンクからファイルをダウンロードできるものもあります。

情報画面で、リンクを含む文字列を選択→ →詳細情報画面で **[保存]**→**本体**または**メモリカード**を選択→

補足

プログレッシブJPEGは非対応です。

- 保存先をメモリカードに設定し、ファイルをダウンロード中に、メモリカードを取り外したり取り付けたりしないでください。
- 情報画面またはリンクからファイルをダウンロード／保存中に電源を切らないで下さい。ファイルが壊れる可能性があります。
- 著作権保護ファイルは保存できないことがあります。

情報画面の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

情報画面にある電話番号やメールアドレス、URLのリンクを利用して、電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットに接続して情報画面を表示できます。また、情報画面から直接アドレス帳に登録することもできます。

- アンダーラインが付いていないときは、利用できません。

1 電話番号、メールアドレスまたはURLが含まれる情報画面を表示する

2 **電話番号を利用する**

電話番号を選択→ ●→**音声**、**TVコール**または**アドレス帳**を選択→ ●

音声または**TVコール**を選択した場合、電話がかかります。

アドレス帳を選択した場合、アドレス帳登録画面が表示されます。(☞P.4-4)

メールアドレスを利用する

メールアドレスを選択→ ● →**S!メール**、**SMS**または**アドレス帳**を選択→ ●

S!メールまたは**SMS**を選択した場合、新規作成画面が表示されます。(S!メールの場合☞P.15-6／SMSの場合☞P.15-11)

アドレス帳を選択した場合、アドレス帳登録画面が表示されます。(☞P.4-4)

URLを利用する

URLを選択→ ●

インターネットに接続します。

動画／音楽をストリーミングする

動画や音楽のデータをダウンロードしながら同時に再生します。（ストリーミング）

- ストリーミングできるのは、Yahoo!ケータイ情報画面のストリーミング対応データだけです。
- ダウンロードしたデータは、本体やメモリカードには保存されません。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ Yahoo!ケータイ

1 情報画面を表示する→データを選択→

メディアプレイヤーが起動し、動画や音楽のストリーミングが始まります。

- 一時停止するには： →再開するには
- その他再生中の操作について（☞P.9-7）
  ただし、次の操作はできません。
  「再生中のファイルを最初から再生する」「前のファイルを再生する」「次のファイルを再生する」

2 ストリーミングを終了するときは、 HLD または Y! **[戻る]**

- ストリーミング中はインターネットに接続しています。一時停止中もインターネットへの接続は切断されません。（一時停止中でも通信料は発生します。）
- ストリーミングとインターネット接続の状態は、画面に表示されるアイコン（☞P.1-9）で確認できます。

- 一時停止が3分以上続くと、自動的にストリーミングが終了することがあります。
- 海外のネットワーク（GSM／GPRS）においては、ネットワーク状況により再生されないことや動作に制限が出る場合があります。

表示サイズの変更

動画のストリーミング中に、画像の表示サイズを変更できます。 0 わをん を押すとフルスクリーン（全画面）表示になり、画像が右に90度回転します。もう一度 0 わをん を押すと通常表示に戻ります。

- ストリーミング中の操作については、メディアプレイヤーの再生中の操作（☞P.9-7）を参照してください。

ストリーミング中に着信があると

音声電話がかかってくるとストリーミングは一時停止します。

- ストリーミング中はTVコール着信はできません。

情報表示中の操作

情報画面表示中に ✉[メニュー]を押すと、次の操作ができます。

進む	次の画面に進みます。(☞P.16-7)
ブックマーク	情報画面のURLをブックマークに登録します。また、登録されているブックマークを一覧表示から選んで情報画面へアクセスできます。
お気に入り	情報画面そのものをお気に入りに登録します。また、登録されているお気に入りを一覧表示から選んで情報画面を表示できます。
テキストコピー	情報画面の文字をコピーできます。ページ全体または画面に表示されている領域を選択後、始点と終点を決定します。
更新	表示中の情報画面を最新の内容に更新します。
スモールスクリーン／PCスクリーン※1	PCサイトの情報画面を縮小表示と等倍表示に切り替えます。
ページ操作	**フレームイン／フレームアウト**：複数のフレームで作成された情報画面で、フレームを選択して全画面表示に切り替えます。 **文頭ジャンプ**：表示中の情報画面の文頭にジャンプします。 **文末ジャンプ**：表示中の情報画面の文末にジャンプします。 **拡大縮小表示**：情報画面を拡大／縮小します。
ファイル選択	選択したファイルの保存や再生を行います。(☞P.16-13)
便利機能	**検索**：情報画面の文字列を検索します。 **アクセス履歴一覧**：アクセス履歴一覧から履歴を選択して接続します。 **URLメール送信**：情報画面のURLをメールの本文に挿入して送信します。 **URL入力**：URLを直接入力するかURLの履歴を利用して、情報画面へアクセスします。 **プロパティ表示**：情報画面の詳細情報やサーバー証明書を表示します。サーバー証明書は、セキュリティで保護されている情報画面を表示中に使用されている証明書の内容を確認できます。 **Flash(R)メニュー**：Flash®を再生／一時停止します。
PCサイトブラウザ切替※2／ブラウザ切替※1	Yahoo!ケータイとPCサイトを切り替えます。
Yahoo!ケータイ※2／ホームページ※1	トップメニューを表示します。
設定	文字サイズや文字コードの変換方式を変更します。

※1 PCサイト閲覧中のみ
※2 Yahoo!ケータイ閲覧中のみ

ライブモニター

ライブモニターとは、さまざまな情報コンテンツやS!ループ（☞P.18-3）の項目を登録して、最新情報を待受画面上にテロップで表示させるサービスです。

- 情報を自動更新できます。（☞P.16-19）
- 待受画面上のテロップ表示を止めて（☞P.16-20）、ライブモニターリストやS!ループリストから情報を見ることもできます。（☞P.16-18）

情報コンテンツを登録する

- ライブモニターリストには**速報**が１件、**一般**が最大４件まで登録できます。
- S!ループリストには最大５件まで登録できます。
- ライブモニターリスト／S!ループリストについて（☞P.16-18）

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター

1 **ライブモニターリストに登録する場合**
ライブモニターリストを選択→ ● → **コンテンツリスト**を選択→ ●

インターネットに接続後、コンテンツリストが表示されます。

S!ループリストに登録する場合
S!ループリストを選択→ ● →**S!ループ**を選択→ ●

S!ループに接続後、情報画面が表示されます。

2 コンテンツを選択→ ● →確認画面で ●

更新情報を確認する

待受画面で更新情報を確認する

新着情報を受信すると、待受画面に「」が表示され、テロップ表示で自動的に情報が流れます。

- テロップが表示されていない場合は、ライブモニターの常時表示設定を**ON**にしてください。（☞P.16-20）

1 ▢ でテロップを選択→ ●

- ▢ でテロップを選択するとテロップの色が変わり、表示が止まります。

内容一覧画面が表示されます。

2 新着情報を選択→ ●

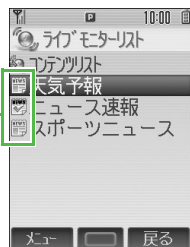
情報の詳細内容が表示されます。

> 補足
> ▢ でテロップを選択中に ✉**[設定]**を押すと、待受表示設定ができます。（☞P.16-20）

Yahoo!ケータイ

16

ライブモニター／S!ループリストで更新情報を確認する

ライブモニターリストとS!ループリストでは、アイコンでその情報や項目の種類や状態がわかります。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ ライブモニターリストまたはS!ループリスト

1 コンテンツを選択→

内容一覧画面が表示されます。

2 更新情報を選択→

情報の詳細内容が表示されます。

3 インターネットに接続するには、タイトルを選択→

手動で情報を更新するには

手順1で [**メニュー**]→**更新**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→ →確認画面で

情報の概要を確認するには

手順1で [**メニュー**]→**概要表示**を選択→

情報を削除するには

手順1で削除したい情報を選択→ [**メニュー**]→**削除**を選択→ →**1件**または**全件**を選択→ →確認画面で [**YES**]→**全件**を選択した場合は、操作用暗証番号（4桁）（☞P.1-22）を入力→

ライブモニター／S!ループを自動更新する

ライブモニターを自動更新する

【お買い上げ時】OFF

- **速報**は設定した時間間隔で更新されます。
- **一般**は1日に1回更新されます。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定 ▶ 自動更新設定 ▶ ライブモニター

1 **速報を自動更新する場合**

速報を選択→ →確認画面で →

更新間隔または**OFF**を選択→

一般を自動更新する場合

一般を選択→ →確認画面で →

ONまたは**OFF**を選択→

S!ループを自動更新する

【お買い上げ時】OFF

- 1日に4回程度更新されます。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定 ▶ 自動更新設定 ▶ S!ループ

1 確認画面で →**ON**または**OFF**を選択→

- 通話中などに自動更新時刻になると、自動更新は次回の更新時刻まで行われません。
- 自動更新中に他の操作をすると、自動更新を中断するかどうかの確認画面が表示されます。
- 自動更新中にTVコール着信があると、拒否されて不在着信のインフォメーションが表示されます。

ライブモニターの待受表示設定

次の操作からでも設定できます。
- メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ ライブモニター設定
- テロップ表示中に でテロップを選択→[設定]

ライブモニターの未読・既読表示設定

【お買い上げ時】未読+既読

未読と既読のライブモニターを表示するかどうかを設定します。
- **未読**に設定した場合、未読の情報がなくなると次の新着情報を受信するまでテロップは表示されません。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定 ▶ 待受表示設定 ▶ 未読･既読設定

1 **未読+既読**または**未読**を選択→

テロップの速度設定

【お買い上げ時】標準

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定 ▶ 待受表示設定 ▶ マーキー速度

1 **速い**、**標準**または**遅い**を選択→

ライブモニター表示設定

【お買い上げ時】ON

待受画面に常時ライブモニターを表示するかどうかを設定します。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定 ▶ 待受表示設定 ▶ 常時表示設定

1 **ON**または**OFF**を選択→

ライブモニター表示中の画像表示設定

【お買い上げ時】ON

ライブモニター表示中に画像を表示するかどうかを設定します。

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定 ▶ 待受表示設定 ▶ 画像取得表示設定

1 **ON**または**OFF**を選択→

その他の機能

ブラウザ関連の設定

Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザ共通の設定です。それぞれの設定画面に入ってから、各設定の操作を行ってください。

■ **Yahoo!ケータイブラウザの設定**

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ 設定

■ **PCサイトブラウザの設定**

メインメニューから Yahoo!ケータイ ▶ PCサイトブラウザ ▶ PCサイトブラウザ設定

文字サイズを変更する

【お買い上げ時】標準

表示画面の文字サイズを変更します。

1 **文字サイズ**を選択→

2 **大**、**標準**または**小**を選択→

スクロール単位を設定する

【お買い上げ時】一行スクロール

情報画面をスクロールする単位を設定します。

1 **スクロール単位**を選択→

2 **全画面スクロール**、**半画面スクロール**または**一行スクロール**を選択→

画像や音楽の取得を拒否する（テキストブラウズ）

【お買い上げ時】イメージ／サウンド：ON

画像や音楽を取得せずに、文字情報だけを表示できます。画像だけを取得しない、または音楽だけを取得しないようにも設定できます。

1 **テキストブラウズ**を選択→

2 **イメージ**（画像）または**サウンド**（音楽）を選択→

3 **ON**（取得する）または**OFF**（取得しない）を選択→

メモリを消去する

情報のメモリを消去します。

1 **メモリ操作**を選択→

2 次の項目より選択→

キャッシュ消去	キャッシュメモリに一時保存された情報を消去します。
Cookie消去	サーバー側でお客様を識別するための情報を消去します。
認証情報消去	以前の認証要求時に入力したユーザー ID／パスワードを消去します。
インプットメモリ消去	情報画面の文字入力欄に入力した文字情報を消去します。

3 確認画面で

警告画面表示を設定する（PCサイトブラウザのみ）

【お買い上げ時】ON

PCサイトブラウザ起動時やYahoo!ケータイブラウザとの切替時に警告画面を表示するかどうかを設定します。

1 **警告画面表示設定**を選択→

2 **PCサイトブラウザ**（起動時）または**Yahoo!ケータイ**（切替時）を選択→

3 **ON**（表示する）または**OFF**（表示しない）を選択→

ブラウザを初期化する

ブラウザの各種設定やブックマーク、お気に入り、URL履歴、アクセス履歴、認証情報、キャッシュ、Cookieなどの情報を初期化します。

1 **ブラウザ初期化**を選択→

2 確認画面で **[YES]**→操作用暗証番号（4桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

ブラウザの設定をリセットする

ブラウザの各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **設定リセット**を選択→ [決定]

2 確認画面で [メール]**[YES]**→操作用暗証番号（4桁）を入力→ [決定]

- 操作用暗証番号について（☞P.1-22）

セキュリティ設定

Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザ共通のセキュリティ設定です。それぞれの設定画面に入ってから、各設定の操作を行ってください。

■ Yahoo!ケータイブラウザの設定

メインメニューから **Yahoo!ケータイ** ▶ **設定** ▶ **セキュリティ**

■ PCサイトブラウザの設定

メインメニューから **Yahoo!ケータイ** ▶ **PCサイトブラウザ** ▶ **PCサイトブラウザ設定** ▶ **セキュリティ**

製造番号通知を設定する

【お買い上げ時】OFF

本機の製造番号（接続認証のための情報）を自動的に送信するかどうかを設定します。

1 **製造番号通知**を選択→ [決定]

2 **ON**（送信する）または**OFF**（送信しない）を選択→ [決定]

Referer（リファラ）送出を設定する

【お買い上げ時】ON

情報画面を移動するときに、リンク元のページ（Refererページ）を送出するかどうかを設定します。

1 **Referer送出**を選択→ [決定]

2 **ON**（送出する）または**OFF**（送出しない）を選択→ [決定]

Cookieを設定する

【お買い上げ時】ON

Cookieとは、サーバー側でお客様を識別するための情報で、本機に自動的に保存されます。Cookieの保存を許可するかどうかを設定できます。

1 **Cookie設定**を選択→ [キー]

2 **ON**（許可）、**OFF**（拒否）または**毎回確認**を選択→ [キー]

補足 保存されたCookieは消去できます。（☞P.16-22）

スクリプト設定を行う

【お買い上げ時】Yahoo!ケータイ：ネットワークアクセス時に確認／PCサイトブラウザ：ON

情報画面のスクリプトを実行するかどうかを設定します。

1 **スクリプト設定**を選択→ [キー]

2 **ネットワークアクセス時に確認**、**ON**（実行する）、**OFF**（実行しない）または**毎回確認**を選択→ [キー]

ルート証明書を確認する

本機に登録されている、認証機関が発行した電子的な証明書を確認します。

1 **ルート証明書表示**を選択→ [キー]

2 項目を選択→ [キー]

証明書の詳細が表示されます。

認証情報の保持を設定する

【お買い上げ時】ブラウザ終了まで保持

認証情報を保持するかどうかを設定します。

1 **認証情報保持**を選択→ [キー]

2 **常に保持**、**ブラウザ終了まで保持**または**常に保持しない**を選択→ [キー]

S!アプリ

S!アプリをご利用になる前に

S!アプリはソフトバンク携帯電話専用に開発されたJava™アプリケーションです。S!アプリを提供する情報画面からゲームなどをダウンロードして本機で楽しむことができます。

- S!アプリの利用には、別途ご契約が必要です。(お買い上げ時に登録されているS!アプリは、そのまま利用できます。)
- 登録されているS!アプリの操作方法については、各S!アプリのヘルプを参照してください。

通信料など詳細については、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」でご案内しています。

ネットワーク接続型S!アプリ

S!アプリには本機にダウンロードすれば利用できるものと、利用時にネットワーク(インターネット)に接続する必要があるもの(**ネットワーク接続型S!アプリ**)があります。

- ネットワーク接続型S!アプリは利用するたびにインターネットの通信料がかかります。

ライセンス情報を確認するには

メインメニューから **S!アプリ** ▶ **インフォメーション**

S!アプリをダウンロードする

S!アプリは本体とメモリカードに各最大100件までダウンロードできます。

メインメニューから **S!アプリ** ▶ **S!アプリライブラリ**

1 **S!アプリダウンロード**を選択→ [決定]

インターネットに接続後、S!アプリを提供する情報画面が表示されます。

2 S!アプリを選択→ [決定]

選択したS!アプリの情報が表示されます。

3 画面の表示に従ってダウンロードの操作をする

4 保存先として**本体**または**メモリカード**を選択→ [決定]

- ダウンロードには多少時間がかかる場合があります。
- ダウンロードが完了すると自動的に保存されます。

5 起動するには [✉] **[YES]**

ダウンロードしたS!アプリが起動します。

- 起動しない場合:[Y!] **[NO]**

S!アプリ

17

S!アプリの利用

S!アプリを起動する

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 S!アプリを選択→ [●]

S!アプリが起動し、「 」が表示されます。

- 操作方法については、ダウンロードしたインターネットの情報画面などを参照してください。
- メモリカード内のS!アプリを選択する場合は、手順1の前に [◎] で**メモリカード**タブを選択してください。

- データフォルダからもS!アプリを起動できます。
  メインメニューから データフォルダ ▶ S!アプリ
  ▶ S!アプリを選択する
- S!アプリ起動中に電話などの着信があると、S!アプリは一時停止し、着信画面が表示されます。
- Bluetooth®通信を利用したS!アプリで一時停止した場合や、周囲の通信環境によっては、エラーメッセージが表示されることがあります。いったんS!アプリを終了し、再起動してください。

ネットワーク接続型S!アプリを起動するには
ネットワーク型S!アプリを起動するときは、手順1のあとにネットワーク接続の確認画面が表示されます。

S!アプリを終了／一時停止／再開する

S!アプリを終了／一時停止する

1 S!アプリ利用中に [HLD]

一時停止確認画面が表示されます。

2 **終了**または**一時停止**を選択→ [●]

一時停止した場合は、「 」が表示されます。

一時停止中のS!アプリを再開／終了する

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

再開確認画面が表示されます。

1 **再開**または**終了**を選択→ [●]

再開すると一時停止したところから続けることができます。

S!アプリを管理する

S!アプリのプロパティ（詳細情報）を確認する

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 S!アプリを選択→[✉][**メニュー**]→
プロパティを選択→[●]

S!アプリの名前、バージョン、ベンダー名（S!アプリの提供元）、アプリケーションサイズ、レコードサイズなどが表示されます。

S!アプリを移動する

S!アプリを本体とメモリカードの間で移動できます。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 S!アプリを選択→[✉][**メニュー**]→
移動を選択→[●]

注意　S!アプリによってはメモリカードに移動できないものがあります。

S!アプリを削除する

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 S!アプリを選択→[✉][**メニュー**]→
削除を選択→[●]→確認画面で

注意　お買い上げ時に登録されているS!タウン、ちかチャット、ブックサーフィン®、ケータイ書籍は削除できません。

セキュリティレベルを設定する

ネットワーク接続型S!アプリを起動するときや、S!アプリにてBluetooth®通信などを行うときの確認画面の表示方法や動作を許可するかどうかを設定します。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 S!アプリを選択→[✉][**メニュー**]→
セキュリティレベル設定を選択→[●]

2 次の項目より選択→

ネットワークアクセス	ネットワークへの接続
メール	メールの自動起動登録の利用
アプリケーション自動起動	アプリケーションの起動
録画／録音	録画や録音の実行
ユーザデータ読込	データフォルダ内のデータの読み込み
ユーザデータ書込／削除	データフォルダ内のデータの書き込み
位置情報取得	位置情報の取得
Bluetooth	Bluetooth®通信の利用

3 次の項目より選択→

全て許可	手順2で選択した機能は実行できます。確認画面は表示しません。
初回要求時確認	S!アプリ初回起動時だけ確認画面を表示します。
毎回確認	手順2で選択した機能を実行する前に確認画面を表示します。
許可しない	手順2で選択した機能は実行できません。

S!アプリによってはセキュリティレベルを設定できないことがあります。

S!アプリの設定

音量設定

【お買い上げ時】レベル4

S!アプリの効果音などの音量を調節します。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリ設定 ▶ 音量

1 または で音量を調節（**サイレント**、**レベル1～6**）→

- **サイレント**に設定すると、効果音は鳴りません。

マナーモード（☞P.2-21）に設定しているときは、マナーモードの設定が優先します。

バックライト設定

【お買い上げ時】通常設定連動

S!アプリ起動中のバックライトの点灯方法を設定します。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリ設定 ▶ バックライト

1 項目を選択→

常時点灯	S!アプリからの指示どおりにバックライトを点滅します。指示がないときはディスプレイを明るくします。
通常設定連動	通常のバックライト点灯時間の設定（☞P.7-6）に従います。
常時消灯	S!アプリからの指示どおりにバックライトを点滅します。指示がないときはディスプレイを少し暗くします。

バイブレーション設定

【お買い上げ時】ON

S!アプリのバイブレーション動作を有効にするかどうかを設定します。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリ設定 ▶ バイブレーション

1 **ON**または**OFF**を選択→

自動中断時間設定

【お買い上げ時】OFF

何も操作しない状態で、S!アプリが一時停止するまでの時間を設定します。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリ設定 ▶ 自動中断時間

1 **OFF**、**15分**、**30分**、**1時間**、**2時間**または**6時間**を選択→

メモリカードシンクロ

メモリカードを他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用したときは、メモリカードのS!アプリの情報を更新する必要があります。

メインメニューから S!アプリ ▶ S!アプリ設定 ▶ メモリカードシンクロ

コミュニケーション

S!タウン

S!タウンは、オンライン・コミュニケーション・アプリです。お客様の分身となるキャラクターを選んで操作できます。3D空間の街を歩きながら、街中で起こるさまざまなイベントを楽しんだり、他の気の合う仲間とコミュニケーションができます。

- S!タウンの利用には、S!タウン専用のS!アプリが必要です。本機にはあらかじめ登録されています。
- あらかじめ登録されているS!アプリ「S!タウン」は削除できません。
- S!タウンの利用には、パケット通信料が発生します。パケット通信料が高額となることがありますのでご注意ください。
- インターネット利用制限を申し込まれた場合はS!タウンを利用できません。

オールリセットすると、本機にあらかじめ登録されていたS!タウンデータは削除されます。オールリセット後にS!タウンを起動する場合は、再度ネットワークから必要なデータをダウンロードしてください。

S!タウンを利用する

- S!タウンをはじめて利用するときは、必ず利用規約に同意いただいたうえで、ユーザー登録（無料）およびプロフィール登録が必要です。

メインメニューから コミュニケーション

1 **S!タウン**を選択→

S!アプリ「S!タウン」が起動します。

- 使い方の詳細については、S!アプリ「S!タウン」のヘルプを参照してください。

補足

- S!タウンの登録状態確認や登録解除はYahoo!ケータイから行えます。詳しくは、S!アプリ「S!タウン」のヘルプを参照してください。
- S!タウン起動時にバージョンアップ通知が表示される場合があります。画面の指示に従ってバージョンアップを行い、引き続きS!タウンを利用してください。

ライブラリを利用する

S!タウンの機能などを拡張するS!アプリをライブラリに保存できます。

- お買い上げ時には、ライブラリにS!アプリは保存されていません。
- S!タウンに対応するS!アプリをダウンロードした場合は、自動的にライブラリに保存されます。

メインメニューから コミュニケーション

1 **S!タウン**を選択→ **[ライブラリ]**

- ライブラリに保存されたS!アプリを直接起動できます。このとき、S!アプリの種類によっては、S!アプリ「S!タウン」が起動する場合があります。

S!ループ

S!ループはコミュニケーションサービスです。

メインメニューから コミュニケーション

1 **S!ループ**を選択→

インターネットに接続し、S!ループが表示されます。

- 使い方の詳細については、S!ループの「ヘルプ」を参照してください。

ちかチャット

ちかチャットは、半径約10メートルの範囲内にあるちかチャット対応機と、文字メッセージのやりとりを可能にするS!アプリです。Bluetooth®通信を利用するので、通信料はかかりません。

- 通信可能範囲は、環境により変動することがあります。
- ちかチャットには、18歳未満のお子さまによるちかチャットの利用を保護者の方が制限することができる「利用制限機能」を搭載しています。
  なお、操作用暗証番号を用いてオールリセット（☞P.12-8）を行うと、利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされ、利用制限機能が解除されますので、操作用暗証番号の管理はくれぐれもご注意ください。

- ちかチャット起動中はBluetooth®の公開設定に関わらず、周辺のBluetooth®対応機器に本機の機器名を公開します。このため、意図しない相手から接続を要求されることがありますが、拒否することもできます。
- 一時停止した場合や周囲の通信環境によっては、ちかチャット通信中に「エラーが発生しました　アプリを終了します」と表示される場合があります。いったんちかチャットを終了し、再起動してください。

ちかチャットを開始する

メインメニューから **コミュニケーション**

1 **ちかチャット**を選択→

ちかチャットが起動し、起動時確認メッセージが表示されます。

- Bluetooth®の設定が**OFF**の場合は、ちかチャットが起動する前に、**ON**にするかどうかの確認画面が表示されます。
- 使い方の詳細については、ちかチャットのトップメニューから「使い方」を参照してください。

2 終了するときは、 HLD →**一時停止**または**終了**を選択→

- 一時停止後、再開するには：もう一度ちかチャットを起動→再開確認画面で**再開**を選択→

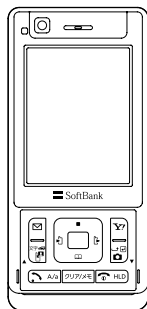
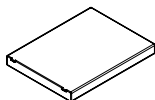
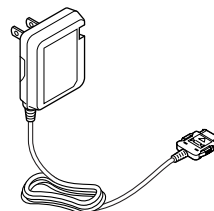
- ちかチャットはS!アプリからも起動できます。
- ちかチャットを起動していないと、相手からの開始要求を受けられません。
- Bluetooth®の設定を**ON**にしてちかチャットを起動すると、公開設定は**常時公開**になります。ちかチャットを終了してもBluetooth®の設定は**ON**のままですが、公開設定はちかチャットを起動する前の設定に戻ります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please see the SOFTBANK MOBILE Corp. Website (http://www.softbank.jp) for the full manual* or dial 157 from a SoftBank handset for Customer Service.

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check SoftBank Website again at a later date.

Package Contents

☐ **Handset**

☐ **Battery (PMBAC1)**

☐ **AC Charger (PMCAA1)**

☐ **Operating Instructions**
☐ **First Step Guide (Japanese)**
☐ **Utility Software (CD-ROM)***

* Utility software updates/upgrades may become available on SoftBank Website (http://www.softbank.jp) without prior notification. Please check for the newest versions of utility applications and download if required.

- For further information about accessories, please contact SoftBank Customer Center, General Information (☞P.19-50).
- Optional battery and AC Charger are available for separate purchase.
- 810P accepts microSD Card (not included). Purchase microSD Card to use related functions.
  - Use microSD Cards up to 2GB (June, 2007). Memory Card compatibility is not guaranteed.
- microSD Card is referred to as "Memory Card" in this manual.

Safety Precautions

- Before use, read these safety precautions carefully and use your handset properly. Keep this manual in a safe place for future reference.
- These safety precautions contain information intended to prevent bodily injury to the user and to surrounding people, as well as damage to property, and must be observed at all times.
- These symbols indicate exposure levels to bodily harm from failure to observe cautions or improper usage:

⚠	**Danger**	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠	**Warning**	Risk of death or serious injury from improper use
⚠	**Caution**	Risk of injury or damage to property from improper use

■Symbol Explanations

Symbol	Meaning
	Prohibited Action
	Disassembly Prohibited
	Avoid Moisture
	Always Dry Hands First

Symbol	Meaning
	Compulsory Action
	Disconnect Power Source

Handset, Battery & Charger

Danger

Use specified battery, charger and holder.
The use of devices other than those specified may result in malfunction of handset or battery. Leaking, overheating, explosion or fire may occur.
Battery PMBAC1, Desktop Holder PMEAC1,
AC Charger PMCAA1, In-Car Charger PMJAA1

Do not get handset, battery and charger wet.
If liquids such as water or pet urine get into battery and charger, they may cause overheating, electric shock or malfunction. Do not use handset in damp places like bathrooms.

Do not disassemble or modify handset.
May cause accidents such as fire, bodily injury, electric shock or equipment malfunction.

Warning

Do not place handset, battery or charger inside cooking appliances, such as microwave ovens or high-pressure containers.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire, and handset and charger may overheat, emit smoke or catch fire. The internal circuit may also be damaged.

Do not throw or otherwise subject to strong force or impacts.
Battery may leak, overheat, explode, catch fire, or cause damage to handset.

Keep handset off and charger disconnected near filling stations or places with fire/explosion risk.
Handset use near petrochemicals or other flammables may lead to fire or explosion.

Caution

Do not use or leave handset or related hardware in locations subject to high temperatures, such as near an open flame/heater, in sunlight or inside a car on an extremely hot day.
Do not charge, leave, use, or be carrying handset or related hardware in a warm place or where heat collects, such as under a kotatsu (blanketed warming table) or electric blanket, next to a kairo (worn warming patch), etc.
Battery may leak, overheat, explode, or ignite. Handset or related hardware may deform or malfunction. Part of the casing may also become hot and cause burns.

Do not use handset in dusty places.
May hinder heat release, or cause burnout or fire.

Keep handset out of the reach of young children.
May result in electric shock or bodily injury.

If for use by child, guardian should teach proper handling and ensure handset is used as directed.
May result in bodily injury.

Battery

 Danger

See battery label to confirm battery type.

Label	Battery Type
Li-ion	Lithium-ion

Do not throw battery into fire.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not pierce battery with a nail or other sharp object, hit it with a hammer, or step on it.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not use excessive force to attach battery to handset even when you cannot attach it successfully. Also, check that battery is the right way round when you attach it.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not use or leave battery in places where it is exposed to high temperatures, such as near an open flame or heating appliance.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not touch terminals with metallic objects or carry/store battery with metal jewelry, etc.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery fluid gets into eyes, do not rub; flush with clean water and see a doctor immediately.
Failure to do so may cause blindness.

 Warning

If battery does not charge after specified time, stop charging.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery leaks or emits an unusual odor, immediately stop use and move it away as far as possible from any flame or fire.
Battery fluid is flammable and could ignite, causing fire or explosion.

If battery leaks or emits an unusual odor, immediately remove it away from handset.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery fluid comes into contact with your skin or clothing, stop using handset immediately and rinse it off with clean water.
Battery fluid is harmful to your skin.

Caution

Do not dispose of battery with ordinary refuse.
May cause fire and environmental damage. Place tape over the terminals to insulate battery, and take it to a SoftBank retailer or institution that handles used batteries in your area.

Handset

Warning

Do not use handset while driving a vehicle.
Doing so may interfere with safe driving and cause an accident. Stop your vehicle to park in a safe place before using handset. Drivers using handsets while driving are subject to prosecution.

Turn off handset near high-precision electronic devices or devices using weak electronic signals.
Handset may possibly cause these devices to malfunction.
*Electronic devices that may be affected: Hearing aids, implantable cardiac pacemakers, implantable cardioverter defibrillators, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and other automatically controlled devices.
Persons using an implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator, or other electronic medical devices, should consult the device manufacturer or vendor for advice on possible radio wave effects.

Turn off handset where use is prohibited, such as aboard aircraft or in hospitals.
Handset may interfere with the operation of sensitive devices and electronic medical equipment.
Follow the instructions given by the respective medical facilities regarding the use of mobile phones on their premises. In addition, actions such as speaking on a mobile phone aboard aircraft are prohibited and may be punishable by law.

If you are using electronic medical equipment, do not put handset in your breast pocket or in the inside pocket of your jacket.
Using handset in close proximity to electronic medical equipment may cause the equipment to malfunction.

If you have a weak heart, take extra precautions when setting functions such as Vibration or Ringer Volume for incoming transmissions.

Do not aim the infrared port at eyes when using infrared communication.

Doing so may affect eyes. Also, aiming it towards other infrared devices may interfere with the operation of these devices.

Caution

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged skin contact that may result in burns.

If handset affects car electronics, stop use.

Handset use may affect electronics in some models. In this case, stop use; could impede safe driving.

Do not swing handset by its strap, etc.

Handset may strike you or others resulting in injury or damage to handset or other property.

Do not place your ear too close to the speaker while ringer sounds or sound files play.

May impair hearing.

Do not turn up the volume unnecessarily high when using headphones.

Using headphones with volume turned up for an extended period may impair hearing or injure ears.

In a thunderstorm, immediately turn off handset and seek shelter.

There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.

Do not place a magnetic card near or in handset.

The stored magnetic data in cash cards, credit cards, telephone cards and floppy disks, etc. may be erased.

	Do not expose camera lens to direct sunlight or a powerful light source for an extended period. Lens may focus the beam, causing fire or malfunction.
	Do not touch broken display/camera lens glass. Display and camera lens are designed not to shatter, however, touching the broken glass may cause injury.
	Avoid closing handset on fingers or objects when opening it. May result in injury or damage to display.
	Be careful when handling USIM Card Holder. Sharp edges on metallic holder may cause injury.
	Handset use may cause itching, rashes, eczema or other symptoms depending on the user's physical condition. In this case, immediately stop use and seek medical treatment.

Charger

Warning

	Place charger and Desktop Holder on a stable surface during charging. Do not cover or wrap charger or Desktop Holder. May cause overheating, fire or malfunction.
	Do not handle charger with wet hands. May result in electric shock.
	Always use the specified power supply/voltage. Using incorrect voltage may cause malfunction/fire. AC Charger: AC100V-240V In-Car Charger: DC12V, 24V (vehicles with a negative earth only)
	Do not use handset/charger in thunderstorms. There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.
	Do not short-circuit charging terminals. May result in fire, electric shock, equipment malfunction or bodily injury.

Use In-Car Charger in vehicles with a negative (-) earth. Do not use In-Car Charger if vehicle has a positive (+) earth.
May cause fire.

Avoid wires and other metal objects and secure the plug when plugging in AC outlet.
May cause electric shock, short-circuiting or fire.

Unplug AC Charger during periods of disuse.
May cause electric shock, fire or malfunction.

If In-Car Charger fuse blows, always replace it with specified fuse.
Using the incorrect fuse may cause fire or malfunction. Refer to the respective manuals for information on the correct fuse specifications.

If liquid such as water or pet urine get into charger, unplug it immediately.
May cause electric shock, smoke emission or fire.

Wipe off any dust on the plug.
May cause fire.

Caution

Always unplug charger before cleaning it.
May result in electric shock.

Pull plug (not cord) to unplug charger.
Pulling on the cord may damage the cord and cause electric shock or fire.

Do not charge battery if it is wet.
May cause battery to overheat, catch fire or explode.

Near Electronic Medical Equipment

Warning

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

If you use an implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator, keep handset more than 22 cm away from the implant at all times.
Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operations.

Observe the following in medical facilities.

- Do not take handset into operating rooms, Intensive Care Units or Coronary Care Units.
- Turn off handset inside hospital wards.
- Turn off handset even outside hospital wards (in hospital lobbies, etc.); electronic medical equipment may be in use nearby.
- Where a medical facility has specific instructions prohibiting the carrying and use of mobile phones, observe those instructions strictly.

Turn off handset in crowded places such as rush hour trains; implantable cardiac pacemakers or cardioverter defibrillators may be in use nearby.
Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operations.

Persons using electronic medical equipment outside medical facilities should consult the vendor about possible radio wave effects.

Handling Precautions

General Notes

- SoftBank is not liable for damages from accidental loss/alteration of handset/Memory Card information (Phone Book entries, images/sound files, etc.). Back-up important information.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Read Memory card manual beforehand for proper use.
- Beware of eavesdropping.

  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard. Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.
  "eavesdropping" means radio communication is received by another receiver deliberately or accidentally.

Handling in Vehicles

- Do not use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect vehicle electronic equipments.

Handling Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft. (Keep handset power off.) Handset use may impair aircraft operation.

Electromagnetic Waves

- For body worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

● Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.06 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.369 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID UCE207001B. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 1.36 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.552 W/kg. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
** Please see General Note (Electromagnetic Waves) on page 19-11 for important notes regarding body worn operation.

Declaration of Conformity

CE0168

We, Panasonic Mobile Communications Development of Europe Ltd., declare that SoftBank 810P conforms with the essential and other relevant requirements of the directive 1999/5/EC.
A declaration of conformity to this effect can be found at **http://panasonic.co.jp/pmc/products/en/support/index.html**

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.
- Use handset within temperatures of 5°C to 35°C and humidity 35% to 85%. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Handset may become warm during use or charging. This is not malfunction.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Soiled terminals may cause poor connection and loss of power. If the terminals are dirty, use a dry cloth or cotton swab to wipe them clean.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- 810P is a radio communication device assembled with precision components. Never disassemble or modify handset.
- Avoid forceful rubbing or scratching handset displays.
- Be conscious of sound bleed from headphones.

- 810P is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Do not expose handset to precipitation.
  - Air conditioned air may condense causing corrosion.
  - Do not put handset in damp places like bathrooms.
  - On the beach, keep handset away from sun and surf.
  - Perspiration in handset may cause malfunction.
- Do not subject handset to excessive force; may cause malfunction or bodily injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Do not remove nameplate; doing so invalidates warranty.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving or sending mail, data may be altered or lost.
- LCD is manufactured with high precision technology, however, some pixels may appear darker/brighter.
- Connect only specified products to Earphone Port.
- Keep USIM Card out of the reach of young children. If swallowed, see a doctor immediately.
- When holding handset in use, do not cover Speaker.
- While walking, moderate headphone volume to make sounds around you audible and help avoid accidents.

Function Usage Limits

These functions are disabled after handset replacement/upgrade or service cancellation: Camera; Media Player; S! Applications.
After a period of disuse, these functions may become unusable.

Copyrights

Sounds, images, computer programs, databases, other copyrighted materials, their respective works and copyright holders are protected by copyright laws. Duplicated materials are limited to private use only. If duplications (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made without permission of copyright holders, this constitutes "Literary Piracy" and "Infringement of Copyright Holder Rights" and a criminal action for reparations and criminal punishment may be filed. If duplicates are made using handset, please observe the copyright laws. 810P is equipped with a camera. Materials captured with the camera are also subject to the above.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

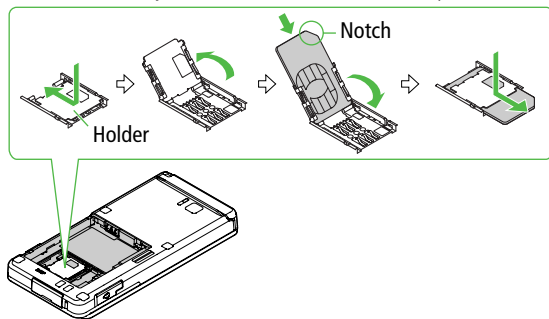
Manner-related Features

Manner Mode	Press Manner key (☞P.19-20) to mute 810P tones and activate vibration for incoming transmissions and Answer Phone.
Vibration Mode	Activate in public places, meetings, etc. for silent call/message alerts.
Ringer Volume	Mute call/message tones or S! Appli sounds.
Offline Mode	Suspend all 810P transmissions; when active, all calls/messages and incoming information are temporarily blocked.
Answer Phone	Use to handle incoming calls when inappropriate/unsafe to answer.
Drive Mode	While driving, press Drive Mode key (☞P.19-20) to handle incoming calls.

USIM Card

Universal Subscriber Identity Module (USIM) Card is an IC card containing customer and authentication information, including handset number, and limited Phone Book entry and SMS message storage. USIM must be inserted to use 810P or Network services (calling, messaging, Web, etc.). Turn handset off before inserting/removing USIM Card.

Inserting/Removing

- Remove battery (☞P.19-18) then follow steps below.

1 Press on Holder lightly, slide and lift it as shown

2 Insert USIM Card into Holder as shown

- To remove USIM Card, grasp top portion (without touching the IC) and pull gently.

3 Replace Holder and slide it in as shown

Important

- If 810P is dropped/subjected to shock, ***Restarting USIM Please wait*** may appear; 810P returns to Standby. This is not malfunction.
- If ***Insert USIM*** appears, clean and properly reinsert USIM Card then restart 810P.
- Do not force USIM Card into or out of 810P as it may damage handset/USIM Card.
- Be careful not to lose the removed USIM Card.
- Avoid touching USIM Card terminals or IC chip; doing so may hinder performance.
- If USIM Card/810P (USIM Card inserted) is lost/stolen, contact SoftBank Customer Center (☞P.19-50) immediately to prevent misuse.
- Some downloaded files may be inaccessible after repairs, USIM Card replacement or handset upgrade/replacement.
- USIM Card specifications/performance may change without prior notice.
- Pre-installed S! Applications (BookSurfing®, Near Chat, etc.) may be unusable while a different or replacement USIM Card is inserted into 810P.
- Do not remove Holder cushion.

USIM Card Holder edges are sharp; handle carefully to avoid injuries.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge battery before use or after a period of disuse.

Battery Life

- Use or store battery between 5°C - 35°C.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time shortens noticeably.

Charging

- Do not use charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger, battery and handset may become warm during charging.
- Move charger away from TV/radio if interference occurs.

Precautions

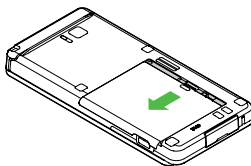
- Clean 810P, battery & charger with dry cotton swab.
- Charge battery at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

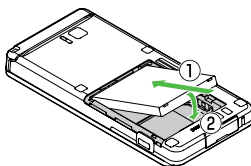
Battery Disposal

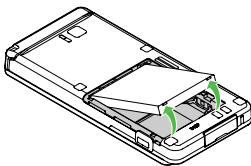
- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a SoftBank shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

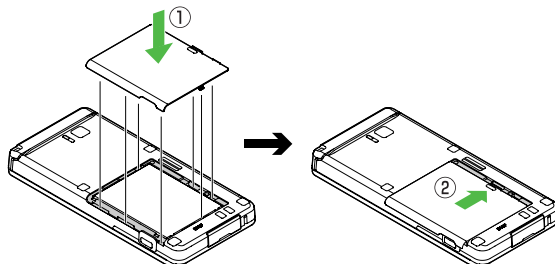
Battery Installation & Removal

- Always turn off handset power before opening handset to remove battery (☞P.19-26).

1 Slide battery cover, then lift to remove

2 **Insert Battery**

Align battery contacts with handset pins.

Remove Battery

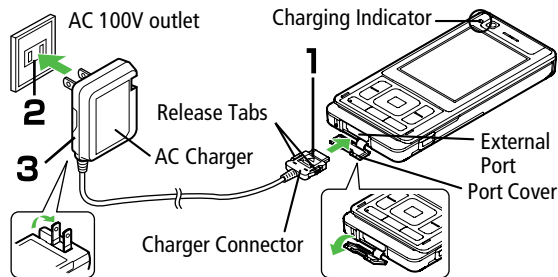
Lift battery out as shown.

3 Replace battery cover

Cover should click into place.

When battery is removed just after changing handset settings, changes may not take effect.

Lithium-ion batteries are valuable and recyclable resources.

- Recycle used lithium-ion battery at a shop displaying the symbol shown to the right.
- To avoid fire or electric shock, do not:
  - Short-circuit battery
  - Disassemble battery

Charging Battery

Charging takes approximately 160 minutes.

1 Connect AC Charger to handset

Insert Charger Connector (printed side up) into External Port.

2 Plug AC Charger into AC outlet

Extend Charger blades. (Fold back when not in use.)

Charging Indicator illuminates and charging starts.

When charging is complete, Charging Indicator goes out.

3 When charging is complete, unplug AC Charger, then disconnect handset

Squeeze Release Tabs to remove Charger Connector, and replace Port Cover.

- Use only the specified charger.
- Do not pull, bend or twist AC Charger cord.
- AC Charger is compatible with household currents between AC 100V and 240V.
- SoftBank is not liable for problems resulting from charging 810P abroad.

Desktop Holder and In-Car Charger are available for separate purchase.

Handset Parts & Functions

Handset

Abridged English Manual

19

External

Memory Card Slot
Insert microSD Card here

Infrared Port
Transfer data via Infrared

Strap Eyelet

Antenna

Portrait/Macro Selector

External Camera

Camera Mode Indicator
Illuminates while Camera/Video Camera is active

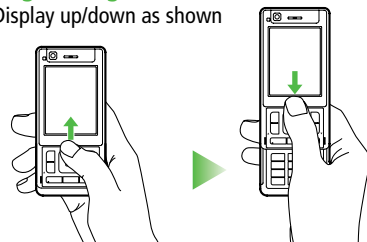
Speaker

Earphone Port
Connect earphone/ microphones here

Charging Terminals

External Port
Connect AC Charger or other accessories here

Opening/Closing 810P

Slide Display up/down as shown

- Closing 810P in Standby activates Keyguard automatically (Close-to-Enable Keyguard: ☞P.19-28). When opening, Keyguard is released. To use with 810P closed, [key] → [mail key]**[YES]**.

Display Indicators

PC Browser Active
USB Connected
Infrared Enabled

Software Updating/Notification of Software Update/ Update Result
Bluetooth® Enabled
Bluetooth® Device Connected
810P Visible

Memory Card Inserted
Unusable Memory Card
Unsupported Memory Card
Write-protected Memory Card
Voice Call
Video Call

Unread Message

Secret Mode Active
Roaming

S! Mail Memory Full; Server Mail Saved
SMS Memory Full

Messaging Restricted
Phone Book Restricted
Messaging & Phone Book Restricted

Mute Active
Vibration Active
Mute & Vibration Active

New Live Monitor Information

Call Forwarding or Voice Mail Active

Voice Message

Secure Content
S! Address Book Synchronizing
Auto Sync Active

S! Application Active
S! Application Paused

Streaming
Streaming Paused
BGM Playing
BGM Paused

Manner Mode
User Mode
Drive Mode

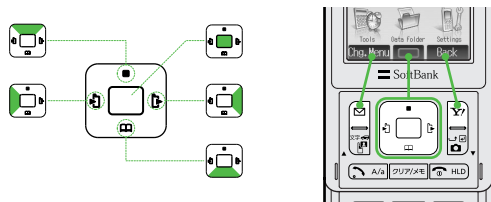
Schedule Set

Alarm Set

Answer Phone Active
Answer Phone Full
New Message Recorded
New Message Recorded Answer Phone Full

Using This Manual

Multi Selector & Softkeys

Use Multi Selector to select items, navigate menus, etc. Softkeys correspond to functions/commands appearing at the bottom of Display.

Menu Navigation

In this manual, handset operations required before steps appear as shown and described in the example below:

Main Menu ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ Language

Open Main Menu and navigate sub menus. " ▶ " means "scroll menu and select the menu item, then press [key]."

Japanese Functions & Services

Japanese ability is required to use the full range of some functions or services. "(Japanese)" appears in the titles.

Quick Keys

In Standby

	Key	Function
Short Press	[Center key]	Open Main Menu/Release Keyguard
	[Down key]	Open Phone Book
	[Mail key]	Open Messaging menu list
	[Yahoo key]	Access Yahoo! Keitai Main Menu
	[Send key] A/a	Open Call Log
	クリア/メモ	Open Answer Phone Message List
	[Camera key]	Open Camera

	Key	Function
Long Press (more than one second)	[Center key]	Activate Keyguard
	[End key] HLD	Press and hold for a few seconds to turn handset power on or off
	[Mail key]	Open S! Mail Composition window
	[Yahoo key]	Open Yahoo! Keitai menu list
	[0 key]	Enter + (International Code)
	[# key] / [Side Key] (Side Key)	Activate or cancel Manner mode
	クリア/メモ	Toggle Answer Phone ON/OFF
	[文字 key]	Activate or cancel Drive mode
	[Camera key]	Open Video Camera

Handset Security

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorized 810P use.
PIN2	Required to clear Total Call Cost or set Cost Limit and Price/unit.

- PIN1 & PIN2 are 9999 by default.
- PIN1 & PIN2 can be changed.
- When PIN1 Entry is ***ON***, PIN1 (4-8 digits) is required each time 810P is turned on (with USIM Card inserted).

PIN1 Entry

Main Menu ▶ Settings ▶ Security ▶ PIN1 ON/OFF

1. ***ON*** or ***OFF*** →
2. Enter PIN1 →

PIN Lock & Cancellation (PUK)

PIN1 Lock or PIN2 Lock is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times. Cancel PIN Lock by entering the Personal Unblocking Key (PUK).

- For information on PUK, contact SoftBank Customer Center, General Information (☞P.19-50).

- If PUK is incorrectly entered ten times, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PUK.
- For procedures required to unlock USIM Card, contact SoftBank Customer Center, General Information (☞P.19-50).
- When PIN1 Entry is ***ON***, emergency numbers (110, 119, 118) cannot be dialed without entering PIN1.

Codes

Handset Code

[Default] 9999

Required to use/change some handset functions.

- ✱ appears when Handset Code is entered.
- Handset Code can be changed on 810P.

Center Access Code

4-digit number specified at initial subscription; required to access Voice Mail via landlines or subscribe to fee-based information.

Call Barring Password

4-digit number specified at initial subscription, required to restrict handset services.

- If entered incorrectly three times, Call Barring settings lock; Call Barring Password & Center Access Code must be changed. Reach SoftBank Customer Center, General Information (☞P.19-50) for details.

- Write down Handset Code, Center Access Code and Call Barring Password.
- Do not reveal Handset Code, Center Access Code or Call Barring Password. SoftBank is not liable for misuse or damages.
- For further information about Codes, contact SoftBank Customer Center, General Information (☞P.19-50).

Basic Operations

Power On/Off

1 Press and hold [HLD] for more than three seconds to turn power on

2 To turn power off, press and hold [HLD] for more than two seconds

Keyguard

When 810P is turned on in close position, handset keys are locked. When opening, Keyguard is released. To use with 810P closed, [●] → [✉]**[YES]**.

Retrieving Network Information

When [●], [✉], [Y!] or [文字] is pressed for the first time, 810P initiates Network Information retrieval; [●] to retrieve it.

- Update Network Information manually: **Main Menu ▶ Settings ▶ Connectivity ▶ Retrieve NW Info**

Language (言語設定)

Main Menu ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ Language

1 **自動** , ***English*** or **日本語** → [●]

My Phone Number

1 In Standby, [key] [key]

Date & Time

Main Menu ▶ Settings ▶ Phone Settings ▶ Date & Time ▶ Home Clock ▶ Date & Time

1 Enter date → [key] → Enter time → [key]

Network Settings

[Default] Automatic

Main Menu ▶ Settings ▶ Call Settings ▶ Optional Services ▶ International Setting ▶ Select Network

1 ***3G/GSM***, ***3G***, ***GSM*** or ***Automatic*** → [key]

Voice Calls

Making Voice Calls

1 In Standby:

Standard Dialing

Enter a phone number and [key]

Calling from Phone Book

[key] → Select an entry → [key] → Select a phone number → [key]

Calling from Call Log

[key] → [key] to switch to ***All Calls***, ***Incoming*** or ***Outgoing*** → Select a record → [key]

International Dialing

Enter a phone number → [key] **[Menu]** → ***International Call*** → [key] → Select a country → [key] → [key]

2 [key] to end call

Answering Voice Calls

1 When a call is received, [A/a] to talk

2 [HLD] to end call

Manner Mode

1 In Standby, press and hold [#] or [ ] (Side Key)

- To cancel: Press and hold [#] or [ ] (Side Key) again.

Close-to-Enable Keyguard

[Default] ON

Closing 810P in Standby activates Keyguard automatically. When opening, Keyguard is released.

Main Menu ▶ Settings ▶ Phone Settings ▶ Keyguard ▶ Close-to-Enable Keyguard

1 *ON* or *OFF* → [●]

Answer Phone

Record up to eight voice messages on 810P.

- Unavailable when handset is off, out-of-range or Offline.
- Answer Phone is not available for incoming Video Calls.

Setting/Canceling Answer Phone

[Default] OFF

1 In Standby, press and hold [クリア/メモ]

- To cancel: Press and hold [クリア/メモ] again.

Playing Messages

When a new message is recorded, [icon] appears in Standby.

1 In information window, ***Answer Phone*** → [●]

2 Select a message → [●]

Playback starts.

- To delete a message/all messages: Select a message → [✉][Menu] → ***Delete*** or ***Delete All*** → [●] → [✉][YES] → When selecting ***Delete All***, enter 4-digit Handset Code (☞P.19-25) → [●]

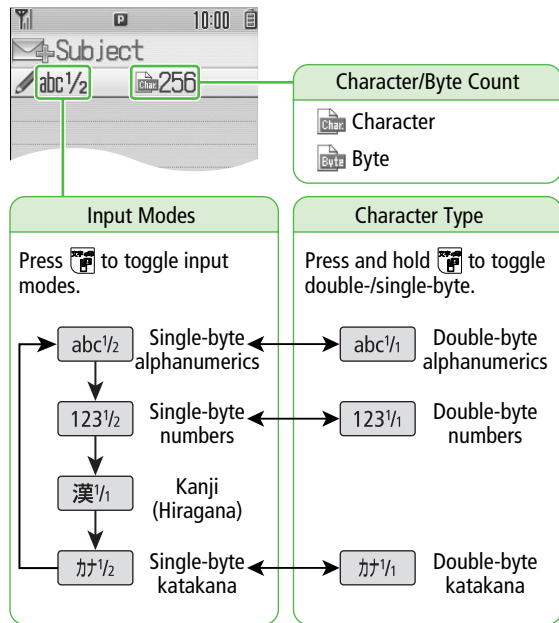
Text Entry

Key Assignments

Key	Input Modes	
	Alphanumerics	Numbers
1	. - @ _ / : ˜ 1	1
2	a b c A B C 2	2
3	d e f D E F 3	3
4	g h i G H I 4	4
5	j k l J K L 5	5
6	m n o M N O 6	6
7	p q r s P Q R S 7	7
8	t u v T U V 8	8
9	w x y z W X Y Z 9	9
0	Single-byte space/0	0
		[Press and hold] + *
*	Pictograph List/ Symbol List	＊
	[Press and hold] Mail Address & URL List	
#	, ! ? ¥ & ( ) ＊ # " ' = ^ + ;	# - , ! ? ¥ & ( ) " ' = ^ + ;

Key	Input Modes	
	Alphanumerics	Numbers
文字	Toggle input modes	
	Press and hold to toggle double-byte and single-byte characters	
Line break key	Line break	
A/a	Toggle upper and lower case characters	
クリア/メモ	Press to delete one character after cursor (Delete one character before cursor when cursor is at the end of a sentence)	
	Press and hold to delete all characters after cursor (Delete all characters before cursor when cursor is at the end of a sentence)	

* Available only in single-byte number mode

Character Input Modes

Symbols & Pictographs

1 In alphanumeric mode, [*] to open Pictographs

- [*] to toggle Pictographs and Symbols.
- Log list may appear first.

2 [✉] to select a list → [◎] to select a symbol or pictograph → [●]

Copy/Cut & Paste

Copy or cut text and paste it into text entry windows.

1 In a text entry window, [✉]**[Menu]** → ***Copy*** or ***Cut*** → [●]

2 Place cursor before (or after) text to copy/cut → [●] → Place cursor after (or before) text to copy/cut → [●]

- To select all: [Y!]**[All]** → [●]

3 Place cursor at target location to paste text → [✉]**[Menu]** → ***Paste*** → [●]

Phone Book

Phone Book Entry Items

Save up to 1000 entries in Phone Book. Save phone numbers or mail addresses etc. in USIM Card Phone Book (maximum number of savable entries varies by card).

Item	Description	810P	USIM Card
Last Name/First Name	Enter up to 25 characters (When saving to USIM Card, enter last name and first name in ***Name***.)	○	○
Reading	Holds up to 25 characters (Automatically entered when ***Last Name*** and ***First Name*** are entered)	○	○
Phone Number	Save up to three entries in Phone Book; two in USIM Card Phone Book	○	○
Email Address	Save up to three entries in Phone Book; one in USIM Card Phone Book	○	○
Birthday	Enter birth date	○	-
Address	Enter postal code, country, state/province, city, street address, additional information	○	-
Note	Enter up to 32 characters	○	-
Voice Call Ringtone	Set incoming Voice Call ringtone	○	-
Video Call Ringtone	Set incoming Video Call ringtone	○	-
Message Ringtone	Set incoming message ringtone	○	-
Illuminations	Set incoming call/message light color	○	-
Picture	Save a still image to appear for incoming calls	○	-
Group	Sort Phone Book entries by groups	○	○
Secret Setting	Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret Mode entries	○	-

Back-up Important Information

Keep a separate copy of Phone Book entry information. When battery is exhausted or removed for extended periods, entries may be lost. Handset damage may also affect data recovery. SoftBank is not liable for damages from lost/altered entries.

New Phone Book Entries

Main Menu ▶ **Phone Book** ▶ **Create New Entry**

1 Select an item → → Enter text →

- Repeat Step 1 to fill in other fields.
- Fill in at least one of the following fields: ***Last Name***, ***First Name***, ***Phone Number*** and ***Email Address***.

2 **[Save]**

Editing Phone Book Entries

1 In Standby, → Select an entry → **[Menu]** → ***Edit*** →

2 Select an item → → Edit → → **[Save]**

Saving Numbers from Call Log

1 In Standby, → to switch to ***All Calls***, ***Incoming*** or ***Outgoing***

2 Select a record → **[Menu]** → ***Add to Phone Book*** →

3 **New Entry**

Create New Entry → → Add name, etc.

Add to Existing Entry

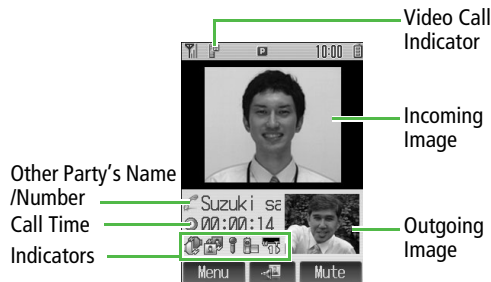
Select a Phone Book entry →

4 **[Save]**

Video Call

Exchange video/sound with video call-compatible mobiles.

● Only available within 3G network coverage.

Video Call Window

Making Video Calls

1 In Standby, enter a phone number → [文字]

2 [HLD] to end call

Answering Video Calls

1 When a video call is received, [A/a] or [文字]

2 Send Internal Image

[✉] **[YES]**

Send Alternative Image

[Y!] **[NO]**

3 [HLD] to end call

Video Call Operations

● To adjust volume: [◀▶]

● To zoom outgoing image in or out: [▲▼]

● To toggle Internal Camera and External Camera: [文字]

Selecting a File for Alternative Image

Main Menu ▶ **Settings** ▶ **Call Settings** ▶ **Video Call** ▶ **Alternative Picture** → Select a file → [✉]**[Decide]**

Camera

Capturing Still Images

Main Menu ▶ **Entertainment** ▶ **Camera**

1. Frame subject → (Side key) or to capture the image
2. To save the image, **[Save]**
3. to exit

Recording Video

Main Menu ▶ **Entertainment** ▶ **Video Camera**

1. Frame subject → to start recording
2. to end recording
3. To save the video clip, ***Save to Data Folder*** →
4. to exit

Media Player

Playing Media Files

Main Menu ▶ **Entertainment** ▶ **Media Player**

1. Playing Music Files

   Audio → → ***All Music List***, ***Music***, ***Ring Song*** or ***Playlist*** →

   Playing Video Files

   Video → → ***List All***, ***Video Folder*** or ***Playlist*** →
2. Select a file →

   Playback starts.

Key Assignments

Item	Operation
Adjust Volume	(Increase) / (Decrease)
Replay Track	
Play Previous	twice (once, within first three seconds of a track)
Play Next	
Rewind*1	Press and hold
Forward*1	Press and hold
Pause/Resume	
Stop	Music: twice or → Video: or
Show Full Screen*2	

*1 Rewind/Forward may not be available when playing files directly from Data Folder, etc.

*2 Supported during video playback only

Memory Card

Save captured images, recorded clips or downloaded files.

- SoftBank is not liable for damages from accidental loss/alteration of Memory Card information. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.

Format Memory Card

- Memory Cards formatted on other devices may not be used. Format Memory Card on 810P before use.
- Do not remove Memory Card or battery while formatting; may damage handset or Memory Card.

Main Menu ▶ Settings ▶ Memory Card Settings ▶ Format Memory Card

1 → Enter 4-digit Handset Code →

- Handset Code: ☞P.19-25

Data Folder

Save captured images, recorded clips, downloaded files, etc. here.

Folder	File Format
Pictures	JPEG (.jpg/.jpeg/.jpe/.jfif), GIF (.gif), PNG (.png), BMP (.bmp), WBMP (.wbmp) JPEG (.jpg) saved in Digital Camera GIF (.gif) GPK (.gpk) in My Pictograms
Sounds	SMAF (.mmf), SP-MIDI (.mid/.midi), Mobile XMF (.mxmf) AMR-NB (.amr) MPEG-4 (.3gp/.mp4/.m4a)
S! Appli	Java
Music	MPEG-4 (.3gp/.mp4/.m4a)
Videos	MPEG-4 (.3gp/.mp4)
Books	CCF (.ccf), XMDF (.zbf/.zbk/.zbs)
Familiar Usability	UIE (.uie)
Message Templates	HTML (.hmt)
Text Memo	Text
Flash(R)	SWF (.swf)
Other Documents	Other format files

Viewing Data Folder

Main Menu ▶ Data Folder

1 Select a folder → [center key]

Pictures and Videos appear in Thumbnail view by default.

Pictures (Thumbnail)

Sounds (List)

2 Select a file → [center key]

File appears/plays.

Connectivity

Transfer Phone Book/Schedule entries, messages, bookmarks and Data Folder files between 810P and compatible devices wirelessly via infrared or Bluetooth®, or connect 810P to PCs via USB Cable.

Some downloaded files may be protected under copyright laws. These files should not be sent.

Infrared

- Place handset and other device within the effective range of 20 cm, and align the infrared ports.

Infrared is canceled if no transmission is made within three minutes or handset power is turned off.

Sending

1 Select an item → [Menu] → *Send* or *Local Connectivity* →

2 Prepare recipient device

3 *Infrared* →

Transfer starts.

Receiving

Main Menu ▶ **Settings** ▶ **Connectivity** ▶ **Infrared** ▶ **ON**

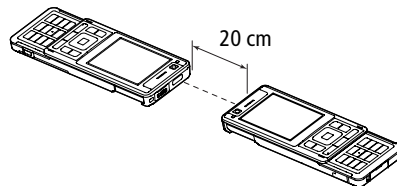
1 HLD to return to Standby

appears.

Acquire infrared transmission within three minutes.

2 When sender starts transfer, confirmation appears →

3 *Phone* or *Memory Card* →

- For Phone Book or Schedule entries: **[Save]**
- Messages are saved in Mail Boxes, and bookmarks added to Bookmark List automatically.

Bluetooth®

- Wireless transmission security protocols comply with Bluetooth® specifications. However, always take care when transferring files via Bluetooth®; security may be compromised by operating environment/configuration.

Searching & Pairing Devices

Main Menu ▶ **Settings** ▶ **Connectivity** ▶ **Bluetooth** ▶ **Add New Device**

Device search starts.

1 Select a device → [Center] → Enter Bluetooth® Passcode (4-16 digits) → [Center]

Sending

1 Select an item → [Mail] **[Menu]** → ***Send*** or ***Local Connectivity*** → [Center] → ***Bluetooth*** → [Center]

If Paired Device list is empty, device search starts.

2 Prepare recipient device

3 Select a device → [Center]

Transfer starts.

- When selecting an unpaired device, enter Bluetooth® Passcode (4-16 digits) for handset and the other device → [Center]

Receiving

Main Menu ▶ **Settings** ▶ **Connectivity** ▶ **Bluetooth** ▶ **Settings** ▶ **ON/OFF** ▶ **ON**

1 [HLD] to return to Standby

[Bluetooth] appears.

2 Connection is requested → [Center] → [Center]

3 ***Phone*** or ***Memory Card*** → [Center]

- For Phone Book or Schedule entries: [Mail] **[Save]**
- Messages are saved in Mail Boxes, and bookmarks added to Bookmark List automatically.

USB Cable

Connect 810P to PCs to transfer Data Folder files.

- Install Utility Software on PC before connecting handset.
- See "Utility Software Set Up Guide" for installation/usage details.

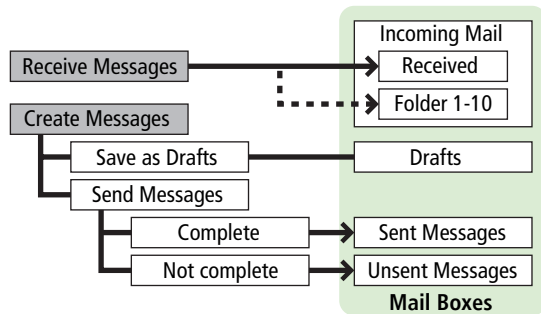
Optional Services

Call Forwarding	Forward unanswerable calls to a preset number when 810P is off, out-of-range, etc.
Voice Mail	Unanswered calls are forwarded to Voice Mail Center as set or when 810P is off, out-of-range, etc. ● Missed Call Notification Information window appears for calls missed while 810P was off, out-of-range, etc.
Call Waiting*	Place the current call on hold and answer a second, or alternate between calls.
Multiparty Call*	Call another party during a call and alternate between calls. Add other parties to talk on up to five lines simultaneously.
Call Barring	Restrict calls by condition.
Caller ID	Show or hide your number when calling.

* Separate subscription required

Messaging

SoftBank messaging services are available in Japan and overseas.

S! Mail	Exchange longer text messages with SoftBank or e-mail compatible handsets, PCs, etc.; attach files.
SMS	Exchange short text messages with SoftBank handsets.

- Separate subscription required to use S! Mail and to receive e-mail.
- The Center resends undeliverable messages at regular intervals until delivered. Messages not delivered by specified expiry are deleted.

Customizing Handset Address

Change your mail address (alphanumerics before @) to reduce the risk of receiving spam.

Main Menu ▶ Messaging ▶ Settings

1 ***Custom Mail Address*** →

810P connects to the Network.
Follow onscreen instructions.

Sending S! Mail & SMS

Sending S! Mail

Main Menu ▶ Messaging ▶ Create New S! Mail

1 Enter an address

Add Address →

2 **Select From Phone Book**

Phone Book → → Select a Phone Book entry → → Select a SoftBank handset number or mail address →

Enter Directly

Enter Number or ***Enter Address*** → → Enter a SoftBank handset number or mail address →

Select From Send Logs

Send Logs → → Select a record →

3 Enter a subject

Add Subject → → Enter subject →

4 Enter a message

Input Text → → Enter text →

5 Attach a file

Add Attachment → → Select a folder in Data Folder → → Select a file → **[Decide]**

6 **[Send]**

Sending SMS

Main Menu ▶ Messaging ▶ Create New SMS

1 **Enter an address**

Add Address →

2 **Select From Phone Book**

Phone Book → → Select a Phone Book entry → → Select a SoftBank handset number →

Enter Directly

Enter Number → → Enter a SoftBank handset number →

Select From Send Logs

Send Logs → → Select a record →

3 **Enter a message**

Input Text → → Enter text →

4 **[Send]**

Receiving S! Mail & SMS

When a new message is received, Information window appears in Standby.

Reading S! Mail & SMS

1 In Information window, ***Message*** →

2 Select a folder → → Select a message →

3D Pictograms

Animate compatible message text, Pictograms and Emoticons.

- The first 150 characters of message text appear animated.
- Incomplete S! Mail text does not appear animated.

In Message window, **[Menu]** → ***3D Preview*** →

- To pause/resume:
- To cancel: **[Stop]**

Retrieving Complete S! Mail

When the Center sends the initial portion of a message, follow these steps to retrieve the complete message.

Main Menu ▶ **Messaging** ▶ **Incoming Mail**

1 Select a folder →

2 Select a message with or → → At the end of message text, highlight ***There are sequels*** →

Retrieving Multiple Messages
Select a message with or → **[Menu]** → ***Retrieve*** → → ***Selected Messages*** → → (Select messages →)* → **[Retrieve]** →

* When selected, appears. Repeat as required.

Reply & Forward

Replying to Messages

Main Menu ▶ **Messaging** ▶ **Incoming Mail**

1 Select a folder →

2 Select a message →

3 **Reply to Sender**

[Reply]

Reply to All

[Menu] → ***Reply*** → → ***Reply to All*** →

4 Complete message → **[Send]**

Forwarding Messages

Main Menu ▶ **Messaging** ▶ **Incoming Mail**

1 Select a folder → [center key]

2 Select a message → [✉] **[Menu]** → ***Forward*** → [center key]

- Attachments are also forwarded.

3 Enter recipient's address and complete message → [Y!] **[Send]**

Tip: Copy protected attachments are not forwardable.

Yahoo! Keitai

Access Mobile Internet or PC sites directly from 810P.

Opening Yahoo! Keitai Main Menu

Main Menu ▶ **Yahoo! Keitai** ▶ **Yahoo! Keitai**

1 **メニューリスト** → [center key] → Select **English** → [center key]

2 Select a menu item → [center key]

- Repeat Step 2 as required.

3 To end the session, [HLD] → [center key]

Tip: Alternatively, press [Y!] **[Y!]** to open Yahoo! Keitai Main Menu directly.

Note: Yahoo! Keitai Main Menu content is subject to change.

Using PC Browser

- Some websites may not be viewable.

Main Menu ▶ Yahoo! Keitai ▶ PC Site Browser

1 ***Homepage*** → [center key]

Confirmation appears. Press [mail key]**[OK]**

- For ***Show Every Time***, confirmation appears next time PC Browser is activated.

2 Select an item → [center key]

- Repeat Step 2 as required.

3 To end the session, [HLD key] → [center key]

Web Options Menu

In Yahoo! Keitai, press [mail key]**[Menu]** for these options:

Forward	Go to next page
Bookmarks	View Bookmarks list or add a new bookmark to the list
Saved Pages	View Saved Pages list or add a new saved page to the list
Text Copy	Copy text from a web page
Reload Page	Update information
Small Screen/ PC Screen*1	Toggle display size
Page Operation	**Frame In/Frame Out**: Select a frame to fit full screen **Jump to Top**: Jump to top of a web page **Jump to Bottom**: Jump to end of a web page **Zoom In/Out**: Zoom in/out on a web page
Select item	View or play files, or save them to Data Folder
More	**Search**: Search text on a web page **History**: Select an access history to open previously viewed page **Send Bookmark**: Send URL via S! Mail/SMS **Enter URL**: Enter URL directly to access websites **Property**: View detailed information of a web page or electronic certificates for a secure page **Flash(R) Menu**: Playback/pause Flash® files

To PC Site Browser*2/ Change Browser*1	Toggle Yahoo! Keitai/PC site
Yahoo! Keitai*2/ Homepage*1	View top menu
Settings	**Font Size**: Change character size **Encoding**: Change encoding type

*1 PC Site Browser only
*2 Yahoo! Keitai only

Live Monitor (Japanese)

Add news headlines, weather forecasts, etc. via Live Monitor List or S! Loop List to scroll across Display in Standby. Update content automatically or manually.

S! Appli

S! Appli are Java™-based applications designed to run on SoftBank handsets. Download games and other real-time applications for use on 810P.

● For further information, visit SoftBank Website (http://www.softbank.jp).

Downloading S! Appli

Main Menu ▶ S! Appli ▶ S! Appli Library

1 ***Download S! Appli*** →

810P connects to the Network.

2 Select an S! Application →

3 Follow onscreen instructions

4 ***Phone*** or ***Memory Card*** →

● After downloading, S! Application is saved to Data Folder automatically.

5 **[YES]** to activate

● To exit: **[NO]**

Abridged English Manual 19

Using S! Appli

Activating S! Appli

Main Menu ▶ **S! Appli** ▶ **S! Appli Library**

1 Select an S! Application →

● See application Help menu for usage information.

Terminating/Pausing S! Appli

1 While running an S! Application, HLD

2 ***Terminate*** or ***Suspend*** →

Resuming/Terminating Paused S! Appli

Main Menu ▶ **S! Appli** ▶ **S! Appli Library**

Confirmation appears.

1 ***Resume*** or ***Terminate*** →

Communication

S! Town (Japanese)

S! Town is an online communication application.
Enjoy events or meeting other users in 3D virtual town.

● Internet connection is required; may incur high packet communication charges.

● S! Town is not available if Internet access is restricted by subscription.

● User agreement and registration are required to use S! Town.

Main Menu ▶ **Communication**

1 ***S! Town*** →

810P connects to the Network and S! Town appears.

● See S! Town Help for usage information.

S! Loop (Japanese)

A SoftBank Mobile handset communication service.

Main Menu ▶ Communication

1 ***S! Loop*** → [center key]

810P connects to the Network and S! Loop appears.

- See S! Loop Help for usage information.

Near Chat (Japanese)

Exchange text messages with other SoftBank handsets or compatible devices wirelessly via Bluetooth®.
Transmission/connection fees do not apply.

- Effective range is approximately ten meters.
- Range may vary with ambient signal conditions.
- Requires pre-installed Near Chat S! Application.

Main Menu ▶ Communication

1 ***Near Chat*** → [center key]

- See application Help menu for usage information.

2 To end Near Chat, [HLD] → ***Suspend*** or ***Terminate*** → [center key]

- To resume: Start Near Chat → ***Resume*** → [center key]

Note When Bluetooth® is active, compatible Bluetooth® device names appear. Unsolicited device connection requests may be received; reject unwanted requests.

Software Update

Check for 810P software updates and download as required.

- Connection fees do not apply to updates (including checking for updates, downloading and rewriting).
- Fully charge battery beforehand. Even if appears, low battery message may appear. In this case, charge battery until Charging Indicator goes out.
- Select a place where signal is strong and stable.
- Do not remove battery during the update. Update will fail.
- Other functions are not available during Software Update.
- 810P is disabled until the update is complete. The update may take some time.

Main Menu ▶ Tools ▶ Software Update ▶ Start

1 Follow onscreen instructions

After download is complete, 810P automatically turns off and restarts before Software Update begins. (This process takes approximately 20 seconds).

Checking Update Results

- In Information window, select ***Update Results***.
- In Standby, **Main Menu ▶ Tools ▶ Software Update ▶ Information**

Scheduled Update

Follow onscreen instructions for setup.

Confirmation appears at scheduled update time.

Press [center key] or wait ten seconds for update to start.

- Software Update will not start while 810P is in use. Continuing handset usage for ten minutes or more cancels Scheduled Update.

Note

- Software Update failure may disable 810P. Contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance (☞P.19-50).
- Software Update does not affect Phone Book entries, files saved in Data Folder or other content, but it is recommended that you create a backup, as appropriate, of any important information and data (note that some files cannot be copied).
- SoftBank is not liable for damages resulting from loss of data, information, etc.
- Update may automatically cancel Keyguard.

For further information, visit SoftBank Website (http://www.softbank.jp).

Specifications

810P

Weight (including battery)		112 g*
Dimensions (closed)		51 x 109 x 12.9 mm*
Standby Time (closed)	3G	350 hours*
	GSM	270 hours*
Talk Time	3G	180 minutes*
	Video Call	90 minutes*
	GSM	180 minutes*
Charging Time	AC Charger	160 minutes*
	In-Car Charger	160 minutes*
Maximum Output	3G	0.25 W
	GSM	2.0 W

* Approximate Value

- Talk Time is an average measured with a new, fully charged battery, with stable signals.
- Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with stable signals.
- Talk Time and Standby Time may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Talk Time and Standby Time may decrease when a S! Application is active.
- Talk Time and Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	730 mAh
Dimensions	36 x 4.5 x 46 mm*

AC Charger

Power Source	AC 100 V - 240 V, 50/60 Hz
Input Current	0.12 A
Output Voltage/Current	DC 6.0 V / 650 mA
Charging Temperature	5°C- 35°C
Dimensions (excluding protrusions and cord)	49 x 53 x 20 mm*

- Specifications subject to change without notice.

Customer Service

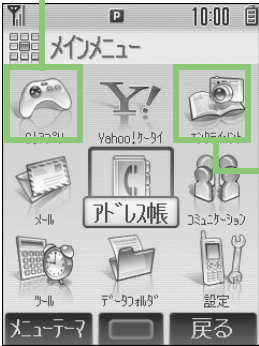
For SoftBank handset or service information, call General Information. For repairs, call Customer Assistance.

SoftBank Customer Centers

From a SoftBank handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

SoftBank International Call Center

From outside Japan, dial +81-3-5351-3491
(Please take care to dial the correct number.
International charges will apply to this call.)

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

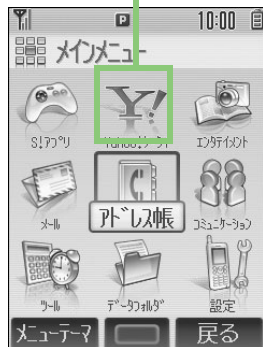
機能一覧

各機能の左にある番号（ 1 など）のダイヤルボタンを押すと、その機能を直接選択できます。

例）S!アプリの音量設定を選ぶには：1(S!アプリ) → 2(S!アプリ設定) → 1(音量)

1	S!アプリライブラリ	タブ1	本体	☞P.17-3
		タブ2	メモリカード	☞P.17-3
2	S!アプリ設定	▶ 1	音量	☞P.17-5
		▶ 2	バックライト	☞P.17-6
		▶ 3	バイブレーション	☞P.17-6
		▶ 4	自動中断時間	☞P.17-6
		▶ 5	メモリカードシンクロ	☞P.17-6
3	インフォメーション	☞P.17-2		

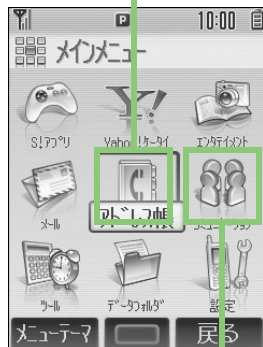
1	カメラ	☞P.6-4		
2	ビデオカメラ	☞P.6-5		
3	バーコードリーダー	▶ 1	コード読取り	☞P.9-12
		▶ 2	保存データ一覧	☞P.9-13
4	メディアプレイヤー	▶ 1	オーディオ	☞P.9-4
		▶ 2	ムービー	☞P.9-6
5	ブックサーフィン	☞P.9-14		
6	ケータイ書籍	☞P.9-14		

2 Yahoo!ケータイ

1	Yahoo!ケータイ	☞P.16-3				
2	ブックマーク	☞P.16-9				
3	お気に入り	☞P.16-9				
4	URL入力	▶	1	直接入力	☞P.16-4	
		▶	2	URL履歴一覧	☞P.16-4	
5	アクセス履歴一覧	☞P.16-4				
6	ライブモニター	▶	1	ライブモニターリスト	☞P.16-18	
		▶	2	S!ループリスト	☞P.16-18	
		▶	3	設定	☞P.16-19、P.16-20	
7	PCサイトブラウザ	▶	1	ホームページ	☞P.16-5	
		▶	2	ブックマーク	☞P.16-9	
		▶	3	お気に入り	☞P.16-9	
		▶	4	URL入力	☞P.16-5	
		▶	5	アクセス履歴一覧	☞P.16-6	
		▶	6	Yahoo!ケータイ	☞P.16-3	
		▶	7	PCサイトブラウザ設定	☞P.16-21	
8	設定	▶	1	文字サイズ	☞P.16-21	
		▶	2	スクロール単位	☞P.16-21	
		▶	3	テキストブラウズ	☞P.16-21	
		▶	4	メモリ操作	☞P.16-22	
		▶	5	セキュリティ	☞P.16-23	
		▶	6	ブラウザ初期化	☞P.16-22	
		▶	7	設定リセット	☞P.16-23	

4 メール

1	受信ボックス	☞P.15-13			
2	新規作成	☞P.15-6			
3	新着メール受信	☞P.15-13			
4	下書き	☞P.15-12			
5	テンプレート	☞P.15-10			
6	送信済みボックス	☞P.15-3			
7	未送信ボックス	☞P.15-3			
8	サーバーメール操作	▶	1	メールリスト	☞P.15-15
		▶	2	サーバーメール全削除	☞P.15-16
9	SMS新規作成	☞P.15-11			
0	設定	▶	1	メール・アドレス設定	☞P.15-6
		▶	2	共通設定	☞P.15-26
		▶	3	S!メール設定	☞P.15-27
		▶	4	デルモジ表示設定	☞P.15-29
		▶	5	SMS設定	☞P.15-30
⁎	メモリ容量確認	▶	1	S!メール	☞P.15-4
		▶	2	SMS	☞P.15-4

7 ツール

1	アラーム	☞P.13-8			
2	カレンダー	☞P.13-2			
3	簡易留守録	▶	1	簡易留守録リスト	☞P.2-9
		▶	2	設定	☞P.2-8
4	電卓	☞P.13-10			
5	テキストメモ	☞P.13-11			
6	ボイスレコーダー	☞P.13-12			
7	ソフトウェア更新	▶	1	開始	☞P.20-12
		▶	2	お知らせ	☞P.20-13

5 アドレス帳

1	アドレス帳	☞P.4-8			
2	新規登録	☞P.4-4			
3	通話履歴	タブ1	全通話履歴	☞P.2-12	
		タブ2	着信履歴	☞P.2-12	
		タブ3	発信履歴	☞P.2-12	
4	グループ設定	☞P.4-7			
5	オーナー情報	☞P.4-16			
6	スピードダイヤル設定	☞P.4-10			
7	S!アドレスブック	▶	1	同期開始	☞P.4-14
		▶	2	自動同期設定	☞P.4-15
		▶	3	同期ログ	☞P.4-15
8	設定	▶	1	保存先	☞P.4-10
		▶	2	表示切替	☞P.4-10
		▶	3	検索方法	☞P.4-9
9	メモリ管理	▶	1	メモリ容量確認	☞P.4-6
		▶	2	USIM→本体へ全件コピー	☞P.4-12
		▶	3	本体→USIMへ全件コピー	☞P.4-12
		▶	4	本体全件削除	☞P.4-11
		▶	5	USIM全件削除	☞P.4-11

6 コミュニケーション

1	S!タウン	☞P.18-2
2	S!ループ	☞P.18-3
3	ちかチャット	☞P.18-4

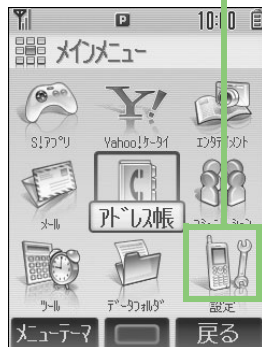
8 データフォルダ

1	ピクチャー	タブ1	本体※	☞P.10-2
		タブ2	メモリカード※	☞P.10-2
		タブ3	デジタルカメラ※	☞P.10-2
2	着うた・メロディ	タブ1	本体	☞P.10-2
		タブ2	メモリカード	☞P.10-2
3	S!アプリ	タブ1	本体	☞P.10-2
		タブ2	メモリカード	☞P.10-2
4	ミュージック	タブ1	本体	☞P.10-2
		タブ2	メモリカード	☞P.10-2
5	ムービー	タブ1	本体※	☞P.10-2
		タブ2	メモリカード※	☞P.10-2
		タブ3	ビデオカメラ※	☞P.10-2
6	ブック	タブ1	本体	☞P.10-3
		タブ2	メモリカード	☞P.10-3
7	おなじみ操作	タブ1	本体	☞P.10-3
		タブ2	メモリカード	☞P.10-3
8	テンプレート	☞P.10-3、P.15-10		
9	テキストメモ	☞P.10-3、P.13-11		
0	Flash(R)	タブ1	本体	☞P.10-3
		タブ2	メモリカード	☞P.10-3
✳	その他ファイル	タブ1	本体	☞P.10-3
		タブ2	メモリカード	☞P.10-3
#	メモリ容量確認	▶ 1	本体	☞P.10-5
		▶ 2	メモリカード	☞P.10-5

※ お買い上げ時はタブ表示ではなくサムネイル表示です。

9 設定

1	音・バイブ設定	▶	1	メロディ選択	☞P.7-8
		▶	2	着信音量	☞P.7-9
		▶	3	鳴動時間	☞P.7-9
		▶	4	エラー音	☞P.7-9
		▶	5	バイブレーション	☞P.7-10
		▶	6	キー確認音	☞P.8-2
2	ディスプレイ設定	▶	1	メインディスプレイ	☞P.7-2
		▶	2	メニューテーマ切替	☞P.7-4
		▶	3	バックライト点灯時間	☞P.7-6
		▶	4	メインメニューアイコン	☞P.7-5
		▶	5	配色パターン	☞P.7-6
		▶	6	明るさ	☞P.7-7
		▶	7	待受表示設定	☞P.7-7
		▶	8	ライブモニター設定	☞P.16-20
3	一般設定	▶	1	Language	☞P.7-7
		▶	2	日時設定	☞P.1-19、P.7-2
		▶	3	ユーザー辞書	☞P.3-12
		▶	4	誤操作防止	☞P.1-18
		▶	5	イルミネーション	☞P.8-2
		▶	6	キー設定	☞P.8-3
		▶	7	スライド機能	☞P.8-5

9 設定（つづき）

4	セキュリティ設定	1	キー操作ロック	☞P.12-4
		2	アドレス帳使用禁止	☞P.12-5
		3	メール使用禁止	☞P.12-5
		4	シークレットモード	☞P.12-7
		5	リセット	☞P.12-8
		6	PIN1 ON/OFF	☞P.12-2
		7	PIN1変更	☞P.12-3
		8	PIN2変更	☞P.12-3
		9	暗証番号変更	☞P.12-2
5	通話設定	1	通話サービス	☞P.14-2
		2	通話時間・料金	☞P.2-15
		3	TVコール	☞P.5-7
		4	着信拒否	☞P.12-6
		5	オフラインモード	☞P.2-22
		6	発信者番号通知	☞P.14-10
		7	エニーキーアンサー	☞P.8-3
		8	オープン／クローズ	☞P.8-5
		9	自動応答	☞P.8-4
6	モード設定	☞P.7-11		
7	簡易位置情報	1	測位機能ロック	☞P.11-12
		2	ブラウザ位置情報送信	☞P.11-12
8	外部接続	1	赤外線通信	☞P.11-2
		2	Bluetooth	☞P.11-4
		3	ネットワーク自動調整	☞P.1-18
9	メモリカード管理	1	メモリカードフォーマット	☞P.10-21
		2	メモリカードチェック	☞P.10-22
		3	メモリカードバックアップ	☞P.10-23

故障かな？と思ったら

症状	確認すること／処置
電源が入らない	・ HLD を長く（3秒以上）押していますか？ ・ 電池切れになっていませんか？ ・ 電池パックは正しく取り付けられていますか？（☞P.1-13）
電源を入れたのに操作できない	・ PINコード入力画面が表示されていませんか？ PIN1設定が**ON**になっています。PIN1コードを入力してください。（☞P.12-2）
電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です」、「有効なUSIMを挿入してください」と表示される	・ USIMカードを正しく取り付けていますか？（☞P.1-3） ・ 指定されたUSIMカードをお使いですか？（☞P.1-2） 使用できないカードが取り付けられている可能性があります。 ・ USIMカードのIC部分に指紋などの汚れがついていませんか？ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
ボタン操作ができない	・「 」が表示されていませんか？ 誤操作防止が設定されています。(☞P.1-18) を押して誤操作防止を解除してください。 ・「 」が表示されていませんか？ キー操作ロックが設定されています。（☞P.12-4）操作用暗証番号（4桁）（☞P.1-22）を入力して、ボタン操作禁止を解除してください。
電話やTVコールがつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	・「圏外」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・ 海外でご利用ではありませんか？ 海外でご利用になる場合は、事業者や海外設定の変更が必要です。（☞P.2-17） ・「 」が表示されていませんか？（☞P.2-22） ・「 （赤で表示）」が表示されていませんか？（☞P.1-8） ・「 」または「 」が表示されていませんか？ メール使用禁止が設定されています。（☞P.12-5）解除してください。
電話やTVコールがかけられない	・ 市外局番からかけていますか？ ・ 発信規制設定を**ON**に設定していませんか？（☞P.14-8）

付録

20

症状	確認すること／処置
ダイヤルしても話中音（プープー…）が鳴ってつながらない	・市外局番からかけていますか？
アドレス帳を使って電話がかけられない	・かけたい相手のアドレス帳のシークレット登録を**表示しない**にしていませんか？ シークレットモードを**ON**にしてください。（☞P.12-7） ・「 」または「 」が表示されていませんか？ アドレス帳使用禁止が設定されています。（☞P.12-5）解除してください。
アドレス帳に名前を登録しているのに、通話履歴や保存されているメールの宛先などに名前がでない	・電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間、通話履歴や保存されているメールの宛先などは、アドレス帳に名前を登録していても、電話番号やメールアドレスで表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。
アドレス帳に登録した相手から音声電話やTVコールを受けても、登録内容どおりの着信動作にならない	・電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に音声電話やTVコールを受けると、アドレス帳に相手の名前、着信音、イルミネーション、画像を登録していても、電話番号で表示され、着信音とイルミネーションは通常設定連動となり、画像は表示されません。この場合、通話中も電話番号が継続して表示されます。
通話が途切れたり、切れたりする	・「圏外」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
充電できない	・急速充電器の接続コネクターが本機または卓上ホルダー（オプション品）に確実に差し込まれていますか？（☞P.1-14、P.1-15） ・急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ・電池パックが本機に取り付けられていますか？（☞P.1-13） ・本機が卓上ホルダー（オプション品）に確実に装着されていますか？（☞P.1-15） ・本機、電池パック、卓上ホルダー（オプション品）の充電端子や急速充電器の接続コネクター、卓上ホルダーの接続端子、本機の外部機器端子が汚れていませんか？ 端子部をきれいにしてください。 ・周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電できないことがあります。 ・電池パックの寿命、または電池パックの異常です。 新しい電池パックと交換してください。

症状	確認すること／処置
熱くなる	・ 充電中に、急速充電器や卓上ホルダー（オプション品）が発熱することがあります。 また、長時間利用すると、本機が熱くなることがあります。 手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
電池の消耗が早い	・ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。 「充電時間と利用可能時間の目安」（☞P.1-10）、「電池パックの持ちについて」（☞P.1-11）を参照してください。

補足

以上を確認して、それでも正常に戻らない場合は、お問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。

こんなときはご利用になれません

症状	処置
「圏外」が表示されている	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるためです。 受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。
「 」が表示されている	誤操作防止が設定されています。（☞P.1-18） ボタン操作をするためには、誤操作防止を解除してください。ただし、設定中でもかかってきた電話に出ることはできます。
「 」が表示されている	キー操作ロックが設定されています。（☞P.12-4） 本機を使用するためには、キー操作ロックを解除してください。ただし、設定中でもかかってきた電話に出ることはできます。
電池残量が不足している旨のメッセージが表示され、電池アラーム音が鳴っている	電池残量がなくなっています。（☞P.1-8） 電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

ソフトウェア更新

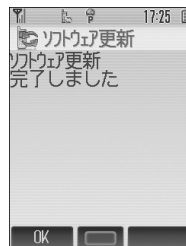
本機のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはインターネットに接続して更新を行います。更新方法には、更新したいときに手動で行う方法と、更新日時を予約して自動で行う方法（予約更新）があります。

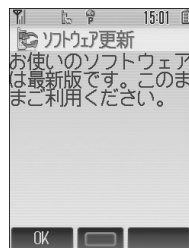
- ソフトウェア更新には通信料はかかりません。
- ソフトウェア更新は、電池がフル充電の状態（充電しても充電ランプが点灯しない状態）で行ってください。なお、「▯」が表示されていても、電池残量が不十分な旨のメッセージが出る場合があります。この場合はフル充電の状態にしたあと、再度本機能を実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波状態が良い場所で移動せずに行ってください。
- 更新中は絶対に電池パックを取り外さないでください。取り外すと、ソフトウェアの更新が正常に行われません。
- 更新中は他の機能を使用できません。
- 更新完了までに時間がかかることがあります。

メインメニューから **ツール ▶ ソフトウェア更新 ▶ 開始**

1 画面の指示に従い、操作する

更新に必要なデータのダウンロードが完了すると、自動的に電源が切れたあと再び電源が入り、ソフトウェア更新が開始されます。（この間、約20秒程度時間がかかります。）

更新が完了すると、自動的に電源が切れたあと再び電源が入り、更新完了のインフォメーションが表示されます。（この間、約30秒程度時間がかかります。）

既に最新のソフトウェアに更新済みのときは

更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。このままご利用ください。

更新結果を確認するには

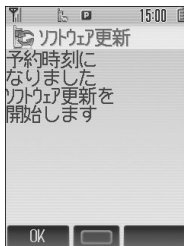
インフォメーションが表示されている場合は、**ソフトウェア更新結果**を選択して ● を押します。

- インフォメーションが表示されていない場合は、**メインメニューから ツール ▶ ソフトウェア更新 ▶ お知らせ** で確認できます。

予約更新を利用するには

ソフトウェア更新を画面に従って進めると、予約更新の設定ができます。

設定後、予約時刻になると、ソフトウェア更新開始の確認画面が表示されます。● を押すか、約10秒間そのままにしておくと、自動的にソフトウェア更新が実行されます。

- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は実行されません。（10分以上他の機能を使用していると、ソフトウェア更新の予約が解除されます。）

- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなる場合があります。この場合はお問い合わせ先（☞P.20-34）までご連絡ください。
- ソフトウェア更新は、アドレス帳やデータフォルダに保存されているデータを残したまま行えますが、携帯電話の状態（故障・破損・水漏れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。更新を行う前に、必要なデータはバックアップをとることをおすすめします。（ダウンロードしたデータなど、バックアップをとれないデータもあります。）
- 本機に保存されているデータがソフトウェア更新によって消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新を行うと、誤操作防止設定が一時的に解除される場合があります。
- ソフトウェア更新中は、アラーム音やスケジュール通知音は鳴りません。

ソフトウェアの更新については、ソフトバンクのホームページ「http://www.softbank.jp」でもご案内しています。

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					【あ】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					【い】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					【う】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					【え】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					【お】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					【か】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
					【き】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
					【く】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
					【け】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
					【こ】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
					【さ】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					【し】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					【す】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					【せ】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
					【そ】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					【た】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					【ち】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					【つ】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					【て】					
366							亭	低	停	偵

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					【と】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					【な】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					【に】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					【ぬ】					
390									濡	
					【ね】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					【の】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					【は】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					【ひ】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					【ふ】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					【へ】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					【ほ】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					【ま】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					【み】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					【む】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					【め】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					【も】					
444							摸	模	茂	妄

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					【や】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					【ゆ】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					【よ】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					【ら】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					【り】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					【る】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					【れ】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					【ろ】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					【わ】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

絵文字一覧

- ソフトバンク携帯電話対応の絵文字一覧です。
- □ 部分は動く絵文字です。
- 絵文字を入力したメールなどを送信した場合、絵文字非対応のソフトバンク携帯電話やEメールでは表示されません。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により正しく表示されない場合があります。

記号一覧

全角

	、	。	，	．	・	：	；	？	！
゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ
ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐
／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋
－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧
∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽
▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋
⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒
≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
♯	♭	♪	†	‡	¶	◯	ゐ	ゑ	ヰ
ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ
Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π
Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β

γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ
ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ
ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж
З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ
Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д
е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч
ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│
┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋
┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ
㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗
㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎
㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤

㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
∵	∩	∪							

半角

<table>
<tr><td> </td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td></tr>
<tr><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td></tr>
<tr><td>></td><td>?</td><td>@</td><td>[</td><td>¥</td><td>]</td><td>^</td><td>_</td><td>`</td><td>{</td></tr>
<tr><td>|</td><td>}</td><td>~</td><td>｡</td><td>｢</td><td>｣</td><td>､</td><td>･</td><td>ｰ</td><td>ﾞ</td></tr>
<tr><td>ﾟ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

メモリ容量一覧

データフォルダ	最大1000件／約40MB (S!アプリは1つのアプリにつき3～6件分を消費します。)

- S!アプリライブラリはデータフォルダとメモリを共有しています。

スケジュール	最大100件

アドレス帳	最大1000件

メール	受信ボックス	S!メール：最大700件／5MB SMS：最大300件
	下書き／ 送信済みボックス／ 未送信ボックス	S!メール：最大300件／5MB SMS：最大200件

Yahoo!ケータイ	お気に入り	[Yahoo!ケータイ]最大20件／600KB [PCサイト]最大20件／1MB
	ブックマーク	[Yahoo!ケータイ]最大100件 [PCサイト]最大100件
	履歴（URL）	[Yahoo!ケータイ] URL入力履歴：最大20件／ アクセス履歴：最大100件※ [PCサイト] URL入力履歴：最大20件／ アクセス履歴：最大100件※
	キャッシュ	[Yahoo!ケータイ]600KB [PCサイト]1MB

※ アクセス履歴への保存可能件数はURLの長さにより変動します。

主な仕様

810P

質量（電池パック装着時）		約112g
サイズ（閉じた状態）		約51 X 109 X 12.9mm
連続待受時間（閉じた状態）	3G	約350時間
	GSM	約270時間
連続通話時間	3G	約180分
	TVコール	約90分
	GSM	約180分
充電時間	急速充電器	約160分
	シガーライター充電器	約160分
最大出力	3G	0.25W
	GSM	2.0W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波を正常に受信できる状態で算出した、時間の目安です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、ご利用可能時間が変動します。
- S!アプリを起動させた状態での通話時間および待受時間は著しく短くなることがあります。

電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	730mAh
サイズ	約36 X 4.5 X 46mm

急速充電器

電源電圧	AC100V-240V、50／60Hz共用
入力電流	0.12A
出力電圧／出力電流	DC6.0V／650mA
充電温度範囲	5～35℃
サイズ	約49 X 53 X 20mm（突起部とコードを除く）

- 定格／仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

索引

英数字

あ

い

う

え

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

ら

り

る

れ

ろ

わ

保証とアフターサービス

保証について

SoftBank 810P本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（☞P.20-9）をお読みの上、もう一度お確かめください。
それでも異常がある場合はご契約いただいた各地域の故障受付（☞P.20-34）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクお客さまセンター		
総合案内	ソフトバンク携帯電話から	157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から	113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491（有料）

■ 一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	フリーコール 0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	フリーコール 0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	フリーコール 0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	フリーコール 0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-250-113（無料）

SoftBank 810P取扱説明書

2012年3月　第4版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

※ ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 810P
製造元：パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※　回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※　プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。